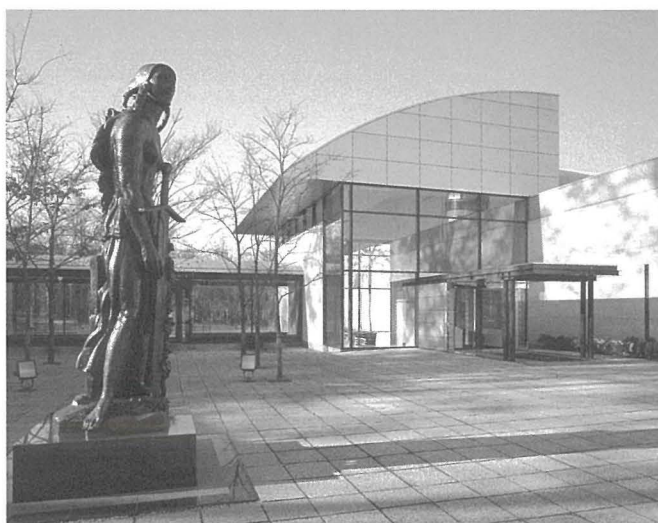


北海道立帯広美術館年報
平成21年—22年度

北海道立帯広美術館年報
平成21年—22年度



目 次

目 次	3
展覧会事業	
平成21-22年度コレクション・ギャラリー一覧	4
郷土にむけるまなざし	5
線のヴァリエーション	7
美術のみ・か・た 油絵と日本画	9
ポスター劇場	10
ふしぎ…!? 謎解き美術館	11
顔・かお・カオ	12
平成21-22年度特別展一覧	14
ポスター&ポスター	16
高橋博信浮世絵コレクション	22
北大路魯山人展	32
はな展	41
ポップ・アート 1960's→2000's	49
旅のイメージ	55
日本近代洋画への道	64
ミロ展	71
ベルギー絵本作家展	77
風景に、浸る。自然と、遊ぶ。	86
教育普及事業	
美術講演会	92
トークショー	93
特別展セミナー	93
ギャラリー・ツアー	94
おすすめ1点トーク	94
ミュージアム・カレッジ	95
ミュージアム・ミステリー	96
キッズ・ミュージアム	98
ワークショップ等	99
映写室	100
コンサート	101
サマー・ミュージアム	102
芸術週間	104
おびひろ氷まつり協賛事業	105
団体オリエンテーション	107
セルフガイド(クイズ)	108
博物館実習	109
その他	110
学校教育との連携	112
他団体との連携	113
美術作品の収集	
平成21年度作品収集状況	114
受贈	114
平成22年度作品収集状況	115
受贈	115
図版目録	116
美術作品の貸出	120
特別観覧	121
貸館事業	121
名簿	122
館内案内図	123
建築概要	124
設備概要	124
沿革	125
観覧者数一覧	126

展覧会事業

平成21年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数
1	郷土にむけるまなざし	4月10日(金)～7月5日(日)	65
2	線のヴァリエーション	7月14日(火)～11月11日(水)	98
3	美術のみ・か・た 油絵と日本画	11月20日(金)～3月31日(水)	100

平成22年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数
1	ポスター ^{シアター} 劇場	4月16日(金)～8月18日(水)	100
2	ふしぎ…!? 謎解き美術館	8月28日(土)～1月19日(水)	114
3	顔・かお・カオ ～描かれた心のかたち～	1月28日(金)～4月13日(水)	65

郷土にむけるまなざし

会期＝平成21年 4 月10日(金)－ 7 月 5 日(日) 65日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日、子どもの日（5／5）は無料
（ ）内は10名以上の団体の割引料金

生まれ育ったふるさと、あるいは現在住んでいる街。芸術家たちは、自分の身近な風景や情景を取り上げ、作品にしている。日々の生活の中で見かける景色や庭の草花を写実的にとらえ、あるいは抽象化した風土を描き出し、また地域のイメージをデザインしたのだ。緑深い木々や短い夏のきらめき、紅葉の山並み、そして凍てつく大地。北海道の大地とそこに生きる動植物は、さまざまな表情を持っている。そしてまた、それを表現する手法もさまざまなのだ。

郷土を描いた作品は、時にあたたかく、時に厳しい芸術家の視線を、私達に感じさせる。土地に根差した四季折々の作品世界を、所蔵作品の中から油彩画、日本画、版画、ポスターなどにより紹介した。



会場風景

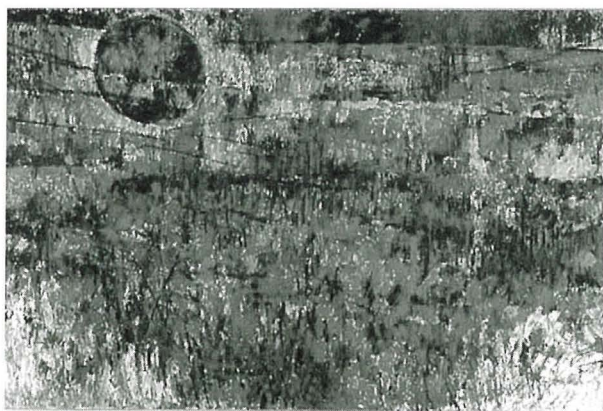
出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	伊藤隆二	曇り日	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	53.1×72.9
2	竹山義雄	早春山野	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	130.6×162.0
3	長尾栄三	晩秋の高原	1979(昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×161.8
4	長尾栄三	山脈の見える風景	1977(昭和52)	油彩、キャンバス	145.4×112.4
5	能勢真美	樹列	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	145.5×89.5
6	能勢真美	草木の径	1973(昭和48)	油彩、キャンバス	89.0×130.0
7	寺島春雄	凍土	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	117.0×91.1
8	寺島春雄	赤の原野	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	131.3×194.3
9	池田良二	Deposition of memories (記憶の沈殿)	1988(昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙	69.0×58.0
10	池田良二	Architecture on the cape (岬の上の家)	1989(平成元)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙	37.0×53.0
11	池田良二	Reaching the cape (岬への到着)	1988(昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙	57.0×84.6
12	武田伸一	凍土	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
13	小林満枝	叢原	1985(昭和60)	紙本彩色	112.0×145.4
14	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	130.7×162.1
15	小林満枝	春夕焼II	1991(平成3)	紙本彩色	116.7×80.3

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
16	栗谷川健一	麦わら帽子	1968(昭和43)	オフセット、紙	103.1×73.1
17	栗谷川健一	ジャンプ	1963(昭和38)	オフセット、紙	102.8×72.7
18	栗谷川健一	昇る太陽	1969(昭和44)	オフセット、紙	105.0×73.0
19	栗谷川健一	タンネの斜面	1956(昭和31)	オフセット、紙	102.0×74.0
20	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌの娘	1953(昭和28)	オフセット・紙	103.0×73.0
21	手島圭三郎	しまふくろう・冬	1985(昭和60)	木版、紙	53.0×75.0
22	手島圭三郎	しまふくろう・なく	1990(平成2)	木版、紙	53.0×75.0
23	神田日勝	瘦馬	1956(昭和31)	油彩、板	52.3×61.0

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



寺島春雄「赤の原野」



栗谷川健一「ムックリを鳴らすアイヌの娘」

線のヴァリエーション

会期＝平成21年 7月14日(火)～11月11日(水) 98日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の、高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日無料

開館記念日(9/22)、芸術週間(11/1～11/7)は観覧無料

()内は10名以上の団体の割引料金

美術における線の役割は、描く形を縁取るだけでなく、線そのものがもっている運動の方向や抑揚の効果などから、力強さやスピード感、軽快さや繊細さなど多様な表現の成立に深く結びついている。あるときは、メルヘンに彩られた物語や不思議な幻影、異形の生命がうごめく暗黒の世界を鮮やかに立ち上げ、また、あるときは、簡潔に、軽快に、直線や曲線がかけめぐる抽象的な造形世界を豊かに展開させる担い手となる。

展覧会では、当館コレクションの中から線の表情や味わいが注目される作品に焦点をあて、その多彩な表現世界を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
■描かれた物語・幻影のかたち					
1	渋谷栄一	吟遊詩人A	1975(昭和50)	エッチング、シュガー・アクアチント、紙	36.5×20.3
2	渋谷栄一	ある女	1968(昭和43)	エッチング、シュガー・アクアチント、紙	60.0×36.5
3	渋谷栄一	PARIS D	1972(昭和47)	シュガー・アクアチント、紙	23.0×28.0
4	福井正治	没陽一野一	1986(昭和61)	油彩、キャンバス	162.5×162.2
5	手島圭三郎	病める老馬	1972(昭和47)	木版、紙	75.0×53.0
6	手島圭三郎	ふくろうと少女	1972(昭和47)	木版、紙	75.0×53.0
7	手島圭三郎	人魚と破船	1971(昭和46)	木版、紙	53.0×75.0
8	北岡文雄	祖国への旅	1947(昭和22)	木版、紙	11.0×13.0など (17点組)
9	中谷有逸	三羽の鳥(水辺の形)	1973(昭和48)	シルクスクリーン、紙	33.9×50.4
10	中谷有逸	鳥の碑(線)	1964(昭和39)	木版、紙	79.1×54.8
11	長谷川哲	HOME 1997-2	1997(平成9)	写真、印画紙	86.3×148.5
12	多賀 新	伝承	1988(昭和63)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.7
13	多賀 新	バイオリニスト I	1992(平成4)	エッチング、紙	33.0×36.5
14	多賀 新	夢神	1993(平成5)	エッチング、紙	29.5×52.0
15	佐藤克教	囲われた1日	1999(平成11)	木版、紙	75.0×100.0
16	佐藤克教	土色の午後	2001(平成13)	木版、紙	75.0×103.0
17	佐藤克教	冥い海	2001(平成13)	木版、紙	75.0×102.6

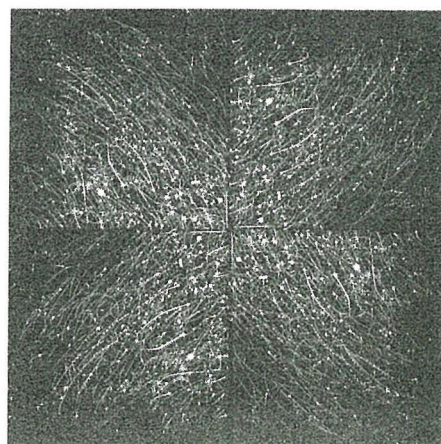
No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
■見えないもののかたち〜心と造形〜					
18	矢柳 剛	宇宙と人間D	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	161.7×112.1
19	橋原武正	無題	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	183.5×259.0
20	橋原武正	無題	1984(昭和59)	塗料、釘、針金、トタン板	170.0×170.0
21	森 健二	光年の導「道」	1983(昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
22	フランク・ステラ	スワン・エングレイヴィング、 ブルー、グリーン、グレー	1985	ミクストメディア (エッチング、レリーフプリント、 紙)	169.0×133.0
23	島 州一	FINGER PRINT	1981(昭和56)	粘土、フロッタージュ、和紙	73.0×63.5
24	島 州一	FINGER PRINT	1981(昭和56)	粘土、段ボール、フロッタージュ、和紙	99.0×69.0
25	島 州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS No.38	1982-85 (昭和57-60)	チョーク、シルクスクリーン、フィンガープリント、 スチレンボード、アクリルボックス	90.0×98.0×厚 11.3
26	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3
27	菅井 汲	シグナルD	1976(昭和51)	シルクスクリーン、紙	33.4×22.3
28	関根伸夫	氷壁	1988(昭和63)	鳥の子紙、金箔	46.0×38.2
29	難波田龍起	無題	1951(昭和26)頃	謄写版、紙	32.5×21.9
30	渋谷栄一	H 8 - F	1996(平成 8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7×41.0
31	渋谷栄一	H 8 - D	1996(平成 8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7×40.5
32	渋谷栄一	H 8 - C	1996(平成 8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7×40.4
33	渋谷栄一	H 8 - A	1996(平成 8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.0×81.0

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



長谷川 哲 「HOME 1997-2」



渋谷栄一 「H8-A」

美術のみ・か・た 油絵と日本画

会期＝平成21年11月20日(金)ー平成22年 3月31日(水) 100日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日無料

()内は10名以上の団体の割引料金

「油絵(油彩画)」や「日本画」という言葉は、美術の用語として広く定着している。しかしその定義となると、一般にはなかなか分かりづらい。油絵は西洋に起源をもち幕末以降日本に本格的に紹介された技法で、板やキャンパス(麻布)の上に油分を含んだ絵具で描く。一方の日本画は、東洋の伝統的な技法を踏まえながら、明治以降に油絵に対抗して再定義されたもので、紙や絹などの上に顔料を膠で固着し描く。

この展覧会では、「油絵」と「日本画」の技法や表現の違いに焦点をあてながら、所蔵作品を紹介した。それぞれの作品の比較に加え、画材の展示や虫眼鏡による細部の拡大鑑賞など、さまざまな工夫を交えながら展示を構成した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	高坂和子	叢・秋の幻影	2004(平成16)	油彩、キャンパス	130.7×162.1
2	小林満枝	水辺	1977(昭和52)	紙本彩色	96.8×145.4
3	橘原武正	日の出	1975(昭和50)	油彩、キャンパス	165.0×132.5
4	森 弘志	それ、普通	1994-95 (平成6-7)	油彩、キャンパス	162.4×162.2
5	六郎田天鈴	春暁崇座献 「エベレスト鈴湖生誕寿舞曲」	1988(昭和63)	紙本彩色、屏風(六曲一隻)	180.0×510.0
6	能勢真美	秋日	1970(昭和45)	油彩、キャンパス	61.5×92.5
7	六郎田天鈴	朝霧はるるキリマンジャロ	1992(平成4)	紙本彩色	65.3×90.9
8	市成太煌	鴉の歌 1	1978(昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
9	市成太煌	鴉の歌 2	1978(昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
10	市成太煌	鴉の歌 3	1978(昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
11	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンパス	32.0×47.5
12	小林満枝	春夕焼II	1991(平成3)	紙本彩色	116.3×80.3
13	神田日勝	瘦馬	1956(昭和31)	油彩、板	52.3×61.0

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

会期＝平成22年 4月16日(金)－8月18日(水) 100日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日、子どもの日(5/5)は無料
()内は10名以上の団体の割引料金

「世界は劇場である」

シェークスピアを引用するまでもなく、この世は非常に演劇的であり、逆にまた芝居には人生や世の中のすべてが、凝縮されて詰まっている。人々は、舞台の上に自らの姿を見出すのだ。そこには、生と死があり、愛と憎しみがあり、笑いと涙がある。

19世紀から20世紀にかけてのヨーロッパで花開いたポスター芸術。それは、商品や観光の宣伝の役割も担っていた。芝居や踊り、サーカスなどの見世物の宣伝も、ポスターが大活躍した分野のひとつ。劇場や芝居小屋、キャバレー、カフェ＝コンセル、ミュージック・ホールなど、パリ市内のあちこちで行われる興行に、日々の歓楽を求める人々が集った。この展覧会では、ポスターという劇場の中で展開する、さまざまな見ものを紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
2	ルイ・リュシアン・フォール	喜歌劇「パリのクローディーヌ」 ブッフ＝パリジアン劇場	1902	リトグラフ、紙	140.0×99.5
3	V.ギイエ	「ポーランドのユダヤ人」国立オペラ ・コミック座	1900頃	リトグラフ、紙	149.5×82.0
4	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7
5	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9
6	ルイ・イカール(原画)	オペレッタ「ムシュー・ラムール」	1935	リトグラフ、紙	153.1×113.2
7	ジュール・シェレ	「ファランドール」オペラ座	1884	リトグラフ、紙	70.5×50.5
8	ジャン＝ガブリエル・ドメルグ	「グラン・ブリ舞踏会」オペラ座	1922	リトグラフ、紙	60.4×38.6
9	ジュール・シェレ	フォリー＝ベルジュール劇場のエミリー エンヌ・ダランソン	1893	リトグラフ、紙	80.0×57.9
10	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	演劇「居酒屋」ポルト＝サン＝マルタン 劇場	1900	リトグラフ、紙	192.0×139.0
11	ジュール・シェレ	「鏡」フォリー＝ベルジュール劇場	1892	リトグラフ、紙	122.0×83.2
12	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.0×79.0
13	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
14	A.マンシオン	「肖像画・デッサン・宝石展」サル・ デ・ザール	1910-1920頃	リトグラフ、紙	88.5×125.0
15	ジュール・シェレ	ミュージック・ホール「エルドラド」	1894	リトグラフ、紙	55.8×37.3
16	V.ギイエ	ギョーム人形劇場—1900年パリ万国 博覧会	1900	リトグラフ、紙	103.0×148.0
17	ポール・アルベール・ロラン	万国博エジプト劇場「ラムセス」	1900	リトグラフ、紙	87.0×153.0
18	ジュール・シェレ	ジャルダン・ド・パリ—見世物、舞踏 会、コンサート	1884	リトグラフ、紙	117.0×82.1
19	ジュール・シェレ	道化	1880年代	リトグラフ、紙	20.0×14.0

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

ふしぎ…!? 謎解き美術館

会期＝平成22年 8 月28日(土)ー平成23年 1 月19日(水) 114日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日無料

開館記念日(9/22)、芸術週間(11/1～11/7)
は観覧無料

()内は10名以上の団体の割引料金

第二次世界大戦以降、美術の分野では、日々生み出される新たな技術の流用や既成概念にとらわれない美術家たちの自由な発想を源に、伝統的な絵画や彫刻のイメージを超える斬新な作品の数々が生み出されてきた。

この展覧会は、革新的な表現が模索されてきた現代版画を中心に当館所蔵作品によって構成。会場では、「擦って写して、これも版画」「特別な日付を、アートに残す」「光が生み出す、新たな表現」「普通の写真と、どこかが違う」「リサイクルから、アートが生まれる」という五つの見出しのもと、さまざまな作品を比較・対照しながら展示した。作者はなにをイメージして作品を作ったのか？どのような技法で制作したのか？といった素朴な疑問をきっかけに、難解と思われがちな現代美術を親しみやすく紹介するよう試みた。



会場風景

出品目録

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1 岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991(平成3)	フロッタージュ、鉛筆、紙	各50.9×39.4 (10点組)
2 島 州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS No.38	1982-85 (昭和57-60)	チョーク、シルクスクリーン、フィンガープリント、 スチレンボード、アクリルボックス	90.0×98.0×厚 11.3
3 一原有徳	SON4(b)	1983(昭和58)	モノタイプ(アルミニウム版)、紙	径50.1×高240.0
4 太田三郎	Stamp map of Hokkaido "December 29, 1993"	1993(平成5)	切手、消印	290.0×360.0
5 池田 緑	My Own Specimen (1943年4月3日に 生まれて)	1999(平成11)	プラスチックテープ、アクリルパイプ	205.5×59.9×厚 9.8
6 ラウンシェンバーグ	スリンダー ショッツ・リット #8	1985	ミクストメディア (シルクスクリーン、透明フィル ム、蛍光灯、木)	214.3×141.8× 厚32.2
7 百瀬 寿	Square - Metallic Green and Violet	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
8 百瀬 寿	Square - Metallic Yellow and Silver	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
9 ホックニー	グランドキャニオンの北側を見る 1982年9月	1982	フォト・コラージュ(写真、印画紙)	114.0×252.7
10 秋岡美帆	ゆれるかげ	1992(平成4)	スキヤナグラフ(NECO)、麻紙	153.5×212.5
11 橋原武正	黒の惑星17-1-7	1981(昭和56)	塗料、空き缶、廃品、釘、針金、トタン板	129.5×162.5
12 ステラ	スワン・エングレイヴィング、ブル ー、グリーン、グレー	1985	ミクストメディア(エッチング、レリーフプリン ト、紙)	169.0×133.0

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

顔・かお・力オ ～描かれた心のかたち～

会期＝平成23年1月28日(金)～4月13日(水) 65日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

美術の中で、人間像、とくに喜怒哀楽といった人間の感情をあらわす顔は、重要なテーマである。それは、多くの芸術家の想像力を刺激し、さまざまなイメージの源泉となってきた。描かれた人物の個性や性格まであらわす肖像画、イメージを象徴する顔、人間の顔を利用して再構成するユニークな現代作品などさまざまである。また、宣伝を目的とする商業ポスターでも、目と知覚に訴えやすい「顔」をつかい、視覚的インパクトのある傑作ポスターがつくられている。

本展では、帯広美術館の所蔵品から、「顔」に注目した作品を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	能勢真美	自画像	1948(昭和23)	油彩、キャンバス	41.4×32.2
2	北岡文雄	祖国への旅 難民の顔(A)	1947(昭和22)	木版、紙	16.3×10.8
3	北岡文雄	祖国への旅 難民の顔(B)	1947(昭和22)	木版、紙	16.3×10.8
4	増田 誠	セニョリータ	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	45.5×37.9
5	榎原武正	子供	1976(昭和51)	油彩、キャンバス	135.0×110.0
6	村元俊郎	セニョリータ	1991(平成3)	油彩、キャンバス	130.5×162.0
7	矢柳 剛	海の彼方の影	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紙	37.1×52.7
8	矢柳 剛	男と女	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	57.4×89.5
9	郭 徳俊	フォードと郭(B)	1974(昭和49)	リトグラフ、紙	46.4×33.5
10	増田 誠	ギリシャ神話 デュオニーソスとミダス王	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	25.3×34.7
11	増田 誠	ギリシャ神話 プロメテウス	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	33.3×24.6
12	増田 誠	旧約聖書 ダビデ王	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	33.3×24.6
13	増田 誠	旧約聖書 ソロモン王(ダビデ王の子)	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	33.1×24.0
14	増田 誠	旧約聖書 王妃エステル	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	33.1×24.4
15	森村泰昌	野菜涅槃(若冲)	1990(平成2)	カラープリント写真、印画紙	185.0×100.1
16	森村泰昌	寒雀寒鳩(御舟)	1990(平成2)	カラープリント写真、印画紙	132.9×97.8
17	多賀 新	傍観者(自画像)	1974(昭和49)	エッチング、アクアチント、紙	24.0×21.3
18	多賀 新	伝・源頼朝・新像(自画)	1998(平成10)	エッチング、紙	24.0×18.2
19	多賀 新	夢神	1993(平成5)	エッチング、紙	29.5×52.0
20	多賀 新	飛来	1977(昭和52)	エッチング、アクアチント、紙	48.0×36.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
21	作者不詳	タバコ「レオ」	1920	リトグラフ、紙	113.0×74.0
22	ジュール・ドランシー	東洋のタバコ「ナジャ」	1937頃	リトグラフ、紙	149.3×98.0
23	ジャン＝アドリアン・メルシエ	モーリス・シュヴァリエ主演「微笑む人生」	1936	リトグラフ、紙	80.0×60.0
24	マリア・サッシ	イタリア航路、南アメリカ	1950	リトグラフ、紙	96.4×59.5
25	ルネ・ラヴォ	映画による最速言語学習法「ミメフォン」	1935	リトグラフ、紙	145.2×95.9
26	レオネット・カビエツロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」	1933	リトグラフ、紙	109.6×152.9
27	マイク・スターン、ダグ・スターン	若い娘たち	1990-93	印画紙、透明フィルム、釘、木	57.5×46.0×厚5.5など(9点組)

※寸法は縦×横。

※作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



能勢眞美「自画像」



マリア・サッシ「イタリア航路、南アメリカ」

平成21年度特別展一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か
1	ポスター & ポスター ーロートレック、ミュシャから 現代グラフィックまでー	4月10日(金)～ 5月6日(水)	24	主催／北海道立帯広美術館
2	北海道立近代美術館所蔵 高橋博信浮世絵コレクション (Ⅰ部) ぶらり江戸めぐり ～歌川国貞「百人美女」の世界～ (Ⅱ部) 浮世風俗 ～美人画の三絵師 国貞、国芳、英泉～	(Ⅰ部) 5月15日(金)～ 6月7日(日) (Ⅱ部) 6月13日(土)～ 7月5日(日)	41	主催／北海道立帯広美術館 協力／北海道立近代美術館
3	没後50年 北大路魯山人展	7月14日(火)～ 9月9日(水)	50	主催／北海道立帯広美術館、帯広市・帯広市教育委員会、北海道新聞社、北大路魯山人展実行委員会、NHK帯広放送局、NHKプラネット北海道 企画協力／E. M. Iネットワーク
4	はな展 四季の花・幻想の華	11月20日(金)～ 1月13日(水)	41	主催／北海道立帯広美術館 協力／札幌芸術の森美術館
5	ポップ・アート 1960's→2000's	1月22日(金)～ 3月31日(水)	59	主催／北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、「ポップ・アート1960's→2000's」展実行委員会、読売新聞社、美術館連絡協議会、NPO十勝文化会議 後援／十勝町村会、帯広市、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連合会、帯広市民劇場運営委員会、NHK文化センター帯広教室、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA 協賛／ライオン、清水建設、大日本印刷、帯広信用金庫、北のハウス、大丸藤井帯広支店、東洋印刷、中井会計事務所、日本興亜損害保険、ホクレン農業協同組合連合会、三井住友海上火災保険 特別協力／株式会社ミスミグループ本社

平成22年度特別展一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か
1	旅のイメージ 栗谷川健一、藤倉英幸・・・ 鉄路が結ぶ北海道の景色	4月16日(金)～ 6月9日(水)	47	主催／北海道立帯広美術館、北海道立文学館、財団法人北海道文学館 特別協力／北海道旅客鉄道株式会社、株式会社北海道ジェイ・アール・エージェンシー 助成／芸術文化振興基金
2	日本近代洋画への道 ～山岡コレクションを中心に～ 写実の衝撃！ めざめるニッポンの油絵 司馬江漢から高橋由一、黒田清輝、 青木繁まで	6月18日(金)～ 8月18日(水)	53	主催／北海道立帯広美術館 協力／財団法人 日動美術財団
3	ミロ展	8月28日(土)～ 10月24日(日)	50	主催／北海道立帯広美術館、帯広市・帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、「ミロ展」実行委員会、NPO十勝文化会議 後援／スペイン大使館 Embajada de España、十勝町村会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連合会、帯広市民劇場運営委員会、NHK文化センター帯広教室、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA 協賛／医療法人社団博愛会、帯広信用金庫、大成建設、東洋印刷、中井会計事務所、日本興亜損害保険、ホクレン農業協同組合連合会、三井住友海上火災保険 企画協力／谷口事務所
4	ベルギー絵本作家展	11月1日(月)～ 1月19日(水)	64	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、ベルギー絵本作家展実行委員会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」 後援／ベルギー王国大使館、ベルギー観光局ワロン・ブリュッセル、ベルギー・フランドルス政府観光局、帯広市・帯広市教育委員会、十勝町村会、十勝管内教育委員会連絡協議会、帯広市校長会、十勝小・中校長会、帯広幼稚園協会、北海道新聞帯広支社、十勝毎日新聞社、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社 協力／KLMオランダ航空、サン・アールアンドピイ、BL出版、ムーランサール ジャパン 企画協力／産経新聞社 企画制作／ステップ・イースト
5	北海道立函館美術館・帯広美術館コレクション 風景画展 風景に、浸る。自然と、遊ぶ。	1月28日(金)～ 4月13日(水)	65	主催／北海道立帯広美術館 協力／北海道立函館美術館

ポスター&ポスター ロートレック、ミュシャから現代グラフィックまで

会期＝平成21年 4月10日(金)～5月6日(水) 24日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般450(350)円、高大生250(200)円
中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

キッズ・ミュージアム

「作って元気! こいのぼり」

日時＝4月25日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらこ
ばの会」

おすすめ1点トーク

講師＝平利弘(当館主任学芸員)

日時＝4月18日(土)、5月2日(土)

午後1時～3時(約15分間、希望に応じて随時)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

関連記事

平利弘「ポスター&ポスター作品紹介①～⑧」十勝毎日新聞
4月18日(土)～20日(月)、23日(木)、26日(日)、30日(木)、5月
1日(金)、3日(日)

平利弘「おびひろミュージアム通信 帯広からこんにちは」釧
路新聞 4月27日(月)

19世紀末から20世紀初頭にかけてパリを中心に大きく花開いたポスター芸術。「ベル・エポック＝古き良き時代」と呼ばれたこの時代、近代的な資本主義経済の発展や市民を主役とする大衆社会の確立にともない、大判多色刷りの石版画ポスターが華やかに街頭を飾った。さまざまな商品や流行の風俗が鮮やかに描き出されたポスターは、「時代の証言者」としての価値と芸術性が今日高く評価されている。

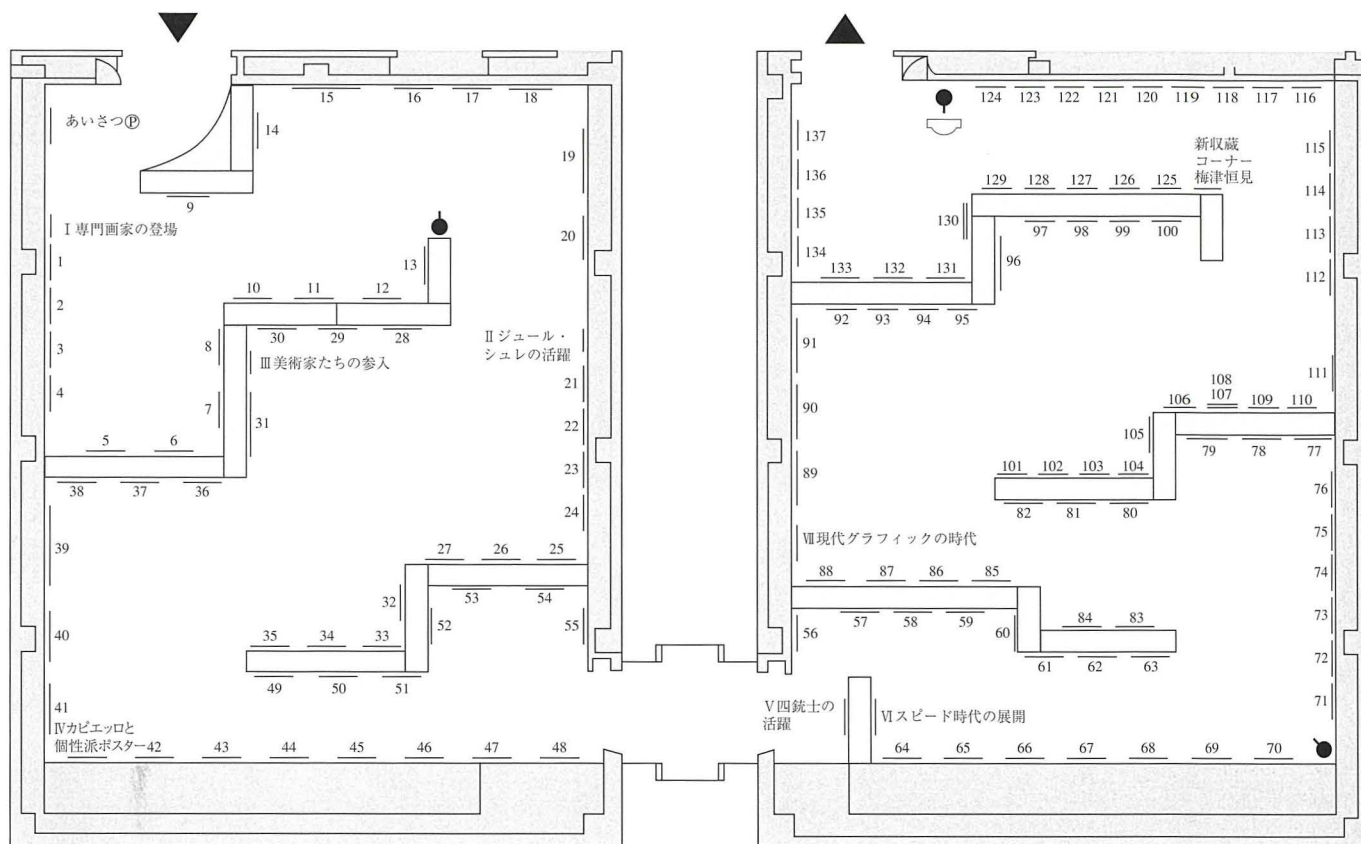
その後ポスターは、フォーヴィスムやキュビズムをはじめとする新しい美術潮流の時代を経て、戦後、時代の移り変わりを映し出しながら多彩な展開を遂げた。造形意識の革新、大量消費社会の進展、そして写真やコンピューターなどに代表される技術的な発展と相まって、情報伝達メディアの一つとして欧米各国や日本でも新たなポスター表現が模索されている。

本展では、帯広美術館の所蔵作品の中からロートレックやミュシャら、ベル・エポックの社会風俗と美意識を伝える作品を中心とする石版画ポスターに加えて、戦後の日本や欧米の代表的な現代ポスターにより、ポスター芸術の変遷の一端を紹介した。

また、併せて平成20年度に新収蔵された梅津恒見作品をまとめて公開した。



ポスター



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
I 専門画家の登場					
1	フィリップ・シャブリエ	真の円形シャワー	1890頃	リトグラフ、紙	119.0×79.5
2	G.ベルニ	最高級浄水器	1893	リトグラフ、紙	128.5×99.0
3	レイモン・トゥルノン	理想の浴室	1895頃	リトグラフ、紙	121.0×80.5
4	アルフレッド・シュープラク	フォリー＝ベルジュール「真珠のパレエ」	1885頃	リトグラフ、紙	74.0×49.3
5	ルイ・ガリス	アルハンブラヌイイの祭	1905頃	リトグラフ、紙	158.5×119.0
6	ルイ・ガリス	バロン・シネオラマ	1900	リトグラフ、紙	143.5×99.0
7	アルフレッド・シュープラク	トゥルーヴィルのカジノ	1885頃	リトグラフ、紙	130.0×90.5
8	アルフレッド・シュープラク	カジノ・ド・ビアリツ	1885頃	リトグラフ、紙	130.5×93.5
9	フィルマン・ブイセ	「ブーラン・チョコレート」	1898	リトグラフ、紙	180.0×115.5
10	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」—1900の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0
11	フィリップ・シャブリエ	「トランスヴァールと野生のアフリカ」 1900パリ万国博覧会（シャン・ド・マルス駅）	1900	リトグラフ、紙	160.0×109.0
12	フィリップ・シャブリエ	「トランスヴァールと野生のアフリカ」 1900パリ万国博覧会（クルセル門とシャンペル門）	1900	リトグラフ、紙	158.5×109.0
13	フレデリック・ユゴー・ダレジ	ラ・テュルビーヌ—P.L.M.鉄道会社	1890-95頃	リトグラフ、紙	105.0×75.0
14	ルイ・トーザン	絵入り雑誌「地球を駆け回る（ラ・グロブ・トゥロツテ）」	1900頃	リトグラフ、紙	153.5×104.5
15	レオン=A.フィオル	海戦	1899	リトグラフ、紙	160.0×210.0
16	不詳	キャピテヌ・ダンリ著「宿命の戦い」	1901	リトグラフ、紙	153.5×104.0
17	ルネ・ベアン	パノラマとジオラマ「革命と帝国」	1889-90頃	リトグラフ、紙	129.0×91.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
18	不詳	キナ入りワイン「スマルト」を一杯どうぞ	1885頃	リトグラフ、紙	129.5×94.0
19	バル	仲買人はいらぬ	1895頃	リトグラフ、紙	214.0×146.5
20	バル	雑誌「自由(ラ・リベルテ)」	1895頃	リトグラフ、紙	158.0×114.0
II ジュール・シェレの活躍					
21	ジュール・シェレ	ブチ・サン＝トマーおもちゃ、本	1889	リトグラフ、紙	117.5×82.2
22	ジュール・シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4
23	ジュール・シェレ	ミュージック・ホール「エルドラド」	1894	リトグラフ、紙	55.8×37.3
24	ジュール・シェレ	マリアーニ・ワイン	1894	リトグラフ、紙	53.9×37.3
25	ジュール・シェレ	カフェ＝コンセル「19世紀」	1882	リトグラフ、紙	56.3×40.5
26	ジュール・シェレ	ルーヴル百貨店—1897新春大売出し	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0
27	ジュール・シェレ	白粉「ディアファース」	1890	リトグラフ、紙	39.0×82.6
28	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館—ジプシー楽士のコンサート	1885	リトグラフ、紙	120.0×81.1
29	ジュール・シェレ	「鏡」フォリー＝ベルジェール劇場	1892	リトグラフ、紙	122.0×83.2
30	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館(文字刷り前のポスター)	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5
III 美術家たちの参入～アール・ヌーヴォーの時代					
31	ウジェーヌ・グラッセ	あんず酒「アブリコティース」	1895頃	リトグラフ、紙	109.5×149.5
32	ビエール・ボナール	美術雑誌「版画とポスター(レスタンブ・エ・ラフィッシュ)」	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0
33	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫(ル・シャ・ノワール)」一座 近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
34	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7
35	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5×94.0
36	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
37	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバビロン」	1894	リトグラフ、紙	122.0×86.7
38	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.0×79.0
39	マニユエル・オラジ	曲馬場、クリシイ大通り	1900	リトグラフ、紙	216.0×159.0
40	リュシアン・ルフェーヴル	白熱灯「エレクトリシス」一赤と白	1894	リトグラフ、紙	245.0×86.0
41	ポール・ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュ西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
IV カピエッロと個性派ポスター					
42	レオネット・カピエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
43	レオネット・カピエッロ	湿布綿「テルモジェヌ」	1907	リトグラフ、紙	151.1×112.5
44	レオネット・カピエッロ	熟成の酒「マリー・ブリザール&ロジェ」	1912	リトグラフ、紙	191.8×119.5
45	レオネット・カピエッロ	甘草入りドロップ「カシュー・ラジョーニ」	1920	リトグラフ、紙	144.0×92.0
46	レオネット・カピエッロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	リトグラフ、紙	152.4×112.8
47	レオネット・カピエッロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」	1933	リトグラフ、紙	109.6×152.9
48	レオネット・カピエッロ	フォワグラ・クリーム女王「金の鷲鳥」	1937	リトグラフ、紙	109.0×154.5
49	オガロ	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
50	J.スプリング	コニャック「ソラン」	1930	リトグラフ、紙	151.4×113.7
51	ウジェーヌ・オジェ	自動印刷機「シクロステイル」	1900頃	リトグラフ、紙	139.0×100.0
52	ポール・アルペール・ローランス	万国博エジプト劇場「ラムセス」	1900	リトグラフ、紙	87.0×153.0
53	フレデリコ・リバス・モンテネグロ	マルケス・デル・メリト、ワインとコニャック	1920	リトグラフ、紙	152.0×109.0
54	ロナルド・ランビット	コーンウォール	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×123.5
55	バルドリッシュ	果物は健康食品	1928	リトグラフ、紙	107.5×66.5
V 四銃士の活躍					
56	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	ノルマンディエー号—トランザトランティク総 合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
57	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
58	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	北方急行—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
59	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	ジャンシアヌ＝キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ、紙	154.2×114.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
60	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	キナ酒「デュボネ」	1935	リトグラフ、紙	39.6×31.1
61	C.ルボー / G.カルリュ	石鹸「モンサヴォン」	1936	リトグラフ、紙	64.8×46.0
62	ポール・コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
63	ポール・コラン	ジョセフィン・ペイカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0
Ⅶ スピード時代の展開					
64	ビエール・ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
65	ルネ・ヴァンサン	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2
66	フレデリック・ドロスト	8日間フリー・チケット	1936	リトグラフ、紙	100.0×62.0
67	里見宗次	コート・ダジュール	1934(昭和9)	リトグラフ、紙	98.7×62.4
68	A.ラスムッセン	D.S.B., デンマーク国有鉄道	1937	リトグラフ、紙	100.0×63.0
69	K.ファン・デル・ラーン	国立航空学校	1930頃	リトグラフ、紙	80.0×57.2
70	アルベール・ソロン	ファルマン航空	1930	リトグラフ、紙	97.0×58.0
71	マックス・ボンティ	オートバイ「ブジョー」	1930	リトグラフ、紙	115.9×75.5
72	ジョルジュ・ファーヴル	自転車「ディレクタ」	1930	リトグラフ、紙	110.5×74.2
73	E.ベネール	アーラウ	1937頃	リトグラフ、紙	126.0×90.0
74	マックス・ボンティ	バケ船舶旅行会社	1929	リトグラフ、紙	99.9×72.0
75	ヴェルナー・ヴァイスケーニヒ	アローザ、海拔6000フィート、スイス	1940頃	リトグラフ、紙	125.5×89.3
76	パディア・ヴィラト	最高の保養地ヴィシー	1935	リトグラフ、紙	98.0×61.0
77	ホセ・モレル	レバンテの海岸	1940頃	リトグラフ、紙	95.9×61.4
78	ホセ・モレル	スペイン探訪	1941	リトグラフ、紙	98.6×60.8
79	ホセ・モレル	カンプロドン	1930	リトグラフ、紙	89.2×61.0
80	ロジェ・ペロー	コレセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0
81	レイモン・サヴィニャック	アルマニャック(ブランデー)「リスト」	1943	リトグラフ、紙	151.8×109.3
82	不詳	「ムニエ・チョコレート」	1929	リトグラフ、紙	112.4×72.5
83	ロベール・ファルクユッチ	服地「ベリー」	1936	リトグラフ、紙	156.2×116.5
84	ロベール・ファルクユッチ	日刊紙「山」(ラ・モンターニュ)	1939	リトグラフ、紙	116.8×76.4



ウジェーヌ・グラッセ 「あんず酒『アブリコティーヌ』」



アルフレッド・シュエブラク
「トゥルーヴィルのカジノ」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
85	ドナルド・ブラン	バータ	1940頃	リトグラフ、紙	127.4×91.0
86	L.ビュジェット	ラジオ「グラモン」	1935	リトグラフ、紙	101.5×75.5
87	C.ララーンド	フィリップ・プランナーデュクルデ＝トムソン・レコード	1940	リトグラフ、紙	76.0×57.5
88	不詳	リコのクレオール楽団	1930	リトグラフ、紙	155.0×117.0
VII 現代グラフィックの時代					
89	ベルナル・ヴィルモ	スペイン	1957	オフセット、紙	96.8×60.3
90	ベルナル・ヴィルモ	北アフリカ	1946	リトグラフ、紙	98.0×61.5
91	ベルナル・ヴィルモ	食前酒「チンザノ」	1958	リトグラフ、紙	154.8×112.0
92	マリオ・サッシ	イタリア航路、南アメリカ	1950	リトグラフ、紙	96.4×59.5
93	J.P.ラタピイ	モン・ド・マルサン	1950	リトグラフ、紙	98.0×60.6
94	アンダース・ベックマン	ランギアード国際スポーツ博覧会	1949	リトグラフ、紙	98.4×60.3
95	W.マーレル	ジュネーヴ、スイス	1950	リトグラフ、紙	98.5×63.5
96	エマニュエル・ペリーニ	ニースの温泉、ベルトモン＝レ＝バン	1950	リトグラフ、紙	114.5×77.5
97	ルネ・グリュオー	くつろぎ	1950	リトグラフ、紙	80.0×60.0
98	不詳	ポーツマスとサウス・シー	1950頃	リトグラフ、紙	99.7×62.8
99	プッポ	モンテ・ファイト、ナポリ	1959	リトグラフ、紙	98.5×64.0
100	ジャン・コクトー	オルフェの遺言	1959	リトグラフ、紙	160.0×120.0
101	B.シャーン	水爆実験反対	1960頃	オフセット、紙	103.0×70.3
102	J.レニツァ	オペラ「ヴォツェック」	1964	オフセット、紙	103.0×71.3
103	M.グレイザー	ディラン	1966	オフセット、紙	102.8×68.4
104	スターフィッシュ プロダクション	私は忠誠を誓う	1970	オフセット、紙	103.0×72.8
105	J.ベイスター	黄色い花、葬列	1970	オフセット、紙	103.0×68.4
106	R.ギュステイ	スクール・オブ・ビジュアル・アート	1979	オフセット、紙	103.0×88.0
107	G.ダンパー	展覧会「デ・ステイル」	1982	オフセット、紙	72.8×103.0
108	M.グロフスキ	クラクフ 彫刻・グラフィック展	1988	オフセット、紙	70.7×103.0
109	I.ルビ	展覧会「モダ・イタリア」	1988	オフセット、紙	103.0×71.3
110	P.ポーチ	第2回ケチケメート・アニメーション漫画映画祭	1988	オフセット、紙	103.0×72.2
111	K.ピッポ	ラハチ・ポスター美術館1975-1990	1990	オフセット、紙	103.0×72.3
112	細谷 巖	SILENCE	1967(昭和42)	オフセット、紙	103.0×72.7
113	横尾忠則	第6回東京国際版画ビエンナーレ展	1968(昭和43)	オフセット、紙	103.0×72.7
114	松永 真、安達洋次郎	資生堂サンオイル“人・人・人”	1971(昭和46)	オフセット、紙	103.0×72.7
115	杉浦康平	第8回東京国際版画ビエンナーレ展	1972(昭和47)	オフセット、紙	103.0×72.7
116	岡本滋夫	岡本滋夫展	1979(昭和54)	オフセット、紙	103.0×72.7
117	永井一正	永井一正の世界展	1980(昭和55)	オフセット、紙	103.0×72.7
118	木村恒久	ツイゴイネルワイゼン	1980(昭和55)	オフセット、紙	103.0×72.7
119	亀倉雄策	日本古典芸能団招聘記念	1981(昭和56)	オフセット、紙	103.0×72.7
120	栗津 潔	CONTEMPORARY PRINT EXHIBITION KIYOSI AWAZU IN LONDON	1981(昭和56)	オフセット、紙	103.0×72.7
121	福田繁雄	LOOK 1 (12人のアーティスト展)	1984(昭和59)	オフセット、紙	103.0×72.7
122	奥村敦正	S・F・X	1984(昭和59)	オフセット、紙	103.0×72.7
123	浅葉克己、操上和美	西武セゾングループのキャンペーン	1989(平成元)	オフセット、紙	103.0×72.7
124	栗谷川健一	五輪へ	1970(昭和45)	オフセット、紙	72.8×51.5
新収蔵コーナー					
125	梅津恒見	WELCOME北海道	1985(昭和60)	シルクスクリーン、紙	105.1×74.9
126	梅津恒見	WELCOME北海道	1985(昭和60)	シルクスクリーン、紙	102.8×72.7
127	梅津恒見	FLETCHER HOKKAIDO PROGRAM '85	1985(昭和60)	オフセット、紙	102.8×72.7
128	梅津恒見	札幌芸術の森 オープン	1986(昭和61)	オフセット、紙	102.8×72.8

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
129	梅津恒見	PEACE まあるい地球。平和な地球。	1987(昭和62)	シルクスクリーン、紙	104.2×74.2
130	梅津恒見	企画広告「食を語ると世界地図」	1983(昭和58)	オフセット、紙 (4点組)	各53.0×39.0
131	梅津恒見	地球、水の精。	1989(平成元)	シルクスクリーン、紙	103.0×72.9
132	梅津恒見	PEACE まあるい地球。平和な地球。	1989(平成元)	シルクスクリーン、紙	103.0×72.6
133	梅津恒見	PEACE まあるい地球。平和な地球。	1990(平成2)	シルクスクリーン、紙	103.0×72.8
134	梅津恒見	広島・長崎 被爆五十周年	1995(平成7)	シルクスクリーン、紙	103.0×72.9
135	梅津恒見	北のデザインD+	1999(平成11)	オフセット、サインペン、紙	103.0×72.8
136	梅津恒見	北海道を組む。四季を編む。	2000(平成12)	インクジェットプリント・紙	102.9×72.4
137	梅津恒見	北海道を組む。四季を編む。	2000(平成12)	インクジェットプリント・紙	102.9×72.4

※寸法は縦×横。

※ 作品はすべて、北海道立帯広美術館所蔵。

※101～113は復刻版（1995年 凸版印刷株式会社）による。125～137は復刻版（1989年 凸版印刷株式会社）による。



レオネット・カピエロ
「速乾ペンキ『ニトロリアン』」



梅津恒見「地球、水の精。」

高橋博信浮世絵コレクション

北海道立近代美術館所蔵 高橋博信浮世絵コレクション

(Ⅰ部) ぶらり江戸めぐり～歌川国貞「百人美女」の世界～

(Ⅱ部) 浮世風俗～美人画の三絵師 国貞、国芳、英泉～

会期＝平成21年 5月15日(金)～7月5日(日) 41日間

Ⅰ部：5月15日(金)～6月7日(日) 21日間

Ⅱ部：6月13日(土)～7月5日(日) 20日間

主催＝北海道立帯広美術館

協力＝北海道立近代美術館

観覧料＝一般800(650)円、高大生500(400)円、小中生250(200)円

小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「江戸の名所と女たち」

講師＝山田順子氏(時代考証家)

日時＝5月16日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

ギャラリー・ツアー

講師＝蘭部容子(当館学芸員)

日時＝5月23日(土) 午後2時30分～(約30分)

会場＝当館講堂主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「おもしろ時計にチャレンジ」

日時＝5月23日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

鑑賞会

「歌川国貞『江戸名所百人美女』と共にお江戸にタイム・スリ
ップ」

講師＝池田緑氏、齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、中谷有逸氏、宮澤
克忠氏、村上陽一氏(美術家)

日時＝5月31日(日) 午後2時～4時

会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

土曜映写室

古典落語名作選『今土焼一三笑亭可楽(八代目)一』『品川心
中一三遊亭圓歌(三代目)一』

日時＝6月6日(土) 午後2時～(約45分)

会場＝当館講堂(入場無料)



ポスター

土曜映写室

歌舞伎『三人吉三廓初買』『廓文章』
日時＝6月13日(土) 午後2時～(約100分)
会場＝当館講堂(入場無料)

ミュージアム・コンサート

「長唄と日本舞踊」
出演＝稀音家六豊華氏(長唄)、藤間都茂澄氏(日本舞踊)ほか
日時＝6月20日(土) 午後2時～(約60分)
会場＝当館ロビー(入場無料)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

鑑賞会

「三絵師の美人画でお江戸の生活にフォーカス」
講師＝池田緑氏、齊藤隆博氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏、村上陽一氏(美術家)
日時＝6月21日(日) 午後2時～4時
会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

キッズ・ミュージアム

「紙ぞめ遊び(うちわ)」
日時＝7月4日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂(託児無料)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

ギャラリー・ツアー

講師＝蘭部容子(当館学芸員)
日時＝7月4日(土) 午後2時30分～(約30分)
会場＝当館主展示室(要観覧券)

関連記事

鎌田享「高橋博信浮世絵コレクション展によせて 上～下」十勝毎日新聞／5月19日(火)～21日(木)
蘭部容子「ちよいと江戸まで ①～⑩」十勝毎日新聞／5月23日(土)～27日(水)、6月15日(月)～19日(金)
蘭部容子「おびひろミュージアム通信 江戸の罨」釧路新聞／6月8日(月)
高橋康夫「記憶の森の中から35 浮世絵を見る」釧路新聞／7月27日(月)
高松さとみ「国貞、国芳、英泉 三人の浮世絵師に見る美人今昔物語」『Chai』／2009年7月号

(I 部)

ぶらり江戸めぐり～歌川国貞「百人美女」の世界～

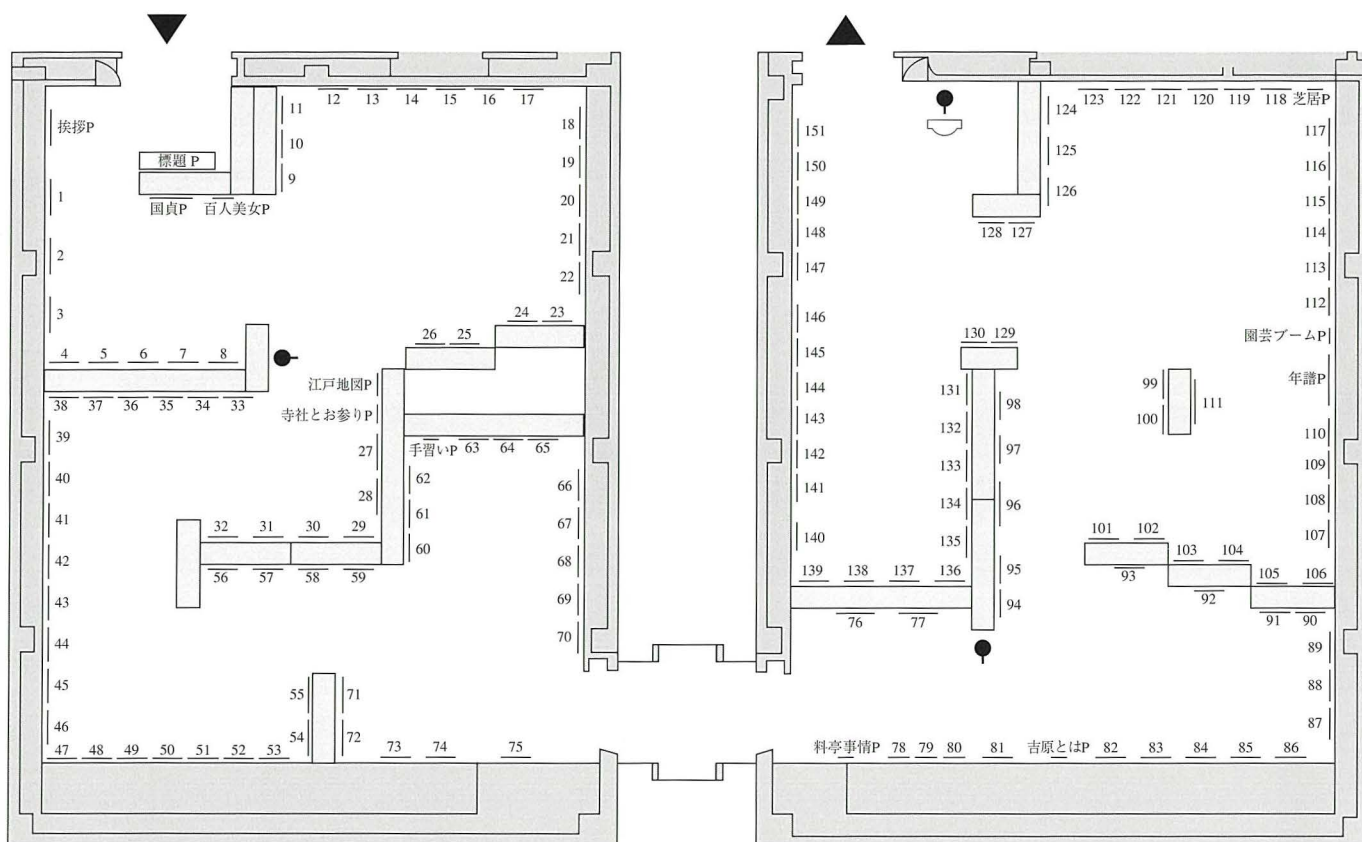
八丁堀に浅草、日本橋、深川、そして吉原。浮世絵には、時代劇などでおなじみの名所が数多く登場する。また、霞ヶ関や新宿など、現代の東京の“顔”と言える場所が、江戸時代にはどのようなのがうかがえるのも、大きな魅力のひとつ。

歌川国貞(1786～1864)は、歌川派の総帥として、江戸末期に絶大な名声を博した。旺盛な作画量と長い画歴の中で、庶民感覚あふれる粋(いき)でお侠(きやん)な美人画を数多く残している。晩年の代表作が「江戸名所百人美女」。さまざまな階層・衣装の女性と江戸の名所の数々を取り合わせた揃物(シリーズ作品)である。本展覧会は、その「江戸名所百人美女」全100点が並ぶ貴重な機会となった。「百人美女」を中心に、場所に注目して花のお江戸を巡った。また、展示室の各所に「寺社とお参り」、「手習いとお稽古」といったトピックパネルを掲示し、浮世絵理解の一助とした。

I部・II部とも、これらの浮世絵は帯広ゆかりの故・高橋博信氏のコレクションに由来するものである。高橋博信浮世絵コレクションが帯広に里帰りし、江戸末期の浮世絵の世界を紹介。I部・II部あわせて4,744人の来場者を迎えた。



会場風景 (I 部)



展示図面 (I 部)

出品目録 (I 部)

No.	作品名	制作年(元号)	寸法(cm)
1	すみだ川花の景		右37.5×26.0 中37.4×25.9 左37.4×26.0
2	四季遊ノ内 春 佃島白魚網ノ図		右38.5×26.2 中38.4×26.1 左38.5×26.5
3	江戸八景 木母寺暮雪		右36.4×25.1 中36.5×25.2 左36.4×25.2
4	浮世名異女図会 東都		36.9×24.9
5	江戸名所百人美女 墨水分花豊	1857(安政4)	35.4×23.7

No.	作品名	制作年(元号)	寸法(cm)
6	江戸名所百人美女 日本はし	1857(安政4)	35.4×23.9
7	江戸名所百人美女 八町堀	1857(安政4)	35.4×23.8
8	江戸名所百人美女 永代橋	1857(安政4)	35.3×23.7
9	江戸名所 飛鳥山の図		38.8×25.7
10	江戸名所百人美女 あすかやま	1857(安政4)	35.3×23.8
11	江戸名所百人美女 浅草す八丁	1858(安政5)	35.4×23.8
12	江戸自慢 両国夕涼		37.2×25.1
13	江戸名所百人美女 両国はし	1857(安政4)	35.4×23.8
14	江戸名所百人美女 駒形	1858(安政5)	35.4×23.8
15	江戸名所百人美女 御船蔵前	1858(安政5)	35.4×23.8
16	江戸名所百人美女 駿河町	1857(安政4)	35.4×23.8
17	江戸名所百人美女 堅川	1858(安政5)	35.4×23.9
18	江戸名所百人美女 葵坂	1857(安政4)	35.3×23.8
19	江戸名所百人美女 呉服ばし	1857(安政4)	35.4×23.9
20	江戸名所百人美女 御茶の水	1857(安政4)	35.3×23.7
21	江戸名所百人美女 木場	1857(安政4)	35.4×23.8
22	江戸名所百人美女 尾張町	1858(安政5)	35.4×23.9
23	江戸名所百人美女 鏡が池	1858(安政5)	35.4×23.9
24	江戸名所百人美女 あさちがはら	1858(安政5)	35.4×23.9
25	江戸名所百人美女 三囲	1857(安政4)	35.4×23.8
26	江戸名所百人美女 霞ヶ関	1857(安政4)	35.4×23.7
27	江戸名所百人美女 浅草寺	1857(安政4)	35.3×23.8
28	江戸名所百人美女 とりのまち	1858(安政5)	35.3×23.8
29	江戸八景ノ内 愛宕		34.6×24.0
30	江戸名所百人美女 芝あたご	1857(安政4)	35.3×23.8
31	江戸名所百人美女 神田のやしろ	1857(安政4)	35.4×23.8
32	江戸名所百人美女 小石川牛天神	1857(安政4)	35.4×23.8
33	江戸名所百人美女 しのはず弁天	1857(安政4)	35.4×23.8
34	江戸名所百人美女 東本願寺	1857(安政4)	35.3×23.6
35	江戸名所百人美女 長命寺	1857(安政4)	35.4×23.9
36	江戸名所百人美女 赤さか氷川	1857(安政4)	35.3×23.8
37	江戸名所百人美女 芝神明前	1858(安政5)	35.3×23.8
38	江戸名所百人美女 芝神明	1857(安政4)	35.3×23.8
39	江戸名所百人美女 三縁山増上寺	1857(安政4)	35.4×23.8
40	江戸名所百人美女 赤羽根水天宮	1857(安政4)	35.4×23.9
41	江戸名所百人美女 築地門跡	1857(安政4)	35.4×23.9
42	江戸名所百人美女 木母寺	1857(安政4)	35.3×23.9
43	江戸自慢 山王御祭礼		35.7×24.5
44	江戸名所百人美女 山王御宮	1857(安政4)	35.4×23.9
45	江戸名所百人美女 五百羅かん	1857(安政4)	35.4×23.9
46	江戸自慢 五百羅漢施餓鬼		39.1×26.7
47	江戸名所百人美女 王子稲荷	1857(安政4)	35.3×23.8
48	当世美女吾妻風景 王子の午の日参		35.4×24.8
49	当世江戸鹿子 九郎助稲荷		38.2×26.0
50	江戸名所百人美女 吉徳稲荷	1858(安政5)	35.4×23.8
51	御誂絵馬尽 深川八幡の額ノ内 さぬく物		37.6×25.1
52	江戸名所百人美女 目黒龍泉寺	1857(安政4)	35.3×23.8
53	江戸自慢 開帳の朝参		38.0×25.9
54	(不動尊揃) 目白不動尊		37.2×24.9
55	(不動尊揃) 大山不動尊		37.0×24.9
56	賑ふや妹背ゑん日 白銀清正公		38.4×26.2
57	時世江戸鹿子 白銀の清正公		38.5×25.7
58	江戸名所百人美女 白銀粉目呂	1858(安政5)	35.3×23.8
59	江戸自慢 真崎みそぎ		37.4×25.9
60	当世江戸鹿子 堀ノ内		35.6×24.9
61	江戸名所百人美女 堀の内祖師堂	1857(安政4)	35.3×23.8
62	江戸名所百人美女 海晏寺	1858(安政5)	35.4×23.8
63	江戸名所百人美女 湯島天神	1857(安政4)	35.3×23.9

No.	作品名	制作年(元号)	寸法(cm)
64	江戸名所百人美女 するがだい	1858(安政5)	35.3×23.8
65	江戸名所百人美女 いひ田まち	1858(安政5)	35.3×23.6
66	江戸名所百人美女 第六天神	1858(安政5)	35.4×23.8
67	江戸名所百人美女 天神	1857(安政4)	35.4×23.8
68	江戸名所百人美女 白髭明神	1858(安政5)	35.3×23.8
69	江戸名所百人美女 根津権現	1857(安政4)	35.4×23.7
70	江戸名所百人美女 妻恋稲荷	1857(安政4)	35.4×23.8
71	時世江戸鹿子 茅場町旅宿		38.2×25.9
72	江戸名所百人美女 成田山旅宿	1857(安政4)	35.3×23.9
73	紅毛油画名所尽 神田明神		24.8×36.5
74	紅毛油画名所尽 日本橋		26.2×38.5
75	名所向しま		22.6×29.8
76	江戸八景ノ内 隅田つつみ乃晴嵐		右37.0×25.2 中36.9×25.2 左37.0×25.2
77	元柳橋 雪の光景		右38.3×25.6 中38.5×25.6 左38.2×26.0
78	当時高名会席尽 木母寺 むさしや		39.2×27.2
79	当時高名会席つくし 雑司ヶ谷 めうがや		37.5×25.5
80	当時高名会席尽 薬研堀 ちくめい		39.0×26.1
81	向島平岩		右39.0×26.0 中38.8×26.1 左38.8×25.9
82	江戸名所百人美女 新吉原満花	1857(安政4)	35.3×23.8
83	江戸名所百人美女 よし原	1858(安政5)	35.4×23.8
84	江戸新吉原八朔白無垢の図		右37.7×25.0 中37.7×25.1 左37.5×25.3
85	三ヶ月お仙つばね見せ之図		右38.0×25.5 中38.1×25.5 左38.0×25.4
86	江戸自慢 仲の町燈籠		37.9×25.7
87	北国五色墨 (くわえ楊枝の女)		38.2×26.2
88	北国五色墨 (花魁)		37.0×24.1
89	北国五色墨 (吉原芸者)		37.3×24.9
90	江戸名所百人美女 首尾の松	1857(安政4)	35.4×23.8
91	江戸名所百人美女 大川橋 里俗吾妻はし	1857(安政4)	35.3×23.8
92	(船宿の送り風景)		右37.3×25.0 中37.3×25.5 左37.2×25.5
93	(深川新地 月下の三美人)		右37.7×25.7 中37.4×25.8 左37.7×25.7
94	江戸名所百人美女 深川八幡	1857(安政4)	35.4×23.8
95	当世美人合 辰巳		38.2×25.5
96	日月星ノ内 月		右37.7×25.9 中38.4×25.9 左38.0×25.9
97	勝景鏡 高縄		36.2×24.8
98	江戸名所百人美女 高縄	1857(安政4)	35.4×23.9



歌川国貞「江戸名所百人美女 八町堀」



歌川国貞「紅毛油画名所尽 日本橋」

No.	作品名	制作年(元号)	寸法(cm)
99	江戸名所百人美女 しん宿	1858(安政5)	35.4×23.8
100	江戸名所百人美女 内藤新宿	1858(安政5)	35.4×23.8
101	江戸名所百人美女 千住	1858(安政5)	35.4×23.9
102	江戸名所百人美女 品川歩行新宿	1857(安政4)	35.3×23.8
103	江戸名所百人美女 三田聖坂	1858(安政5)	35.4×23.8
104	江戸名所百人美女 柳島	1858(安政5)	35.3×23.7
105	江戸名所百人美女 浅草田町	1858(安政5)	35.4×23.9
106	江戸名所百人美女 日くらしの里	1857(安政4)	35.3×23.9
107	江戸名所百人美女 柳はし	1858(安政5)	35.4×23.8
108	江戸名所百人美女 新大はし	1858(安政5)	35.3×23.8
109	江戸名所百人美女 今川はし	1858(安政5)	35.4×23.8
110	江戸名所百人美女 大師河原	1857(安政4)	35.4×23.9
111	江戸名所百人美女 京ばし	1858(安政5)	35.3×23.7
112	江戸名所 梅屋舗の図		37.7×25.3
113	江戸名所百人美女 梅やしき	1857(安政4)	35.4×23.8
114	江戸自慢 花屋敷の七草		38.8×26.3
115	江戸名所百人美女 堀切菖蒲	1857(安政4)	35.3×23.9
116	東都堀切花菖蒲	1857(安政4)	右37.2×25.6 中37.3×25.6 左37.3×25.6
117	江戸名所百人美女 かやば町	1857(安政4)	35.3×23.8
118	浮世名異女図会 東都 式丁町風		37.3×25.6
119	江戸名所百人美女 猿若町	1857(安政4)	35.4×23.7
120	江戸名所百人美女 よし町	1858(安政5)	35.4×23.8
121	江戸名所百人美女 今戸	1858(安政5)	35.4×23.8
122	江戸名所百人美女 今戸	1857(安政4)	35.4×23.8
123	江戸名所百人美女 溜いけ	1858(安政5)	35.3×23.8
124	江戸名所百人美女 三味せんぼり	1858(安政5)	35.3×23.8
125	江戸名所百人美女 薬げんぼり	1858(安政5)	35.4×23.8
126	時世江戸鹿子 薬研堀		36.2×25.1
127	江戸名所百人美女 洲崎	1857(安政4)	35.3×23.7
128	江戸名所百人美女 新はし	1857(安政4)	35.3×23.8
129	江戸名所百人美女 江戸はし	1857(安政4)	35.4×23.9
130	江戸名所百人美女 鎧のわたし	1858(安政5)	35.4×23.8
131	勝景鏡 上野		37.9×25.7
132	江戸名所百人美女 上野東叡山	1857(安政4)	35.4×23.9
133	江戸名所百人美女 上野山下	1858(安政5)	35.4×23.8
134	江戸名所百人美女 染井	1857(安政4)	35.4×23.8
135	江戸名所百人美女 御殿山	1858(安政5)	35.3×23.8
136	江戸名所百人美女 四ッ谷	1858(安政5)	35.4×23.8
137	江戸名所百人美女 神楽坂	1858(安政5)	35.4×23.8
138	江戸名所百人美女 鉄砲洲	1858(安政5)	35.3×23.9
139	江戸名所百人美女 花川戸	1857(安政4)	35.4×23.8
140	江戸名所百人美女 人形町	1858(安政5)	35.4×23.8
141	江戸名所百人美女 十軒店	1858(安政5)	35.3×23.8
142	江戸名所百人美女 根岸	1857(安政4)	35.3×23.7
143	江戸名所百人美女 ふる川	1858(安政5)	35.4×23.8
144	江戸名所百人美女 小梅	1858(安政5)	35.4×23.9
145	江戸名所百人美女 千束	1858(安政5)	35.4×23.8
146	江戸名所百人美女 大音寺まへ	1858(安政5)	
147	御好芸者五行の内 水 池の端水		
148	御好芸者五行の内 金 八まんかね		
149	御好芸者五行の内 土 式丁町土ま棧敷		
150	御好芸者五行の内 火 両国の花火		
151	御好芸者五行の内 木 仲の町桜		

* 作者はNo.116以外はすべて歌川国貞。No.116は歌川国貞／歌川広重による合作。

* 作品名は原則的に画面中の表記に従い、旧仮名遣いもそのままに踏襲している。画面中に表記のない場合、()書きで作品名を付けている。

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立近代美術館蔵。

(Ⅱ部)

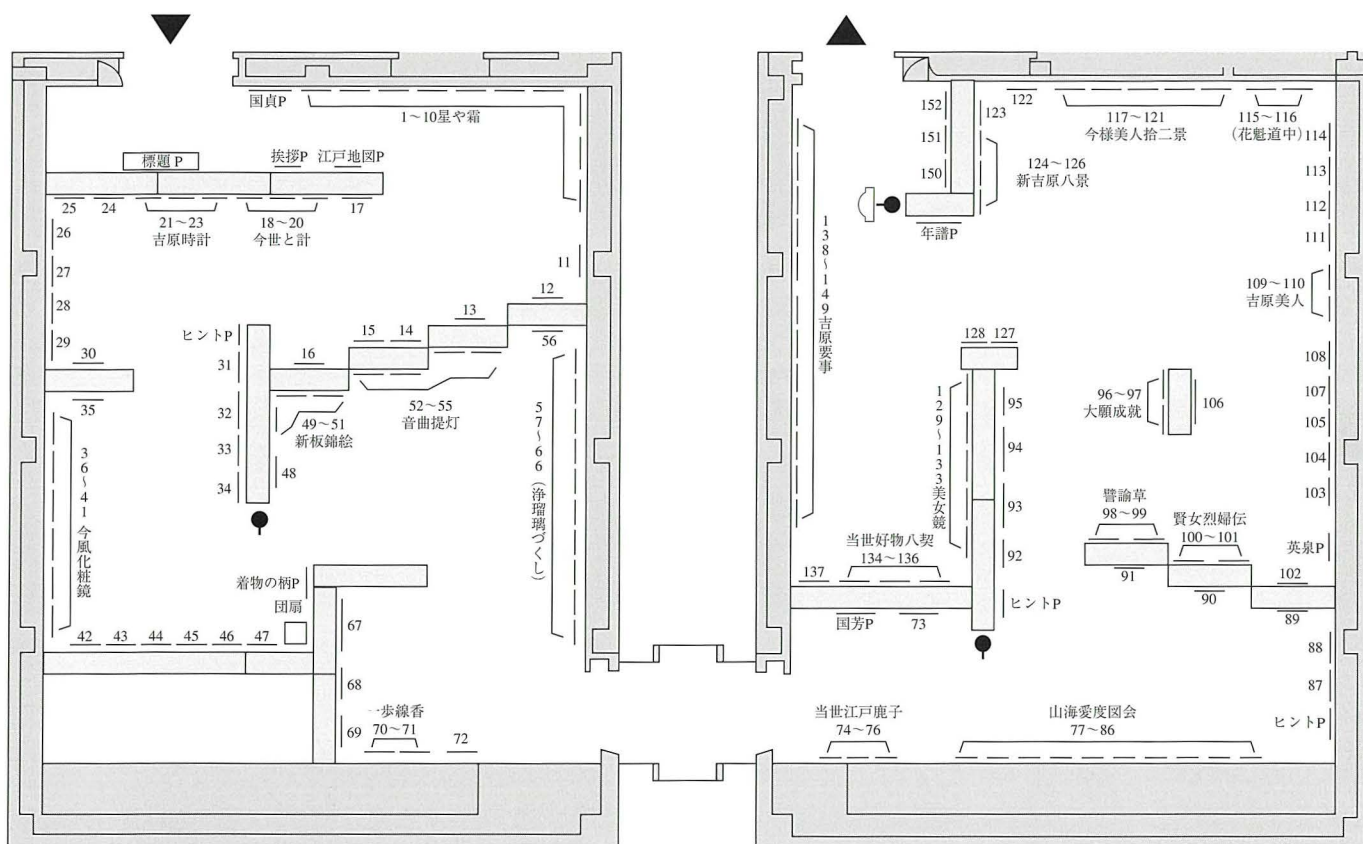
浮世風俗～美人画の三絵師 国貞、国芳、英泉～

茶屋の娘や長屋の女房、あるいは吉原の遊女。浮世絵にはさまざまな階層の女性が、いきいきと描かれている。華麗な衣装に身を包んだ晴れ姿から、湯上りのしどけない姿まで。浮世の女性の暮らしぶりを、江戸末期の三人の浮世絵師、歌川国貞、歌川国芳、溪斎英泉の美人画により見ていった。

歌川国貞（1786～1864）は、一大勢力であった歌川派の総帥として活躍し、庶民感覚あふれる粋(いき)でお侠(きやん)な美人画を数多く残した。歌川国芳（1797～1861）は、意表を突く表現や大胆な構図の武者絵や戯画で知られ、美人画においては愛嬌のある親しみやすい女性を描いている。溪斎英泉（1791～1848）は、放蕩無頼の波乱に富んだ人生を送った絵師で、退廃的で妖艶な美人画で独自の世界を築いた。本展覧会では、三絵師の饗宴による浮世風俗を紹介。展示構成としては作家ごとに分けて展示し、揃物を中心に出品した。



会場風景（Ⅱ部）



展示図面（Ⅱ部）

出品目録（Ⅱ部）

No.	作品名	制作年(元号)	寸法(cm)
■歌川 国貞			
1	星の霜 当世風俗 (蚊帳美人)		37.9×26.2
2	星の霜 当世風俗 (行燈美人)		38.8×26.5
3	星の霜 当世風俗 (手桶美人)		37.8×26.3
4	星や霜 当世風俗 (縁台美人)		38.0×26.1
5	星や霜 当世風俗 (子守り)		38.5×26.5

No.	作品名	制作年(元号)	寸法(cm)
6	星の霜 当世風俗 (若衆謡の女)		37.6×26.3
7	星の霜 当世風俗 (格子美人)		35.1×24.0
8	星や霜 当世風俗 (房楊枝)		37.6×26.2
9	星や霜 当世風俗 (こたつ)		38.9×26.6
10	星や霜 当世風俗 (かけま)		38.1×26.3
11	気候 東風解凍		39.0×25.6
12	文月 西陣の星祭		右37.0×25.6 中37.0×26.2 左37.0×25.6
13	夕立景		右38.5×26.0 中38.8×26.2 左37.3×26.2
14	見立八景 ぎやう水乃夕照		37.1×24.1
15	(白玉水で涼をとる女)		22.7×30.7
16	春待月 娼家の餅花		右39.2×26.6 中39.0×26.9 左39.0×26.5
17	(お高祖頭巾の女)		上36.7×24.7 下37.3×24.9
18	今世と計十二時 巳ノ刻 日ノ四ツ時		38.7×26.0
19	今世と計十二時 午ノ刻 日九ツ時		38.6×26.0
20	今世と計十二時 寅ノ刻 夜七ツ		38.2×25.5
21	吉原時計 午の刻 昼九ツ		38.7×26.3
22	吉原時計 未ノ刻 昼ノ八ツ		37.2×24.9
23	吉原時計 子ノ刻 ひけ九ツ		37.9×25.8
24	江戸の花浮世 (文を渡す)		36.7×24.6
25	当世東にしき絵 (文あらそい)		39.0×26.2
26	当世あつまにしきゑ (四つ手かご)		38.8×25.9
27	日かけ		37.4×25.2
28	(簪)		23.2×26.2
29	思事鏡写絵 (こより)		38.7×25.9
30	蛇踊図 唐人踊		右37.6×25.2 中37.5×25.1 左37.5×25.7
31	七小町 応需見立かよひ		38.2×26.4
32	見立娘壇之浦		右36.7×24.5 中36.7×24.4 左36.7×24.5
33	当世美人合 富士詣ノタ立		37.4×25.7
34	十六むさしの内 ばか乃めざし	1861(文久元)	36.1×24.4
35	雪月花のうち		22.8×29.8
36	今風化粧鏡 (合せ鏡)	c.1823(文政6頃)	37.5×24.7
37	今風化粧鏡 (口紅をさす女)	c.1823(文政6頃)	38.5×25.5
38	今風化粧鏡 (眉を整える女)	c.1823(文政6頃)	36.4×24.6
39	今風化粧鏡 (眉をかくす女)	c.1823(文政6頃)	35.7×24.4
40	今風化粧鏡 (眉を剃る女)	c.1823(文政6頃)	39.0×25.7
41	今風化粧鏡 (歯を磨く女)	c.1823(文政6頃)	37.5×25.9
42	化粧三美人 (お歯黒)		37.4×25.6
43	当世美人合 (合せ鏡)		38.3×26.0
44	当世美人合 (姉様人形髪結い)		37.1×26.0
45	六玉顔 (人形遊び)		22.3×29.1
46	女教訓躰方 折形		22.7×29.6
47	六玉顔 (煙管美人)		22.3×29.3
48	顔見世の光景		右37.7×25.6 中37.5×26.0 左37.8×26.0
49	新板錦絵 当世美人合 三升きどり		37.7×24.5
50	新板錦絵 当世美人合 梅好きどり		26.6×25.1
51	新板錦絵 当世美人合 秀佳きどり		38.1×24.8
52	(音曲提灯) 清元		38.7×26.0
53	(音曲提灯) 鶴賀		38.4×26.0
54	(音曲提灯) 本てうし		37.4×25.9
55	(音曲提灯) にあかり		37.4×26.0
56	春の稽古所		右37.5×25.0 中37.5×24.9 左37.5×24.9
57	(浄瑠璃づくし) 梅川忠兵衛 新口村の段		37.8×25.1
58	(浄瑠璃づくし) 梅か枝源太 無限乃鐘段		37.9×25.4
59	(浄瑠璃づくし) おしゅん伝兵衛 堀川乃段		37.9×24.9
60	(浄瑠璃づくし) お染久松 妹背乃門松		37.7×25.4
61	(浄瑠璃づくし) おつま八郎兵衛 恨鯨鞘		37.9×25.2
62	(浄瑠璃づくし) 小春治兵衛 新地茶屋段		38.0×25.2
63	(浄瑠璃づくし) お千代半兵衛 宵庚申		37.9×25.3

No.	作品名	制作年(元号)	寸法(cm)
64	(浄瑠璃づくし) 三勝縁切段		38.2×25.0
65	(浄瑠璃づくし) おふさ徳兵衛 重井筒		37.7×25.0
66	(浄瑠璃づくし 小紫権八) 驪山比翼塚		37.9×25.6
67	(吉原の花魁たち)		右37.7×25.7 中37.8×25.9 左37.7×25.6
68	(当世) 美人合 俄		37.8×25.1
69	中万字や内 ハツ橋		37.2×25.7
70	一步線香即席嘶 しゃうたく		38.3×25.8
71	一步線香即席嘶 辻君		37.0×24.7
72	卯月の図 (箱屋を連れた芸者)		38.0×26.2

■歌川 国芳

73	(船橋屋菓子司前)		右35.7×24.3 中35.7×24.6 左35.5×24.7
74	当盛江戸鹿子 茅場町薬師		36.2×24.8
75	当盛江戸鹿子 両国の景		37.8×24.8
76	当盛江戸鹿子 三めぐり		37.3×25.1
77	山海愛度図会 よい日をおかミたい	1852(嘉永5)	36.1×25.2
78	さんかい愛度図会 これが着たい	1852(嘉永5)	36.0×24.8
79	山海愛度図会 人形になりたい	1852(嘉永5)	36.2×25.3
80	(山海) 目出鯛図会 あたまかいたい	1852(嘉永5)	35.4×25.4
81	山海愛度図会 一寸見てもらいたい	1852(嘉永5)	36.2×24.5
82	山海愛度図会 はやくねかしたい	1852(嘉永5)	37.2×25.5
83	山海愛度図会 ねむつたい	1852(嘉永5)	36.2×24.8
84	山海愛度図会 えりをぬきたい	1852(嘉永5)	36.1×24.8
85	山海愛度図会 トットやくたい	1852(嘉永5)	36.0×25.4
86	山海愛度図会 早く見たい	1852(嘉永5)	36.2×25.0
87	青楼美人競 岡本屋内妻琴		37.8×25.5
88	時世美人合 花あわせ		38.2×26.5
89	納涼螢		右36.3×24.8 中36.3×24.0 左36.3×25.0
90	季寄時計年中行事 申刻 霜月 西ノまちのにきわひ		右36.4×24.9 中36.2×24.9 左36.4×25.0
91	季寄時計年中行事 戌刻 浅草市の賑ひ		右36.1×25.2 中36.0×25.2 左36.1×25.2
92	程芳流行大津絵 重乃屋		36.8×25.1
93	当盛今戸の夜げしき		右37.1×25.3 中37.2×25.5 左37.0×25.8
94	(諸国六玉川) 武蔵国調布の玉川		右37.4×26.2 中37.6×26.2 左37.5×26.1
95	妙でんす十六利勘 煩惱損者		36.5×24.7
96	大願成就有ヶ滝綺 (布引の滝)		37.8×25.9
97	大願成就有ヶ滝綺 (玉簾の滝)		35.9×24.9
98	譬諭草をしへ早引 へ 辺 土佐の海		35.6×24.8
99	譬諭草をしへ早引 わ 輪 (糸車)		35.7×24.9
100	賢女烈婦伝 松浦佐用姫		36.4×24.9



歌川国芳「季寄時計年中行事 戌刻 浅草市の賑ひ」



溪斎英泉「時世粧 (煙管を持つ花魁)」

No.	作品名	制作年(元号)	寸法(cm)
101	賢女烈婦伝 大井児		36.5×24.8
102	(雪と娘)		上35.3×24.0 下37.0×23.9
■溪斎 英泉			
103	(屋形船)		26.2×38.5
104	(いっぶく)		25.4×37.3
105	(こたつ)		25.7×37.6
106	(客を送る花魁)		上36.2×24.4 下36.6×24.7
107	姿海老屋内七人		38.2×26.1
108	新吉原遊君全盛五家撰 松葉屋内松村		38.1×25.9
109	吉原美人 八瀬のしのぶ 扇屋内朝妻		38.6×25.4
110	吉原美人 いてのやまぶき 扇屋内鳩照		38.5×25.5
111	時世粧 (煙管を持つ花魁)		25.6×37.1
112	吉原八景 瀬田之夕照 丸海老屋内江川		37.6×25.7
113	廓中八契 玉屋内花紫		39.2×26.6
114	花の宵 姿乃春雨		37.4×25.9
115	(花魁道中 花鳥図)		上37.2×24.5 下37.2×24.9
116	(花魁道中 鯉の滝のぼり)		上37.1×24.5 下36.5×24.2
117	今様美人拾二景 深川すさき弁才天 おてんばそう		36.9×24.6
118	今様美人拾二景 高名輪 うわきそう		36.2×24.2
119	今様美人拾二景 隅田川 おもしろそう		38.8×26.0
120	今様美人拾二景 不忍弁天 しづかそう		36.5×24.7
121	今様美人十二景 よし原 手がありそう		37.0×26.0
122	浮世四十八手 あだに取組手		37.0×25.6
123	(湯がえり)		上36.7×24.7 下37.3×24.6
124	新吉原八景 狎客の夜の雨 尾張屋内 糸にし		37.7×25.9
125	新吉原八景 日本堤の落雁 玉屋内 玉櫛		37.9×25.6
126	新吉原八景 楼上の秋の月 丸海老屋内江川		36.8×24.8
127	御利生結ぶの縁日 比沙門天		38.0×25.7
128	浮世美人十二箇月 四月 郭公 初鰯		38.5×26.5
129	時世美女競 抱けいしや		38.9×25.9
130	今様美女競 辰巳		36.7×25.4
131	時世美女競 女房		37.8×26.4
132	今世美女競 深窓娘		36.7×25.1
133	時世美女競 辻君		39.1×26.5
134	当世好物八契 (かるた)		37.9×25.8
135	当世好物八契 けん酒		36.0×24.8
136	当世好物八契 (ひな人形)		37.8×25.6
137	美艷仙女香 白粉		37.2×24.5
138	吉原要事廓の四季志 正月 大こくまい 玉屋内濃紫		37.4×25.4
139	よしはらやうじ廓の四季志 二月 大神楽 尾張屋内長尾		37.2×25.4
140	よしはらやうじ廓の四季志 三月 中の町桜 玉屋内薄雲		37.3×25.4
141	吉原要事廓四季志 四月 客の行かい 岡本屋内菅之助		37.2×25.2
142	吉原要事廓の四季志 五月 端午初のあやめ 松葉屋内増山		37.3×25.2
143	吉原要事廓の四季志 六月 髪あらいい日 三浦屋内三千歳		37.2×25.3
144	よしはらやうじ廓四季志 七月 とうろうほし祭 尾張屋内嘉保留		37.3×25.1
145	吉原要事廓の四季志 八月 八さくにハカ 大文字屋内誰袖		37.1×25.0
146	吉原要事廓の四季誌 九月 俄ねり者 鶴屋内大淀		37.2×25.0
147	吉原要事廓四季志 十月 内証あひす講 姿海老屋内七里		37.2×25.2
148	吉原要事廓の四季志 十一月 仲の町雪見 玉屋内白玉		37.0×24.9
149	吉原要事廓の四季志 十二月 節分 海老屋内鴨緑		37.3×24.7
150	浮世四十八癖 髪を氣にするハあどけない娘の癖		38.4×26.3
151	当世子宝十景 堺町の顔見世		38.4×26.2
152	(美人東海道) 沼津宿 十三 (顔剃り)		37.7×25.8

* 作品名は原則的に画面中の表記に従い、旧仮名遣いもそのままに踏襲している。画面中に表記のない場合、() 書きで作品名を付けている。

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立近代美術館蔵。

没後50年 北大路魯山人展

会期＝平成21年7月14日(火)－9月9日(水) 50日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市・帯広市教育委員会、
北海道新聞社、北大路魯山人展実行委員会、NHK
帯広放送局、NHKプラネット北海道

企画協力＝E.M.I.ネットワーク

観覧料＝一般1,000(800)円、高大生600(450)円、小中生300(250)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「北大路魯山人の人生と芸術」

講師＝中ノ堂一信氏（京都造形芸術大学教授）

日時＝7月25日(土) 午後1時～2時30分

会場＝当館講堂（聴講無料）

特別展セミナー

「美と食の巨人 北大路魯山人」

講師＝鎌田 享（当館学芸課長）

日時＝7月18日(土)、8月15日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂（聴講無料）

ミュージアム・ミステリー 2009サマー

「たんけん！美味しんぼワールド」

日時＝8月1日(土)、8月8日(土) 午前10時30分～午後3時

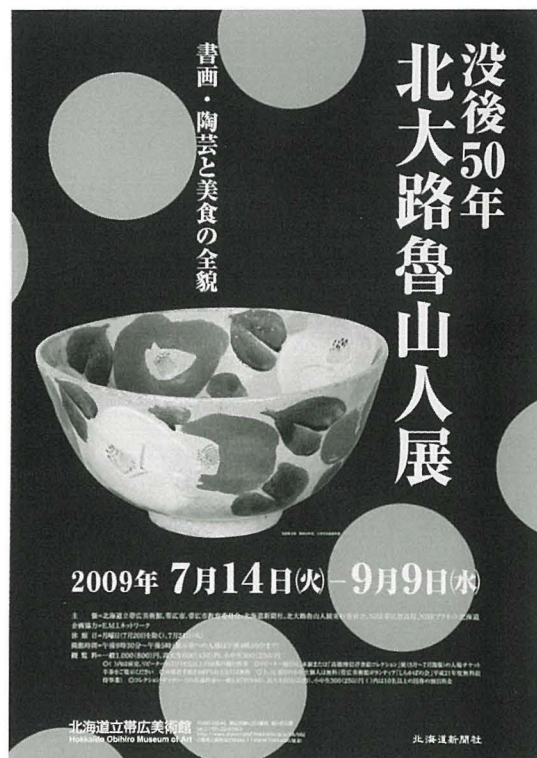
会場＝当館講堂、主展示室ほか（参加料620円、応募制）

サマー・ミュージアム

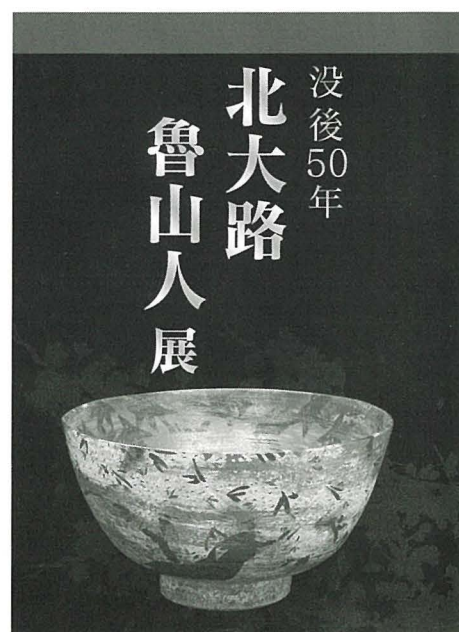
日時＝8月2日(日)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

- ・ワークショップ「マイ箸作りに挑戦！」
講師＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」
時間＝午後1時～4時
会場＝当館講堂（参加無料）
- ・グリーン・コンサート①プラスバンド演奏
出演＝北海道帯広柏葉高等学校吹奏楽部
時間＝午後1時～（約40分）
会場＝当館職員駐車場（入場無料）
- ・グリーン・コンサート②田野城寿男デュオライブ
出演＝田野城寿男氏（サクソ）、村田博之氏（ギター）
時間＝午後2時～（約60分）
会場＝当館ロビー（入場無料）
- ・ドリンク・ブース
時間＝午後1時～4時
会場＝当館ロビー



ポスター



図録

君も北大路魯山人!?～親子で楽しむ絵皿作り～

日時＝8月22日(土)、8月23日(日) (午前の部) 午前9時30分～12時、(午後の部) 午後1時30分～4時 (計4回)

会場＝当館講堂 (参加無料、応募制)

主催＝NHK帯広放送局、北海道立帯広美術館、北海道新聞社

キッズ・ミュージアム

「行ってみたいな、お月さま (ロケット作り)」

日時＝9月5日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂 (託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

図録

規格＝30.0×22.5cm／総頁数160ページ

構成＝ごあいさつ／中ノ堂一信「北大路魯山人 その芸術家としての歩み」／作品図版／石永益三「魯山人の刻字と書」／須田菁華「須田菁華窯と魯山人」／平野明彦「魯山人の絵画」／梶山博史「魯山人の陶芸」／宮永東山「宮永東山窯と魯山人」／大槻倫子「星岡茶寮の器」／遊部文吾「遊部商店と魯山人 魯山人と漆芸 その1」／金重晃介「金重陶陽と魯山人の備前焼」／山本興山「陶工・山本興山と魯山人」／鎌田享「魯山人の漆芸」／辻石斎「辻石斎と魯山人 魯山人と漆芸 その2」／中ノ堂一信編「年譜」／作品目録／北大路魯山人に関する主な図書、作品集、雑誌

関連記事

片山由紀「究極の美と技 没後50年北大路魯山人展 書画・陶芸と美食の全貌」北海道新聞／7月13日(月)

鎌田享「美と食 自由闊達に 北大路魯山人展 回顧展の決定版」北海道新聞 (夕刊)／8月27日(木)

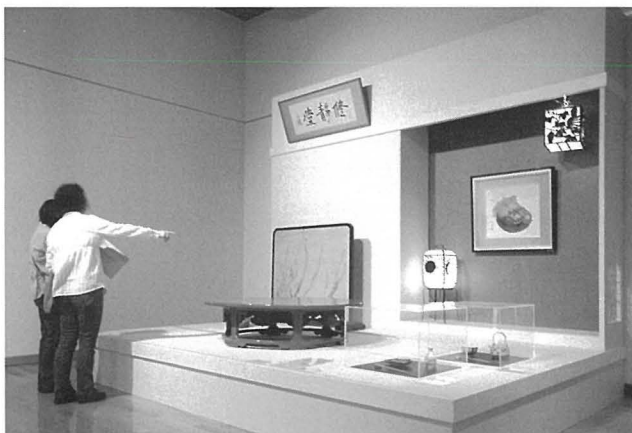
鎌田享「おびひろミュージアム通信 魯山人を演出する！」釧路新聞／7月27日(月)

北大路魯山人 (明治16/1883－昭和34/1959) は、陶芸から料理まで幅広い分野で活躍した人物である。はじめ、書と篆刻で頭角をあらわした魯山人は、食客として滋賀、京都、福井、金沢を巡りながら、美術品への審美眼と美食への関心を深めていった。そして大正14 (1925) 年には会員制の高級料亭・星岡茶寮で顧問兼料理長をつとめ、料理の分野でも大きな革新をもたらした。「食器は料理のきもの」という言葉を残した魯山人はこの頃から、使うことによって一層その輝きをます器も求めて、自ら作陶をはじめた。そして、中国の古染付や呉須赤絵、桃山時代の志野や織部など、伝統をふまえた格調高い陶芸技法を再現してみせた。さらに魯山人は、その創造の領域を絵画や漆芸へとひろげ、食文化を中心にしながら独自の芸術世界を築き上げたのである。

没後50年を期して企画・開催された本展覧会では、幅広い領域で活躍した北大路魯山人の創作の全貌を、生涯にわたる作品250点あまりによって紹介。書や陶芸など各分野の代表作によって、魯山人の高い造形性を再検証する一方、星岡茶寮で実際に使用された食器類にも焦点をあてることで、魯山人と食の関わりについても具体的に紹介した。

当館での作品展示は、本展のそうした趣旨を踏まえて構成した。会場冒頭では、和室風の展示ステージに書や陶芸、漆芸、金工など多彩な作品を配することで、魯山人作品に彩られた空間を現出させた。続いて、各分野の作品を制作年代を追って紹介することで、魯山人の作風の変遷とその特質をたどった。そして会場の後端では、星岡茶寮の食器類を特集展示した。

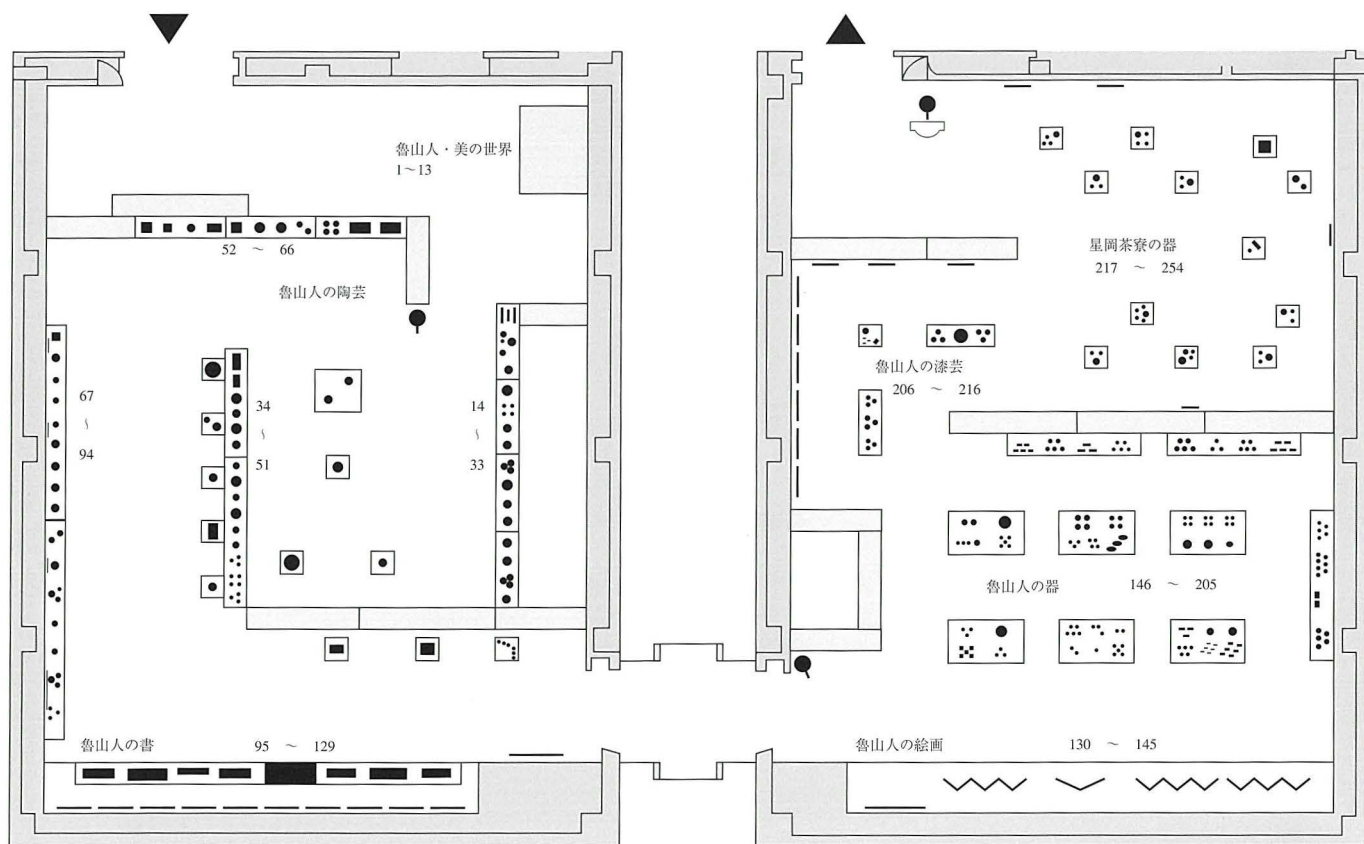
北大路魯山人は、高い知名度を誇りながらも、その作品となるとまだまだ一般的には知られていない部分の多い作家のひとりといえる。魯山人芸術の全貌を本格的に紹介した本展は、その面でも大きな意味を持つものといえる。会期中の観覧者は12,642名と多数を数えたが、ここからも魯山人に対する関心の高さと、本展の意義を汲み取ることができる。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	種別	作品名	制作年	寸法 (cm)	所蔵先
■魯山人・美の世界					
1	書	修静堂	昭和20代(1945-54)	30.5×85.3	
2	書	野菜図(画・中村竹四郎、賛・北大路魯山人)	大正8(1919)頃	44.0×49.5	
3	陶芸	絵瀬戸菖蒲文火鉢	昭和元-11(1926-36)	26.6×22.0	
4	陶芸	絵瀬戸土瓶	昭和25(1950)頃	16.5×径13.3	
5	陶芸	麦藁手蓋付飯茶碗	昭和25(1950)	8.2×径11.5	
6	陶芸	織部魚形箸置	昭和28(1953)	大 2.0×6.0×5.0 小 1.3×5.5×4.0	
7	陶芸	鉄絵双葉箸置	昭和28(1953)	1.7×4.5×2.0	
8	陶芸	銀彩葉形皿	昭和32-33(1957-58)	3.0×20.0×15.0	
9	陶芸	志野組酒器	昭和24(1949)頃	徳利 11.3×径7.2 ぐいのみ 4.2×径4.8	
10	漆芸	漆絵「海遊図」	昭和10代(1935-44)	90.0×120.0	
11	漆芸	漆絵桐文円卓	昭和18(1943)頃	32.5×径125.0	
12	金工	鉄製葡萄文吊行燈	昭和20代(1945-54)	28.5×27.5×27.5	
13	金工	鉄製武蔵野透置行燈	昭和26(1951)頃	72.3×径28.6	
■魯山人の陶芸					
14	陶芸	染付鯉魚向付	大正12(1923)	3.8×17.0×14.2	
15	陶芸	青磁双魚文中鉢(星岡窯の印)	大正13(1924)頃	5.7×径21.4	
16	陶芸	染付吹き墨貴文小向付(星岡窯の印)	大正13(1924)頃	2.5×径15.3	
17	陶芸	青磁徳利(星岡窯の印)	大正13(1924)頃	14.5×径7.0	
18	陶芸	青磁双魚文小鉢(東山造魯山人補作)	大正13(1924)	3.4×径17.0	

No.	種別	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先
19	陶芸	青磁長頸牡丹文壺	大正13(1924)	37.0×径24.0	
20	陶芸	古九谷風福之字丸平鉢	昭和10代(1935-44)	6.0×径27.5	
21	陶芸	色絵九谷風福字小向付	昭和10(1935)頃	2.8×9.8×9.6	
22	陶芸	赤絵百川文字文皿	昭和14(1939)	2.5×径23.5	
23	陶芸	赤絵九谷風双魚飾皿	昭和16(1941)頃	2.5×径22.0	
24	陶芸	九谷風あやめ平向付	昭和15(1940)	1.8×径18.4	
25	陶芸	染付福字皿・鎌倉彫額	昭和14(1939)	1.8×径30.0	
26	陶芸	染付鳥文花入	昭和10代(1935-44)	29.4×径22.7	日登美美術館
27	陶芸	染付良寛詩花入	昭和12(1937)	32.5×径26.8	
28	陶芸	染付双禽文花入	昭和16(1941)	37.5×径25.0	
29	陶芸	染付詩書花入	昭和14-16(1939-41)	37.2×径27.6	
30	陶芸	染付福字平向付	昭和初期- 昭和10代 (1926-44)	1.7×径21.2	
31	陶芸	染付花と魚文鉢	昭和初期- 昭和10代 (1926-44)	8.0×径18.6	
32	陶芸	染付竹林絵輪花鉢	昭和29(1954)	14.4×径23.5	
33	陶芸	色絵椿文大鉢	昭和16(1941)頃	19.7×径40.5	
34	陶芸	赤絵金欄手向付	昭和13(1938)頃	7.5×径9.0	東京国立近代美術館
35	陶芸	萌葱金欄手鳳凰文煎茶碗	昭和14(1939)頃	5.5×径8.5	東京国立近代美術館
36	陶芸	色絵金欄手蓋物	昭和15(1940)頃	8.3×径12.0	東京国立近代美術館
37	陶芸	色絵椿文鉢	昭和10代(1935-44)	11.2×径22.5	日登美美術館
38	陶芸	色絵牡丹文鉢	昭和10代(1935-44)	11.8×径21.8	
39	陶芸	金彩雲錦大鉢	昭和25(1950)	18.0×径32.0	
40	陶芸	金彩武蔵野鉢	昭和20代(1945-54)	11.7×径20.0	日登美美術館
41	陶芸	朝桜夕楓鉢	昭和10-16(1935-41)	12.3×径24.8	日登美美術館
42	陶芸	赤絵金彩紅葉絵鉢	昭和30(1955)頃	10.5×径19.5	
43	陶芸	金彩雲錦鉢	昭和26(1951)	18.5×径33.0	東京国立近代美術館
44	陶芸	鳥かすみ網文扇面鉢	昭和10(1935)頃	8.0×30.0×30.0	
45	陶芸	織部亀甲形鉢	昭和10(1935)頃	7.8×31.0×27.2	
46	陶芸	織部松林文深鉢	昭和20(1945)以降	11.2×径20.5	
47	陶芸	織部六角台鉢	昭和25(1950)頃	19.6×径28.9	
48	陶芸	織部鱗文俎板鉢	昭和25(1950)	4.9×43.5×20.0	
49	陶芸	織部俎板鉢	昭和25(1950)頃	5.0×47.4×22.0	
50	陶芸	織部籠形花入	昭和28(1953)頃	19.1×径18.6	
51	陶芸	織部花入	昭和28-31(1953-56)	26.5×径21.0	日登美美術館



「金彩雲錦大鉢」



「伊賀釉鮑形大鉢」

No.	種別	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先
52	陶芸	織部武蔵野文組板鉢	昭和28(1953)頃	5.3×49.2×25.2	日登美美術館
53	陶芸	織部鳥文組板鉢	昭和28(1953)頃	6.0×52.5×26.8	
54	陶芸	織部蟹絵丸平向付	昭和32(1957)	3.3×径15.5	
55	陶芸	灰釉竹形花入	昭和12-16(1937-41)	27.1×径11.0	
56	陶芸	信楽クシメ筒花入	昭和27(1952)頃	25.2×9.8×9.1	
57	陶芸	信楽灰被壺	昭和31(1956)	30.8×径27.0	
58	陶芸	瀬戸手桶	昭和28(1953)	34.0×径28.0	
59	陶芸	絵瀬戸草文四方台鉢	昭和30-32(1955-57)	6.0×28.0×28.0	
60	陶芸	志野長方皿	昭和25-32(1950-57)	4.0×35.6×17.5	
61	陶芸	紅志野丸平鉢	昭和25-32(1950-57)	4.2×径21.2	
62	陶芸	志野芒絵四方平鉢	昭和27-30(1952-55)	3.6×22.0×21.7	
63	陶芸	伊賀しのぎ手四方平鉢	昭和30(1955)頃	9.0×28.2×28.0	
64	陶芸	伊賀釉鮑形大鉢	昭和16(1941)	16.6×53.0×42.6	
65	陶芸	黄瀬戸鉢	昭和20代(1945-54)	8.5×径24.2	
66	陶芸	黄瀬戸あやめ文鉢	昭和20代(1945-54)	5.1×径17.8	
67	陶芸	備前土クシメ花入	昭和27(1952)頃	22.0×径23.0	
68	陶芸	備前牡丹餅文組板鉢	昭和30-32(1955-57)	7.4×44.2×22.5	
69	陶芸	銀三彩壺	昭和30(1955)頃	29.3×径27.0	
70	陶芸	備前四方平鉢	昭和28-32(1953-57)	5.0×24.0×23.5	
71	陶芸	備前丸鉢	昭和30-32(1955-57)	5.0×径27.0	
72	陶芸	備前手桶花入	昭和28-33(1953-58)	26.0×径13.4	
73	陶芸	備前耳付筒花入	昭和32(1957)	27.4×径15.8	
74	陶芸	銀彩鶴首花入	昭和30(1955)頃	24.0×径14.0	
75	陶芸	銀彩緑釉寿文輪花鉢	昭和30-34(1955-59)	5.5×径31.0	
76	陶芸	銀彩丸皿	昭和32-33(1957-58)	2.5×径24.0	
77	陶芸	銀三彩輪花透鉢	昭和32-34(1957-59)	14.0×径30.6	
78	陶芸	銀彩どじょう鍋	昭和32-33(1957-58)	2.8×径22.5	
79	陶芸	黄瀬戸耳付水指	昭和10代(1935-44)	14.5×径16.2	
80	陶芸	御本刷毛目茶碗	昭和15(1940)	8.0×径14.0	日登美美術館
81	陶芸	信楽竹形蓋置	不詳	5.4×径6.5	
82	陶芸	黄瀬戸竹形蓋置	不詳	4.7×径5.8	
83	陶芸	刷毛目釘三島風茶碗	昭和3(1928)	8.1×径19.6	
84	陶芸	瀬戸黒茶碗	昭和10代(1935-44)	7.2×径12.4	
85	陶芸	瀬戸黒束柴水指	昭和10代(1935-44)	18.0×径18.0	
86	陶芸	備前土半筒茶碗	昭和27-32(1952-57)	10.3×径7.8	
87	陶芸	志野茶碗	昭和20(1945)以降	8.6×径13.3	
88	陶芸	信楽茶碗	不詳	8.6×径12.3	
89	陶芸	紅志野水指	昭和28(1953)	17.5×径16.5	
90	陶芸	志野橋之絵茶碗	昭和20代(1945-54)	7.3×径13.0	
91	陶芸	鼠志野茶碗	昭和25(1950)頃	8.8×径12.6	
92	陶芸	絵唐津香合	不詳	5.0×径5.5	
93	陶芸	黄瀬戸宝珠香合	昭和15(1940)	3.5×径6.2	
94	陶芸	信楽かび餅香合	不詳	3.8×径4.0	

■魯山人の書

95	書	いろはに	昭和30-34(1955-59)	30.0×39.0
96	書	大半生涯在釣船	昭和30-34(1955-59)	40.3×43.3
97	書	畫禅	昭和20代(1945-54)	30.0×59.0
98	書	愛吾廬	昭和初期-昭和10代(1926-44)	28.5×84.5
99	刻字	看板「白銀屋」	大正4(1915)	126.9×25.2
100	書	朝日軒	明治37(1904)	42.4×112.0
101	書	昨日雨今日晴	大正11-15(1922-26)頃	144.4×26.0

No.	種別	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先
102	書	酒猶兵	大正2(1913)	31.0×137.0	
103	刻字	濡額「瓦全閣」	大正2(1913)	33.0×80.0	
104	刻字	濡額「書画禪」	大正2(1913)	24.5×111.3	
105	書	春來草自生	大正14(1925)	33.0×132.3	
106	刻字	濡額「同風軒」	大正2(1913)	35.8×106.3	
107	書	禪悦	昭和30(1955)	33.5×104.0	
108	刻字	看板「柚味噌」	大正3(1914)	63.0×181.8	
109	書	玄閑	昭和30(1955)	35.2×64.5	
110	刻字	濡額「寶石堂」	大正3頃(1914)	30.5×90.5	
111	書	演題「私は先代菁華に教へられた」	昭和30(1955)	152.0×24.5	
112	刻字	濡額「林麓居」	昭和14(1939)	36.0×106.5	
113	書	清風拂明月明月拂清風	昭和20代(1945-54)	97.8×20.3	
114	刻字	濡額「遊神」	昭和15(1940)	33.0×75.7	
115	書	萬里無雲孤月圓	昭和12(1937)頃	125.0×28.5	
116	書	寒山詩「閑自訪高僧」	昭和20代(1945-54)	31.8×139.4	
117	書	四海兄弟	昭和初期-昭和10代 (1926-44)	29.5×165.6	
118	刻字	濡額「如是我親房」	大正2(1913)	18.0×39.0	
119	刻字	濡額「緑塵」	昭和12(1937)	43.0×53.2	
120	篆刻	石印 宝石珍藏	大正3(1914)頃	2.8×径1.8	
121	篆刻	陶印 仰老莊之遺風	大正14(1925)	3.4×3.3×3.3	
122	篆刻	陶印 長 (わかもとと注文用)	昭和12(1937)頃	3.0×径2.0	
123	篆刻	陶印 魯	不詳	3.3×径1.6	
124	篆刻	陶印 星	不詳	3.2×径2.0	
125	篆刻	石印 夢境	不詳	4.3×2.3×2.3	
126	書	良寛詩・竹林図	昭和25-26(1950-51)	各116.3×253.0	
127	書	持ち味を生かせ	昭和30-34(1955-59)	27.0×24.0	
128	書	品質即料理	昭和30-34(1955-59)	27.0×24.0	
129	書	生持味	昭和30-34(1955-59)	27.0×24.0	

■魯山人の絵画

130	絵画	『星岡』 昭和10年8月号の表紙の原画	昭和10(1935)	27.0×24.0	
131	絵画	舞猿図 (『雅美生活』 昭和13年8月号に掲載)	昭和13(1938)	34.5×48.0	
132	絵画	大明製筆図	昭和20代(1945-54)	27.0×24.0	
133	絵画	暗香盆上依	昭和初期-昭和10代 (1926-44)	45.0×56.6	
134	絵画	今年のお花見は星岡茶寮へ (『星岡』 昭和11年3・4月号に掲載)	昭和11(1936)	19.0×26.0	
135	絵画	西瓜と茄子之図	昭和10代(1935-44)	27.0×24.0	
136	絵画	自画像	昭和12(1937)	128.5×63.3	
137	絵画	武蔵野富士図	昭和13(1938)	102.6×132.4	
138	絵画	詩書陶器図	昭和6(1931)	103.5×300.1	
139	漆芸	漆絵「菖蒲図」	昭和10代(1935-44)	175.0×173.0	
140	絵画	果実図画賛	昭和16(1941)	38.0×49.5	
141	絵画	赤絵鉢之図	昭和16(1941)	46.0×59.0	
142	絵画	自画像	昭和15(1940)頃	27.0×24.0	
143	絵画	ビール瓶図	不詳	27.0×24.0	
144	絵画	鯉幟図	昭和20代(1945-54)	27.0×24.0	
145	絵画	松林に鳥図	昭和15-25(1940-50)	27.0×24.0	

■魯山人の器

146	陶芸	乾山風楓葉向付	昭和9(1934)	4.5×18.5×15.8	
147	陶芸	色絵蓋付碗形向付	昭和15(1940)頃	9.0×径11.0	
148	陶芸	藍釉文字鉢	昭和20代(1945-54)	10.5×径21.0	

No.	種別	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先
149	陶芸	染付菊花煎茶碗	昭和初期-昭和10代 (1926-44)	5.2×径9.3	
150	陶芸	九谷風徳利	昭和14-15(1939-40)	14.5×径7.3 14.3×径8.0	
151	陶芸	黄瀬戸徳利	昭和10代(1935-44)	17.3×径9.3	
152	陶芸	赤絵金欄手盃	昭和14(1939)	3.5×径6.1	
153	陶芸	染付竹林絵徳利	昭和28-29(1953-54)	12.0×径6.5 12.4×径7.6	
154	陶芸	紅志野徳利	不詳	14.0×径7.8	
155	陶芸	紅志野ぐいのみ	不詳	大 4.3×5.2×4.2 小 3.6×4.2×4.2	
156	陶芸	伊賀台付盃	昭和33(1958)	7.5×径7.7	
157	陶芸	色絵麦藁手筒向付	昭和10代(1935-44)	8.6×径8.2	
158	陶芸	黄瀬戸深向付	昭和25(1950)頃	7.5×径14.3	
159	陶芸	赤呉須玉取獅子鉢	昭和24(1949)	9.5×径21.2	
160	陶芸	織部汁次	昭和25(1950)頃	12.4×15.2×9.0	
161	陶芸	赤呉須汁次 「不老長寿」	昭和28(1953)	8.3×10.9×9.0	
162	陶芸	織部魚形箸置	昭和28(1953)	大 2.0×6.0×5.0 小 1.3×5.5×4.0	
163	陶芸	織部箸置	昭和28(1953)	牡丹文 1.3×4.7×2.6 枕流 1.8×4.4×2.4	
164	陶芸	染付魚形箸置	昭和28(1953)	大 2.0×6.2×5.2 小 1.8×5.8×4.2	
165	陶芸	鉄絵双葉箸置	昭和28(1953)	1.7×4.5×2.0	
166	陶芸	銀彩醬油注	昭和32(1957)	7.8×径8.7	
167	陶芸	麦藁手鉢	昭和23-25(1948-50)	10.5×径18.3	
168	陶芸	備前片口小鉢	昭和27-32(1952-57)	6.0×17.0×12.5	
169	陶芸	信楽土灰被り土瓶	昭和20代(1945-54)	13.0×18.5×15.5	
170	陶芸	赤地金字ぐいのみ 「清風萬古」	不詳	5.1×径6.2	
171	陶芸	色絵赤玉馬上杯	不詳	5.6×径4.7	
172	陶芸	染付ぐいのみ 「陶々其楽」	不詳	3.5×径5.6	
173	陶芸	黄瀬戸ぐいのみ	不詳	4.3×径5.2	
174	陶芸	粉引ぐいのみ	不詳	4.5×径5.3	
175	陶芸	黒織部ぐいのみ	昭和初期-昭和10代 (1926-44)	2.7×5.4×4.6	
176	陶芸	青磁双魚盃 (宮永東山窯)	大正13(1924)	2.6×径7.7	
177	陶芸	赤地金彩梅笹文ぐいのみ	不詳	6.9×径4.6	
178	陶芸	備前徳利 (北鎌倉の星岡窯)	昭和32(1957)	13.2×径9.4	
179	陶芸	備前徳利 (金重陶陽の窯)	昭和27(1952)頃	12.8×径8.2	
180	陶芸	備前徳利 (北鎌倉の備前風登窯)	昭和32(1957)	12.8×径8.2	
181	陶芸	備前盃 (金重陶陽の窯)	昭和27(1952)頃	2.8×径7.5	
182	陶芸	織部葉形皿	昭和25(1950)頃	2.5×19.5×10.0	
183	陶芸	織部輪花小向付	昭和26(1951)	6.0×径8.5	
184	陶芸	紅志野輪花小向付	昭和26(1951)	6.0×径8.5	



「看板『柚味噌』」



「一関張日月碗」

No.	種別	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先
185	陶芸	絵志野輪花筒形向付	昭和30(1955)	8.4×径9.6	日登美美術館
186	陶芸	備前土割山椒向付	昭和27(1952)頃	7.2×径14.1	
187	陶芸	銀彩色絵糸巻四方皿	昭和30-33(1955-58)	3.8×17.3×17.3	
188	陶芸	土鍋とコンロセット	昭和22(1947)頃	28.0×径28.5	
189	陶芸	赤絵牡丹湯呑	昭和26(1951)	10.8×径8.6	
190	陶芸	染付蛸手ビールカップ	昭和14(1939)	9.5×径7.8	
191	陶芸	染付辰砂葡萄文紅茶碗	昭和15(1940)	5.6×径9.8	
192	陶芸	黄瀬戸皿	昭和25(1950)頃	2.4×径14.8	
193	陶芸	志野ビールジョッキ	昭和32(1957)	14.5×径13.5	
194	陶芸	白菜画沙羅	昭和5(1930)頃	2.1×径18.1	
195	陶芸	染付紅葉形向付	昭和11-14(1936-29)	3.0×18.0×14.0	
196	陶芸	乾山風金彩絵替皿	昭和21-26(1946-51)	2.0×径16.0	
197	陶芸	絵替土器皿 (八勝館庭焼)	昭和25-32(1950-57)	2.1×径11.2	
198	陶芸	色絵糸巻平向付	昭和25(1950)	3.5×15.5×15.3	
199	陶芸	鉄絵蟹絵平向付	昭和25-32(1950-57)	3.0×径17.0	
200	陶芸	織部菊形皿	昭和25(1950)頃	2.5×径16.0	
201	陶芸	銀彩刷毛目紅葉絵皿	昭和30-33(1955-58)	3.2×径20.7	
202	陶芸	備前木葉皿	昭和27-32(1952-57)	2.5×11.3×8.0	
203	陶芸	備前長皿	昭和27-32(1952-57)	1.5×21.0×8.0	
204	陶芸	志野松林文四方皿	昭和30-32(1955-57)	2.5×18.5×18.5	
205	陶芸	鼠志野長向付	昭和30-32(1955-57)	2.5×17.9×7.8	
206	陶芸	織部陶硯	不詳	2.4×14.6×10.0	
207	陶芸	赤呉須魚帯留	昭和13(1938)	0.4×6.7×2.5	
208	陶芸	織部帯留	昭和15(1940)	1.2×3.4×1.3	
209	陶芸	織部ブローチ	昭和25(1950)	0.9×径5.8	
210	陶芸	染付電気スタンド	昭和25-26(1950-51)	34.1×径25.7	

■魯山人の漆芸

211	漆芸	一閑張日月椀	昭和10代(1935-44)	11.5×径12.6	日登美美術館
212	漆芸	朱漆日月椀	昭和初期-昭和10代(1926-44)	10.8×径17.0	
213	漆芸	一閑張扇面散椀	昭和18(1943)頃	9.5×径13.0	
214	漆芸	桃山風椀	昭和18(1943)頃	12.2×径13.7	
215	漆芸	漆絵野菜図盆	昭和19(1944)	8.4×径34.5	
216	漆芸	糸目菊文煮物椀	昭和23(1948)頃	10.5×径16.6	
217	漆芸	黄瀬戸蓋物	昭和元-11(1926-36)	7.8×径12.0	
218	陶芸	織部鉢	昭和元-11(1926-36)	7.0×径27.2	
219	陶芸	吹墨鯨文小皿	昭和元-11(1926-36)	2.5×10.6×10.6	
220	陶芸	織部線花文皿	昭和元-11(1926-36)	3.8×径21.0	

■星岡茶寮の器

221	陶芸	灰釉六角向付	昭和元-11(1926-36)	4.6×径7.0	日登美美術館
222	陶芸	青磁刻字徳利 (宮永東山窯)	大正13(1924)	13.9×径8.4	
223	陶芸	青磁刻字徳利 (星岡窯の印)	大正13-昭和11(1924-36)	15.4×径8.0	
224	陶芸	古染付盃	昭和元-11(1926-36)	3.0×径7.1	
225	陶芸	絵瀬戸草文皿	昭和元-11(1926-36)	4.3×径17.3	
226	陶芸	鉄釉四方向付 (美濃焼笠原窯)	昭和元-11(1926-36)	5.0×径14.5	
227	陶芸	鉄絵染付草文向付	昭和元-11(1926-36)	5.3×径11.7	
228	陶芸	吸坂手栗絵鉢	昭和元-11(1926-36)	7.8×径28.2	
229	陶芸	染付籠字鉢 「嘉泉無」	昭和元-11(1926-36)	8.7×径15.8	
230	陶芸	青磁霊芝文小皿	大正13-昭和11(1924-36)	3.0×径10.0	
231	漆芸	漆線模様蓋付椀	昭和元-11(1926-36)	7.6×径8.1	日登美美術館

No.	種別	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先
232	陶芸	青磁双魚文小向付 (宮永東山窯)	大正13(1924)	4.0×径13.6	
233	陶芸	絵瀬戸十草文手塩皿	昭和元-11(1926-36)	2.0×径10.0	
234	陶芸	染付吹き墨德利	昭和元-11(1926-36)	大 13.5×径6.0 小 12.5×径5.7	
235	陶芸	赤地盃	昭和元-11(1926-36)	2.5×径6.2	
236	陶芸	灰釉長皿	昭和元-11(1926-36)	1.1×26.4×10.0	
237	陶芸	赤地茶碗	昭和元-11(1926-36)	5.9×径10.0	
238	陶芸	灰釉水指	昭和元-11(1926-36)	16.5×径16.7	
239	陶芸	織部蚊やり	昭和元-11(1926-36)	26.0×21.2	
240	陶芸	織部陶板	昭和元-11(1926-36)	4.0×29.0×29.7	
241	陶芸	絵瀬戸木葉文皿	昭和元-11(1926-36)	4.0×径18.0	
242	陶芸	鉄絵井桁文皿	昭和元-11(1926-36)	4.0×径17.9	
243	陶芸	灰釉鉢	昭和元-11(1926-36)	6.8×径27.1	
244	陶芸	吹墨八角梅に兔文向付	昭和元-11(1926-36)	2.7×径16.4	
245	陶芸	染付吉祥文字四方小皿 (須田菁華窯)	大正12-昭和11 (1923-36)	2.1×9.0×9.0	
246	陶芸	絵志野湯呑	昭和元-11(1926-36)	7.0×径7.0	
247	漆芸	波文蓋付煮物椀	昭和元-11(1926-36)	9.2×径6.2	
248	陶芸	乾山風菖蒲文皿	昭和元-11(1926-36)	2.8×径16.3	
249	陶芸	吸坂鉄絵華文皿	昭和元-11(1926-36)	3.6×径16.4	
250	陶芸	織部兜大鉢	昭和元-11(1926-36)	7.7×径29.1	
251	陶芸	黄瀬戸輪花向付	昭和元-11(1926-36)	6.0×径10.6	
252	陶芸	黄瀬戸筒向付	昭和元-11(1926-36)	17.4×径10.2	
253	陶芸	赤地金彩鉢	昭和元-11(1926-36)	7.0×径17.3	
254	陶芸	吹墨吉文字五角向付	昭和元-11(1926-36)	5.5×13.0×13.2	

*寸法は縦×横、または高さ×径、または高さ×幅×奥行。

はな展 四季の花・幻想の華

会期＝平成21年11月20日(金)ー平成22年1月13日(水) 41日間

主催＝北海道立帯広美術館

協力＝札幌芸術の森美術館

観覧料＝一般650(500)円、高大生400(300)円、小中生200(150)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

技法講座

「羊毛で絵をかこう」

講師＝村上知亜砂氏（ファイバーワーク・アーティスト）

日時＝11月1日(日) 午前11時～午後4時

会場＝当館講堂（参加無料、自由参加）

映写室

「いけばなの様式美①立華の製作ー除眞立華』『②かきつばたー八橋の景ー」

日時＝11月2日(月) 午後2時～3時

会場＝当館講堂（入場無料）

「荒木経惟 アラキネマ『花曲』『花曲2』」

日時＝11月3日(火・祝) 午後2時～3時

会場＝当館講堂（入場無料）

「いけばなの様式美『③写景の盛花』『④投入花』」

日時＝11月4日(水) 午後2時～3時

会場＝当館講堂（入場無料）

「いけばなの様式美『⑤茶花』『⑥煎茶席の花』」

日時＝11月5日(木) 午後2時～3時

会場＝当館講堂（入場無料）

技法講座

「鉛筆で描く、植物細密画」

講師＝はらたかよし氏（帯広植物細密画同好会主宰）

日時＝11月6日(金) 午後1時～4時

会場＝当館講堂（参加無料、応募制）

ミュージアム・カレッジ

「花をめぐる美術断章①～④」

講師＝当館学芸員ほか

日時＝11月7日(土)、11月21日(土)、12月5日(土)、12月12日(土)

午後2時～3時30分 全4回

＊11月21日は美術講演会としても開催、午後2時～4時。

会場＝当館講堂（参加料500円、応募制）



ポスター

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
19	三岸好太郎	花	1932(昭和7)	油彩・キャンバス	45.8×38.3	北海道立三岸好太郎美術館
20	俣野第四郎	静物(2)	1924(大正13)	油彩・キャンバス	37.8×45.6	北海道立近代美術館
21	野田弘志	ソーテルヌのある静物	2006(平成18)	油彩・キャンバス	91.0×91.0	株式会社アミノアップ化学
22	岩田治子	紫陽花と夏柑と籠のリンゴ	2000(平成12)	油彩・キャンバス	91.0×116.5	市立函館博物館
23	前田政雄	鉄線蓮	1971(昭和46)	木版・紙	26.7×40.5	北海道立函館美術館
24	前田政雄	百日草	1935(昭和10)頃	油彩・キャンバス	41.7×25.2	北海道立函館美術館
25	長谷川溝二郎	花(未完)	制作年不詳	油彩・キャンバス	33.4×24.3	北海道立函館美術館
26	田辺三重松	薔薇	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	53.0×45.5	函館市立弥生小学校 (北海道立函館美術館 寄託)
27	木田金次郎	花	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	45.2×33.3	北海道立近代美術館
28	栃内忠男	夜明けの花	1977(昭和52)	木炭・キャンバス	53.0×45.5	北海道立近代美術館
29	大本 靖	『銀のシリーズ』大本靖版画集 北の湿原	発行1980(昭和55)	木版・紙	54.6×24.7	北海道立近代美術館

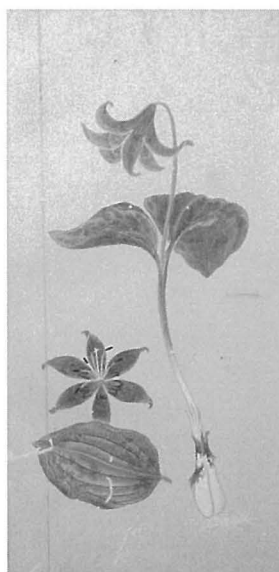
■Ⅲ 真に迫る～「花鳥画」を中心に～

30	横山松三郎	菊	制作年不詳	油彩・絹	45.5×30.4	函館市 (北海道立函館美術館 寄託)
31	前田政雄	ボタン	1971(昭和46)	木版・紙	27.2×41.0	北海道立函館美術館
32	炭 光任	ひまわり	1965～74 (昭和40年代)頃	紙本彩色・額	50.0×40.0	北海道立函館美術館
33	蠣崎波響	牡丹睡猫図	江戸時代	絹本着色・軸	97.5×35.0	市立函館博物館
34	高木黄史	ダリヤ	1925(大正14)	絹本彩色・軸	135.5×84.0	北海道立近代美術館
35	高木黄史	牡丹	1980(昭和55)	麻布・彩色・額	72.7×90.7	北海道立近代美術館
36	西條正一	牡丹	1971(昭和46)	紙本彩色・額	144.5×111.0	北海道立近代美術館
37	炭 光任	牡丹芥子	1945～54 (昭和20年代)頃	絹本彩色・額	96.0×85.0	北海道立函館美術館
38	関口雄揮	冬原	1978(昭和53)	紙本彩色・額	236.0×163.2	関口雄揮記念美術館
39	小林満枝	叢原	1985(昭和60)	紙本彩色・額	112.0×145.4	北海道立帯広美術館

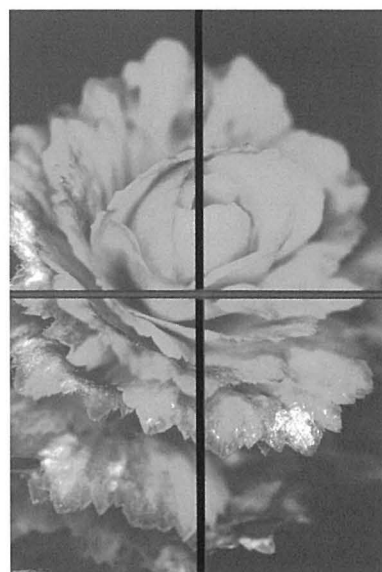
■Ⅳ 飾る～自然の意匠～

40	銘 一陽斎就昌	桜花図鐔 大	—	鉄地・長丸形・高彫・金象嵌	径7.9	市立函館博物館
41	無銘 石黒	桜に雉子鐔 大	—	鉄地・長丸形・高彫・色絵	径8.9	市立函館博物館
42	無銘	花文様透鐔	—	鉄地・丸形・透彫・銀覆輪	径10.8	市立函館博物館
43	銘 一陽斎 就昌	桜花図鐔 小	—	鉄地・長丸形・高彫・金象嵌	径7.5	市立函館博物館
44	無銘 柳川	牡丹に唐獅子図鐔	—	鉄地・丸形・高彫・色絵	径7.4	市立函館博物館
45	銘 一斎直正 (花押)	桜下武者図鐔	—	鉄地・丸形・高彫・色絵	径8.2	市立函館博物館
46	銘 府住 佐久間宣秀	蘭透鐔	—	鉄地・丸形・透彫	径7.4	市立函館博物館
47	無銘	蘭透鐔	—	鉄地・丸形・透彫	径7.1	市立函館博物館
48	無銘 石黒	草花図鐔	—	烏金七々子地・長丸形・高彫・色絵	径7.6	市立函館博物館
49	銘 土屋正珉	木蓮図鐔	—	真鍮石目地・隅切角形・銀象嵌	径7.0	市立函館博物館
50	銘 忠重	菊透鐔	—	鉄地・菊花形・透彫	径7.8	市立函館博物館
51	無銘	桜花図鐔	—	鉄地・長丸形・肉彫・金象嵌	径8.2	市立函館博物館
52	銘 武州住正常	梅図鐔	—	鉄地・丸形・肉彫・金象嵌	径7.8	市立函館博物館
53	無銘	梅図鐔	—	鉄地・撫角形・金銀象嵌	径8.7	市立函館博物館
54	銘 佐州利貞	四君子図鐔	—	鉄地・丸形・金銀象嵌	径7.8	市立函館博物館
55	銘 予州松山住 正阿弥森次	梅花透鐔	—	丸形	径8.3	市立函館博物館
56	銘 琴也	おもだか透鐔	—	真鍮地・木瓜形・小透	径9.0	市立函館博物館
57	無銘	秋蟲図鐔	—	烏金七々子地・木瓜形・高彫・色絵	径7.5	市立函館博物館
58	銘 知義	椿透鐔	—	鉄地・丸形・透彫	径8.1	市立函館博物館
59	銘 長州萩住 河治	梅に水仙透鐔	—	丸形・透彫・金象嵌	径7.5	市立函館博物館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
60	無銘	花文様図鐔	—	鉄地・木瓜形・小透・真鍮・鉄籠目象嵌	径8.2	市立函館博物館
61	無銘	下がり藤図鐔	—	鉄地・豎角形・銀象嵌・銀覆輪	径6.9	市立函館博物館
62	無銘 平田七宝鐔	草花図鐔	—	鉄地・豎丸形・泥七宝	径7.1	市立函館博物館
63	無銘	草花図鐔	—	鉄石目地・丸形・真鍮象嵌	径7.1	市立函館博物館
64	銘 長州萩住河治	菖蒲透鐔	—	丸形・透彫・金象嵌	径7.9	市立函館博物館
65	無銘	花文様図鐔	—	鉄地・豎丸形・金銀象嵌	径8.2	市立函館博物館
66-①	作者不詳	捧酒箸	—	木	長31.8× 幅3.7× 厚0.6×高1.2	北海道大学植物園・博物館
66-②	作者不詳	捧酒箸	—	木	長36.0× 幅2.0× 厚0.5	北海道大学植物園・博物館
66-③	作者不詳	捧酒箸	—	木	長38.4× 幅3.0× 厚0.7	北海道大学植物園・博物館
66-④	作者不詳	捧酒箸	—	木	長34.1× 幅2.4× 厚0.5	北海道大学植物園・博物館
66-⑤	作者不詳	捧酒箸	—	木	長32.2× 幅3.4× 厚0.4	北海道大学植物園・博物館
66-⑥	作者不詳	捧酒箸	—	木	長32.2× 幅2.8× 厚0.7	北海道大学植物園・博物館
66-⑦	作者不詳	捧酒箸	—	木	長34.4× 幅3.1× 厚0.6×高0.8	北海道大学植物園・博物館
66-⑧	作者不詳	捧酒箸	—	木	長32.7× 幅3.3× 厚0.7×高0.9	北海道大学植物園・博物館
66-⑨	作者不詳	捧酒箸	—	木	長31.8× 幅3.1× 厚0.8	北海道大学植物園・博物館
66-⑩	作者不詳	捧酒箸	—	木	長32.0× 幅2.2× 厚0.7×高1.1	北海道大学植物園・博物館
66-⑪	作者不詳	捧酒箸	—	木	長30.1× 幅2.0× 厚0.2	北海道大学植物園・博物館
66-⑫	作者不詳	捧酒箸	—	木	長33.3× 幅2.8× 厚0.5	北海道大学植物園・博物館
66-⑬	作者不詳	捧酒箸	—	木	長33.5× 幅2.8× 厚0.7×高0.9	北海道大学植物園・博物館
66-⑭	作者不詳	捧酒箸	—	木	長33.7× 幅2.9× 厚0.9	北海道大学植物園・博物館



小林源之助「蝦夷地草木写生図」より



岡本和行「Art Nouveau」

No.	種別	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
66-⑮	作者不詳	捧酒箸	—	木	長33.0× 幅3.2× 厚0.5×高1.9	北海道大学植物園・博物館
67-①	作者不詳	小刀鞘	—	木	長24.5× 横5.9× 高2.0	北海道大学植物園・博物館
67-②	作者不詳	小刀鞘	—	木	長13.1× 横4.6× 高1.7	北海道大学植物園・博物館
67-③	作者不詳	小刀鞘	—	木	長16.0×横4.8×高1.7 根付12.7×5.25×1.4	北海道大学植物園・博物館
68	作者不詳	盆	—	木	径25.9×高さ2.8	北海道大学植物園・博物館
69	作者不詳	紫地鯉に藤模様繡小袖	江戸末期	絹	丈169.0×衿61.0	伊達市開拓記念館
70	作者不詳	黒漆地竹雀雪薄紋金蒔絵鏡台	江戸時代	漆	幅22.6×高54.0	伊達市開拓記念館
71	作者不詳	黒漆地竹雀雪薄紋金蒔絵鏡箱	江戸時代	漆	径22.6×長33.2× 高6.2	伊達市開拓記念館
72	作者不詳	黒漆地竹雀雪薄紋牡丹唐草文耳盥	江戸時代	漆	径31.0×高13.0	伊達市開拓記念館
73	作者不詳	黒漆地松梅金蒔絵贅水入れ	江戸時代	漆	幅11.1×奥行7.0 ×高4.4	伊達市開拓記念館
74	作者不詳	黒漆地牡丹唐草文金蒔絵刷毛台	江戸時代	漆	幅42.4×奥行28.3 ×高7.4	伊達市開拓記念館
75	作者不詳	黒漆地菊蒔絵硯箱	江戸時代	漆	幅22.4×奥行24.2 ×高5.0	伊達市開拓記念館
76	作者不詳	金梨地唐草文瓶子	江戸時代	漆	径30.0×44.0	伊達市開拓記念館
77	作者不詳	黒漆地菊桐金蒔絵椀	江戸時代	漆	径25.0×高20.0	伊達市開拓記念館
78	作者不詳	黒漆地松梅金蒔絵紙台	江戸時代	漆	幅36.7×奥行18.8 ×高30.4	伊達市開拓記念館
79	栗津 潔	CONTEMPORARY PRINT EXHIBITION:KIYOSHI AWAZU IN LONDON	1981(昭和56)	オフセット・紙	103.0×72.7	北海道立帯広美術館
80	永井一正	JAPAN	1988(昭和63)	オフセット・紙	103.0×72.7	北海道立帯広美術館
81	横尾忠則	A LA MAISON DE M. CIVEÇAWA	1965(昭和40)	オフセット・紙	103.0×72.7	北海道立帯広美術館
82	亀倉雄策	日本古典芸能団招聘記念	1981(昭和56)	オフセット・紙	103.0×72.7	北海道立帯広美術館

■ V 植物への眼差し～博物と美術～

83	小林源之助	蝦夷地草木写生図 乾	江戸時代	紙本彩色・折帖	2帖、各28.4× 18.2	函館市中央図書館
84	採取：菅原繁蔵	植物標本「カラフトブシ」	採取 1962(昭和37)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
85	採取：菅原繁蔵	植物標本「エゾムラサキニガナ」	採取 1937(昭和12)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
86	採取：菅原繁蔵	植物標本「ヤマブキショウマ」	採取 1962(昭和37)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
87	採取：不明	植物標本「チシマリンドウ」	採取年不明	—	43.5×31.0	市立函館博物館
88	採取：菅原繁蔵	植物標本「クロユリ」	採取 1955(昭和30)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
89	採取：菅原繁蔵	植物標本「キバナノアマナ」	採取 1937(昭和12)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
90	採取：菅原繁蔵	植物標本「ホテイアツモリ」	採取 1937(昭和12)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
91	採取：菅原繁蔵	植物標本「ニリンソウ」	採取 1937(昭和12)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
92	採取：菅原繁蔵	植物標本「シカギク」	採取 1938(昭和13)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
93	採取：菅原繁蔵	植物標本「クサノオウ」	採取 1952(昭和27)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
94	採取：菅原繁蔵	植物標本「シラネアオイ」	採取 1954(昭和29)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
95	採取：菅原繁蔵	植物標本「チシマフクロ」	採取 1956(昭和31)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
96	採取：塚本角次郎	植物標本「ホソバナノアマナ」	採取 1925(大正14)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
97	採取：菅原繁蔵	植物標本「ヒロハツリバナ」	採取 1938(昭和13)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
98	採取：菅原繁蔵	植物標本「ハクサンチドリ」	採取 1938(昭和13)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
99	採取：菅原繁蔵	植物標本「カタクリ」	採取 1953(昭和28)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
100	採取：菅原繁蔵	植物標本「キクザキイチゲ」	採取 1925(大正14)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
101	採取：菅原繁蔵	植物標本「エゾエンゴサク」	採取 1961(昭和36)	—	43.5×31.0	市立函館博物館
102	小林源之助	蝦夷地草木写生図 坤	江戸時代	紙本彩色・折帖	2帖、各28.4×18.2	函館市中央図書館
103	作者不詳	博物画帖	1877(明治10)	紙本著色・折帖	各26.1×36.5	北海道大学植物園・博物館
104	作者不詳	博物画「ヤマナシ」	1891(明治14)	紙本著色	26.8×33.8	北海道大学植物園・博物館
105	作者不詳	博物画「福寿草」	1891(明治14)	紙本著色	27.0×33.4	北海道大学植物園・博物館
106	作者不詳	博物画「ハマナス」	1891(明治14)	紙本著色	26.5×33.8	北海道大学植物園・博物館
107	作者不詳	博物画「アギスミレ スミレノ一種」	1891(明治14)	紙本著色	33.2×28.0	北海道大学植物園・博物館

No.	種別	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
108	作者不詳	博物画「百合科」	1891(明治14)	紙本著色	33.6×26.8	北海道大学植物園・博物館
109	作者不詳	博物画「スマレ三種 (ヲホタチツボスマレ)」	1891(明治14)	紙本著色	33.2×27.6	北海道大学植物園・博物館
110	作者不詳	博物画「ハナシノブ」	1891(明治14)	紙本著色	26.8×33.8	北海道大学植物園・博物館
111	作者不詳	博物画「タチツボ1 スマレ2 ツクシ3 ナツナ」	1891(明治14)	紙本著色	34.0×28.0	北海道大学植物園・博物館
112	作者不詳	博物画「草花」	—	紙本著色・額	75.3×52.7	北海道大学植物園・博物館
113	はら たかよし	チシマコハマギク	1994(平成6)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
114	はら たかよし	ボタンキンバイソウ	2009(平成21)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	作者
115	はら たかよし	リンネソウ	1995(平成7)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	作者
116	はら たかよし	フクジュソウ	1997(平成9)	コピー・色鉛筆・紙	29.7×21.0(A4版)	作者
117	はら たかよし	サクランボ 佐藤錦 〈冬芽〉	2006(平成18)	コピー・色鉛筆・紙	29.7×21.0(A4版)	—
118	はら たかよし	シャガ	2006(平成18)	コピー・色鉛筆・紙	29.7×21.0(A4版)	—
119	はら たかよし	ヒワハユキザサ 〈花〉	2006(平成18)	コピー・色鉛筆・紙	29.7×21.0(A4版)	—
120	はら たかよし	ヤナギ	1995(平成7)	コピー・色鉛筆・紙	29.7×21.0(A4版)	作者
121	はら たかよし	ナノハナ	2003(平成15)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
122	はら たかよし	エゾノリュウキンカ	1994(平成6)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
123	はら たかよし	キバナオキナグサ	2003(平成15)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
124	はら たかよし	シロバナヤエハマナス	1994(平成6)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
125	はら たかよし	イボタ	1995(平成7)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	作者
126	はら たかよし	アボイギキョウ	2008(平成20)	ペン・紙	42.0×29.7(A3版)	作者
127	はら たかよし	ボタンキブネギク	1999(平成11)	ペン・紙	36.4×25.7(B4版)	—
128	はら たかよし	ホソバトウキ	2005(平成17)	ペン・紙	42.0×29.7(A3版)	—
129	はら たかよし	エゾコウゾリナ	2002(平成14)	ペン・紙	42.0×29.7(A3版)	—
130	はら たかよし	ナンブトラノオ	1998(平成10)	ペン・紙	42.0×29.7(A3版)	作者
131	はら たかよし	キタコブシ	1995(平成7)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
132	はら たかよし	オオイタダリの越冬芽	2008(平成20)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	作者
133	はら たかよし	チングルマ	1998(平成10)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
134	はら たかよし	フキノトウ	2007(平成19)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	作者
135	はら たかよし	スマレ	2000(平成12)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
136	はら たかよし	ハクサンイチゲ	1998(平成10)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
137	はら たかよし	山野草の種子の顔	2000(平成12)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
138	はら たかよし	山野草の種子の顔	2000(平成12)	ペン・紙	29.7×21.0(A4版)	—
139	はら たかよし	カシワ 〈花〉	2006(平成18)	鉛筆・紙	42.0×29.7(A3版)	—
140	はら たかよし	ヤナギ	2003(平成15)	鉛筆・紙	59.4×42.0(A2版)	作者
141	永石 勝 (押し花制作: 柚木万由子)	テロメア	2009(平成21)	アクリル・インクジェット プリント・紙	展示空間寸法: 13m × 3m × 高さ 3m	株式会社トリプル・オー



岩田治子「紫陽花と夏柑と籠のリンゴ」



永石勝「テロメア」より

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
■VI こころに咲く～シュール・夢・伝説～						
142	柿崎 熙	林縁から	2003(平成15)	アクリル絵具・木(カツラ、セン)	壁面展示寸法： 850×120×240	北海道立近代美術館
143	サルヴァドール・ダリ	『シュールレアリスムの思い出』 ウルトラシュールなガルスカの微粒子	1971	エッチング・リトグラフ・紙・額	50.5×40	北海道立近代美術館
144	サルヴァドール・ダリ	『シュールレアリスムの思い出』 シュールな花の少女	1971	エッチング・リトグラフ・紙・額	50.5×40	北海道立近代美術館
145	サルヴァドール・ダリ	『シュールレアリスムの思い出』 蝶に囲まれたダリのシュールな肖像	1971	エッチング・リトグラフ・紙・額	50.5×40	北海道立近代美術館
146	早瀬龍江	花園	1939(昭和14)	油彩・キャンバス・額	90.7×116	北海道立函館美術館
147	佐野忠吉	ひまわり	1965(昭和40)	油彩・キャンバス・額	90.9×72.7	北海道立函館美術館
148	三岸好太郎	花	1933(昭和8)	油彩・キャンバス・額	53.4×45.7	北海道立三岸好太郎美術館
149	三岸好太郎	花	1933(昭和8)	油彩・キャンバス・額	92×61.7	北海道立三岸好太郎美術館
150	藤本俊子	野原にて(野原の一日)	1958(昭和33)	油彩・キャンバス・額	162.4×130.8	北海道立近代美術館
151	岩船修三	貂の嫁になるのを嫌ってテンに 福寿草にされた女神クナウ	1973(昭和48)	油彩・キャンバス・額	65.2×80.3	北海道立函館美術館
152	橋本三郎	白いケシ	1956～58 (昭和31～33)	油彩・キャンバス・額	31.8×40.9	北海道立函館美術館
153	吉田正雄	版画集 オンディーヌ 6	1978(昭和53)	銅版・紙	14.5×14.5	北海道立近代美術館
154	吉田正雄	版画集 オンディーヌ 11	1978(昭和53)	銅版・紙	35.5×29	北海道立近代美術館
155	吉田正雄	版画集 オンディーヌ 4	1978(昭和53)	銅版・紙	35.5×29	北海道立近代美術館
156	岡本和行	Lotus	2005(平成17)	インクジェットプリント・紙	72.8×103.0	作者
157	岡本和行	Sunflower	2004(平成16)	インクジェットプリント・紙	72.8×103.0	作者
158	岡本和行	Art Nouveau	2009(平成21)	インクジェットプリント・紙	206.6×146.0	作者
159	岡本和行	Flower Garden	2009(平成21)	インクジェットプリント・紙	各42.0×29.7 99枚組	作者
160	岡本和行	Chrysanthemum	2009(平成21)	インクジェットプリント・紙	103.0×72.8	作者
161	岡本和行	Amaryllis	2004(平成16)	インクジェットプリント・紙	103.0×72.8	作者
162	岡本和行	Dahlia	2009(平成21)	インクジェットプリント・紙	103.0×72.8	作者
163	岡本和行	Gypsophila	2004(平成16)	インクジェットプリント・紙	103.0×72.8	作者
164	岡本和行	Bourgogne	2009(平成21)	インクジェットプリント・紙	154.0×1030	作者
165	岡本和行	Apple Mint	2004(平成16)	インクジェットプリント・紙	103.0×72.8	作者
166	荒木経惟	アラキネマ「花曲」	1996(平成8)	カラー映像	33分	—
167	荒木経惟	アラキネマ「花曲2」	1996(平成8)	カラー映像	33分	—

* 寸法は注記以外は縦×横。

ポップ・アート 1960's→2000's

会期＝平成22年 1 月22日(金)－ 3 月31日(水) 59日間
主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、「ポップ・アート 1960's→2000's」展実行委員会、読売新聞社、美術館連絡協議会、NPO十勝文化会議

後援＝十勝町村会、帯広市、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連合会、帯広市民劇場運営委員会、NHK文化センター帯広教室、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

協賛＝ライオン、清水建設、大日本印刷、帯広信用金庫、北のハウス、大丸藤井帯広支店、東洋印刷、中井会計事務所、日本興亜損害保険、ホクレン農業協同組合連合会、三井住友海上火災保険

特別協力＝株式会社ミスミグループ本社

観覧料＝一般900(700)円、高大生550(450)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「19億円のマンガの絵？ポップ・アートの経済効果」
講師＝広本伸幸氏（ミスミアートコレクション・キュレーター）
日時＝1月23日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂（聴講無料）

おびひろ氷まつり協賛事業

日時＝1月29日(金)～1月31日(日)

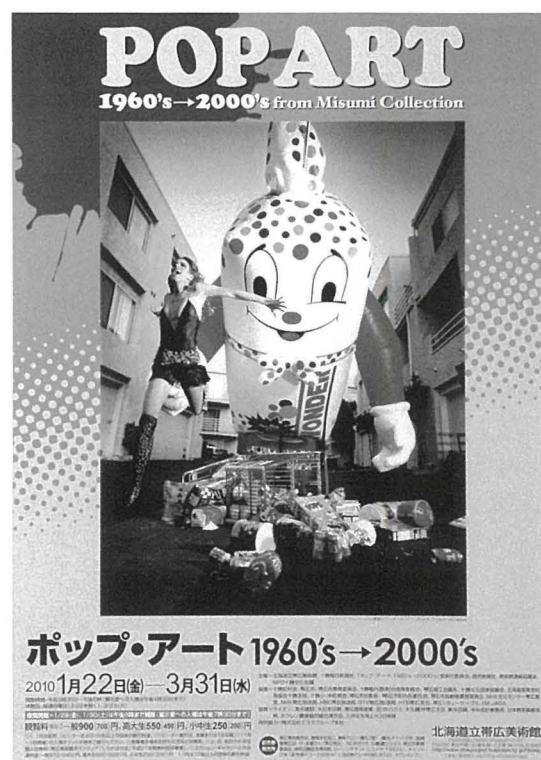
＊1月29日(金)、1月30日(土)は、午後8時まで夜間開館を実施

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会
協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

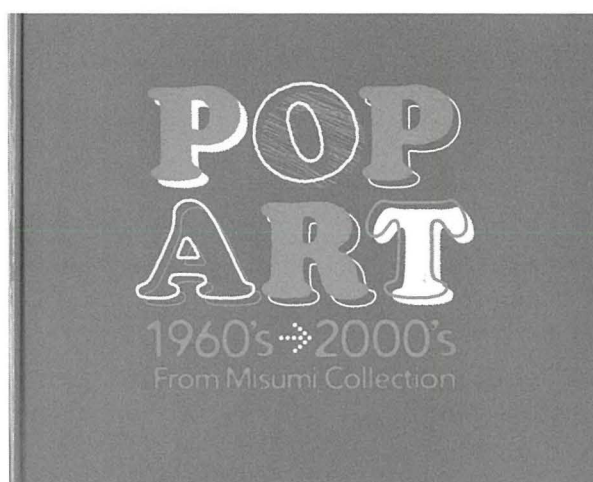
- ・雪中パークゴルフ de 文字並ベクイズ
時間＝1月29日(金)～1月31日(日) 午前10時～午後4時
会場＝当館前庭（参加無料）
- ・ロビーカフェ de 冬の花火
時間＝1月29日(金) 午後4時30分～8時
1月30日(土) 午後4時～8時
会場＝当館、ロビー、廊下
- ・ミュージアム・コンサート
出演＝Frankie's Jam
時間＝1月30日(土) 午後4時45分～（約40分）
会場＝当館ロビー（入場無料）

映写室

『ライフ・オブ・ウォーホル』（監督：ジョナス・メカス、35分）



ポスター



図録

日時＝1月30日(土)、1月31日(日) 午後2時～・午後3時～、
3月27日(土) 午後2時～
会場＝当館講堂(入場無料)
『ミリキタニの猫』(監督：リンダ・ハッテンドーフ、74分)
日時＝3月20日(土) 午後2時～
会場＝当館講堂(入場無料)

ギャラリー・ツアー

講師＝蘭部容子(当館学芸員)
日時＝2月6(土)、2月27日(土) 午後2時～(約30分)
会場＝当館主展示室(要観覧券)

バレンタイン・コンサート

出演＝弦楽四重奏(牧野貴博氏、藤城直子氏、市之川敦子氏、
佐藤祐一氏)
日時＝2月13日(土) 午後2時～(約60分)
会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「お面でヘンシ～ン」
日時＝2月20日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂(託児無料)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

ミュージアム・ミステリー 2010スプリング

「ポップなアートにちゃれんじ！」
日時＝3月6日(土)、3月13日(土) 午後10時30分～午後3時
会場＝当館講堂・主展示室など(参加料570円、応募制)

図録

規格＝16.4×20.4cm／総頁数128ページ
構成＝ごあいさつ／田口弘「パワーと喜びを与えてくれるアメリ
カ現代美術」／広本伸幸「21世紀ポップ・アート」／
図版／作家略歴

関連記事

「『ポップ・アート』がやってくる」十勝毎日新聞／1月1日(金)
「時代を超えて…再び脚光」十勝毎日新聞／1月21日(木)
蘭部容子「ポップなキーワード 上～下」読売新聞(道東版)
／1月26日(火)～28日(木)
蘭部容子「ポップ・アート 1960's→2000's」全14回／1月30日(土)、
31日(日)、2月4日(木)、5日(金)、16日(火)、18日(木)、3月2日(火)、
6日(土)～12日(金)
金谷信「編集余録 ポップ・アート」十勝毎日新聞／2月10日(水)
高坂光尚、田中耕三、横山郁美、池田緑、瀧川秀敏「美術関係
者に聞く」十勝毎日新聞／2月10日(水)～11日(木)、13日(土)～15日
(月)
池田緑「編集余録 ツブヤキ隊」十勝毎日新聞／2月26日(金)
「POPでARTに闊歩しよ！」『Chai』／2010年2月号
「ポップアートは気楽なゲーグジュツときたあもんだっ！」
『Chai』／2010年3月号

ポピュラー・アート(大衆芸術)という言葉のルーツとする
ポップ・アートは、広告やコミックブック、映画など大衆の身近
にあるイメージを作品の中に取り入れた美術で、大量生産、大
量消費時代を謳歌していた1960年代のアメリカで花開き、瞬く
間に世界の都市へと広がっていった。近年、再び大衆化や既存
の美術作品のイメージを借用し、それをコンピューターグラフ
ィックスや写真技術、印刷技術などを駆使して表現する美術が
登場し、注目を集めている。

本展覧会では、戦後アメリカ美術の優れた企業コレクション
であるミスミコレクションから、1960年代のポップ・スターで
あるロイ・リキテンスタイン、アンディ・ウォーホル、80年代
の寵児キース・ヘリング、そして現在活躍中のヴィック・ムニ
ーズ、マリーナ・カポスなど、戦後の美術界をリードし続ける
アメリカの現代美術の一断面を紹介した。

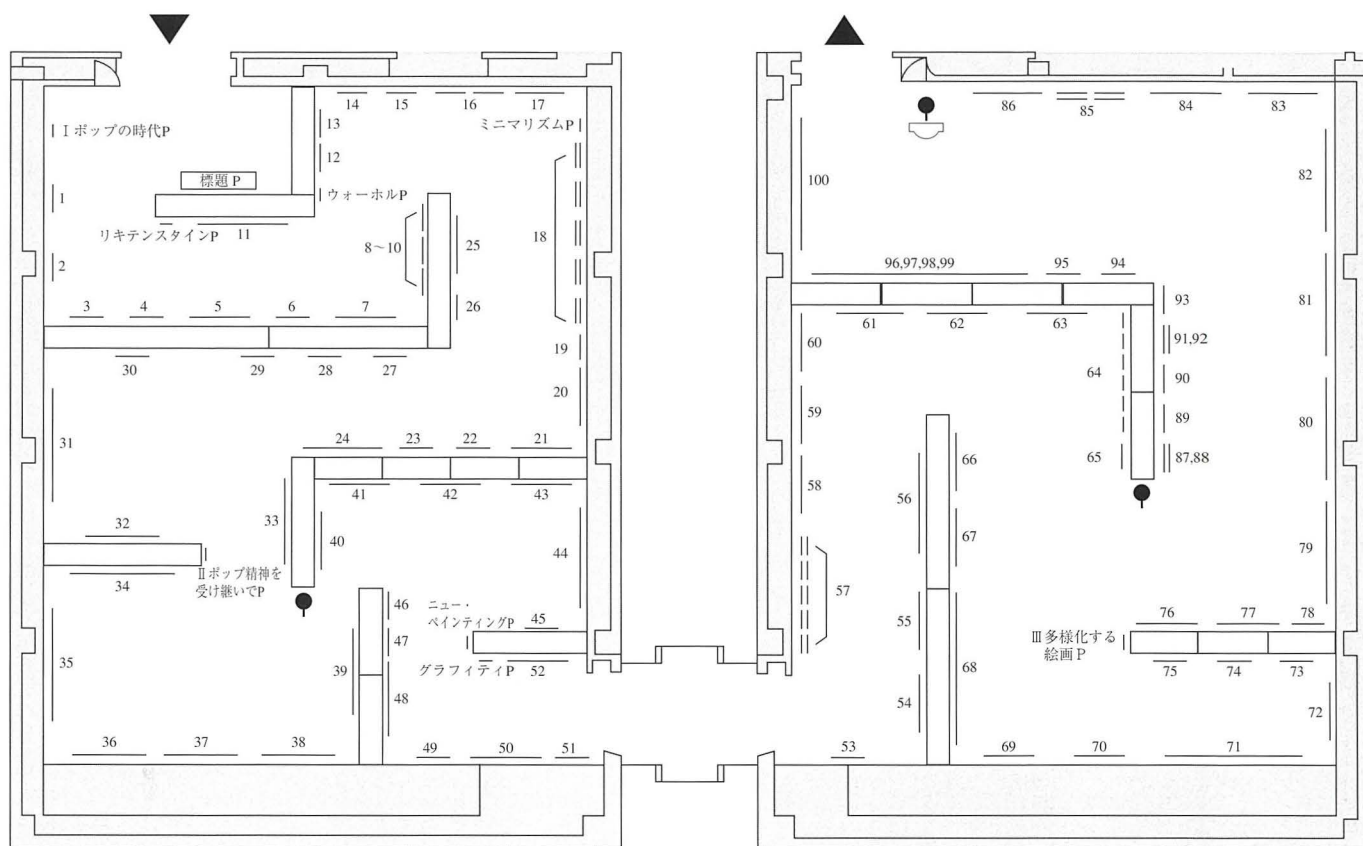
展示構成はおおまかに時代順に並べ、「Ⅰ ポップの時代
1960's→1970's」、「Ⅱ ポップ精神を受け継いで 1980'sの新し
い潮流」、「Ⅲ 多様化する絵画 1990's→2000's」の3つのパ
ネルや「ミニマル・アート」、「ニュー・ペインティング」など
のキーワード・パネルを掲示し、展覧会理解の一助とした。会
期中はこれまであまり美術館に足を運ぶことのなかった若い世
代を含め、7,669人の入場者を迎えた。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材技法	寸法(cm)
1	ロイ・リキテンスタイン	泣く少女	1963	オフセット・リトグラフ／紙	45.8×61.0
2	ロイ・リキテンスタイン	ズドン！	1964	オフセット・リトグラフ／紙	48.9×70.2
3	ロイ・リキテンスタイン	いい夢でも見てな！	1965	スクリーンプリント／紙	95.6×70.1
4	ロイ・リキテンスタイン	ブラッシュストローク	1965	スクリーンプリント／紙	58.4×73.6
5	ロイ・リキテンスタイン	森の前の道	1985	リトグラフ、木版、スクリーンプリント／紙	101.9×140.7
6	ロイ・リキテンスタイン	積わら	1969	スクリーンプリント／紙	48.3×66.0
7	ロイ・リキテンスタイン	水差しと花のある静物	1974	リトグラフ、スクリーンプリント／紙	93.8×132.0
8	ロイ・リキテンスタイン	雄牛Ⅰ	1973	リトグラフ、ラインカット／紙	63.4×83.8
9	ロイ・リキテンスタイン	雄牛Ⅱ	1973	リトグラフ、スクリーンプリント、ラインカット／紙	63.4×83.7
10	ロイ・リキテンスタイン	雄牛Ⅲ	1973	リトグラフ、スクリーンプリント、ラインカット／紙	63.5×83.7
11	ロイ・リキテンスタイン	おでかけ	1990	木版／ミュージアムボード	148.9×205.7
12	アンディ・ウォーホル	キャンベルスープⅡ	1969	スクリーンプリント／紙	88.9×58.4
13	アンディ・ウォーホル	ジャッキーⅢ	1966	スクリーンプリント／紙	101.6×76.2
14	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー	1967	スクリーンプリント／紙	91.4×91.4
15	アンディ・ウォーホル	ライフ・セイパーズ	1985	スクリーンプリント／ミュージアムボード	96.5×96.5
16	アンディ・ウォーホル	\$9	1982	スクリーンプリント／ミュージアムボード（2点組）	各101.6×81.3
17	エルズワース・ケリー	スペクトル	1973	スクリーンプリント／紙	86.0×212.1
18	ドナルド・ジャッド	無題	1988	木版／和紙（10点組）	各60.0×80.0

No.	作家名	作品名	制作年	素材技法	寸法 (cm)
19	ソル・ルウィット	四隅からの弧形	1986	木版／紙	57.5×82.5
20	フランク・ステラ	ダブル・グレイ・スクランブル	1973	スクリーンプリント／紙	73.6×128.9
21	フランク・ステラ	エイハブの脚「白鯨」シリーズ	1985-89	スクリーンプリント、リトグラフ、リノリウム・ブロック、手彩、コラージュ／紙	191.0×138.5
22	ジム・ダイン	手彩色のウィーン風ハートⅣ	1987-90	スクリーンプリント、アクリル、エッチング、アクアチント／紙	119.5×92.0
23	ジム・ダイン	更紗	1965	スクリーンプリント／紙	101.1×76.4
24	ジョン・バルデッサリ	欠陥のあるオブジェ	1988	リトグラフ／紙、プレキシグラス	132.0×276.0
25	ジェームズ・ローゼンクイスト	フラミンゴ・カプセル	1973	リトグラフ、スクリーンプリント／紙	92.7×193.4
26	ジェームズ・ローゼンクイスト	愛のために	1965	スクリーンプリント／紙	89.8×66.7
27	リチャード・ディーベンコーン	黄土色	1983	木版／紙	63.4×91.0
28	エドワード・ルッシュ	ハリウッド	1968	スクリーンプリント／紙	44.5×112.9
29	エドワード・ルッシュ	悪夢と偏頭痛	1985	ドライビグメント／紙	101.8×153.5
30	エドワード・ルッシュ	サンセット・ストリップ	1966.76/95	モノクロ写真／紙、アーカイバル・ボード (6点組)	各51×75
31	エドワード・ルッシュ	ウェスタン	1991	アクリル／カンヴァス	183.0×244.0
32	ジュリアン・レスブリッジ	ペンローズ 3	1994	油彩／カンヴァス	182.9×170.2
33	ジョナサン・ラスカー	幸福な日常業務	1989	油彩／カンヴァス	254.0×191.0
34	キャロル・ダナム	ルビー・ヴィジョン	1994	ミクスト・メディア／カンヴァス	175.5×259.5
35	キャロル・ダナム	赤い惑星	1997-98	ミクスト・メディア／リネン	254.0×203.0
36	キャロル・ダナム	メッセンジャーを撃て	1999	ミクスト・メディア／リネン	165.3×210.7
37	リチャード・プリンス	無題	1994	アクリル、スクリーンプリント／カンヴァス	243.8×190.5
38	リチャード・プリンス	無題	1996	スクリーンプリント、木炭／カンヴァス	157.0×121.9
39	ピーター・ハリー	社会の歪み	1992	アクリル、ローラテックス／カンヴァス	243.8×236.2
40	クリストファー・ウール	無題	1987	アルキド、フラッシュ／アルミニウム、スチール	182.9×121.9
41	ピーター・ハリー	ジョイ・ポップ	1998	アクリル、デイグロ・アクリル、ローラテックス／カンヴァス	190.3×188.3
42	パメラ・フレイザー	無題 (スプリンクラー)	2003	アクリル、アクリルグアッシュ／カンヴァス	152.4×162.6
43	ロス・ブレックナー	巣	1989	油彩／カンヴァス	213.4×152.4
44	フィリップ・ターフ	世界の再生	2002	ミクストメディア／カンヴァス	225.0×298.0
45	フィリップ・ターフ	宝石のコンポジション	2001	ミクストメディア／カンヴァス	216.0×156.0
46	デニス・ホリングスワース	何かであって何かでない No.3	1999	油彩／カンヴァス	55.0×45.0
47	デニス・ホリングスワース	モンキーボーイ	1999	油彩／カンヴァス	55.0×45.0
48	デイヴィッド・サーレ	鏡 (赤)	1998	油彩、アクリル／カンヴァス、リネン	130.2×145.6
49	キース・ヘリング	グローイング I	1987	スクリーンプリント／紙	102.6×76.7



ロイ・リキテンスタイン「泣く少女」



アンディ・ウォーホル「キャンベルスープⅡ」

No.	作家名	作品名	制作年	素材技法	寸法(cm)
50	ジャン=ミシェル・バスキア	後頭部	1983	スクリーンプリント、手彩色／紙	127.7×257.5
51	ケニー・シャープ	アルツェンション	1995	油彩、アクリル／カンヴァス	102.9×76.2
52	ドナルド・バチェラー	無題	1986	アクリル、布、コラージュ／カンヴァス	223.7×223.7
53	リサ・ライター	無題（オートバイ）	1995	アクリル／カンヴァス	101.6×86.4
54	ピーター・ケイン	リトル・コロネル	1994	油彩／リネン	170.5×131.0
55	ピーター・ケイン	土曜日の惨事	1993-94	油彩／リネン	160.5×211.0
56	リッチモンド・パートン	ゴールド	1991	油彩／カンヴァス	186.7×254.0
57	ウタ・バース	通りすがりに	1996	ウォーターレスリトグラフ／紙（10点組）	各32.4×28.6
58	ヴィック・ムニーズ	化石（土壌の絵画）	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	101.6×137.1
59	ヴィック・ムニーズ	ナディア・コマネチ（インクの絵画）	2000	チバクローム・プリント	75.3×95.5
60	ヴィック・ムニーズ	マリリン・モンロー（ダイヤモンドの絵画）	2004	ダイ・デストラクション・プリント	111.0×85.0
61	ヴィック・ムニーズ	ひまわり	2001	チバクローム・プリント	243.8×198.1
62	ヴィック・ムニーズ	オランピア（チョコレート絵画）	2000	チバクローム・プリント	114.3×152.4
63	ヴィック・ムニーズ	りんご、桃、洋梨、葡萄、セザンヌ（雑誌の絵画）	2003	クロモジェニック・プリント	100.4×122.7
64	アリソン・ショッツ	反射する模倣	1997	アイリスプリント（6点組）	各39.3×31.7
65	チャック・クロース	ジョージアフィンガープリント、第二ステート	1985	エッチング／紙	76.2×55.9
66	グレゴリー・クルードソン	無題（燃える家）	1999	レーザーダイレクトC-プリント	127.0×152.4
67	グレゴリー・クルードソン	無題（窓辺の少女たち）	1999	レーザーダイレクトC-プリント	127.0×152.4
68	ケヴィン・アペル	森：西の眺め	2001	アクリル／カンヴァス	205.0×481.0
69	ケヴィン・アペル	収納庫・青	2000	アクリル、油彩／カンヴァス、パネル	142.0×153.0
70	グレッグ・ボギン	プラスチック・ファンタスティック（スイスのどこか）	1998	アクリル、エナメル／カンヴァス	155.3×119.5
71	グレッグ・ボギン	プラスチック・ファンタスティック（スマイルでサービス）	1998	アクリル、エナメル／カンヴァス	236.2×365.4
72	グレッグ・ボギン	ユー・ベット・ミー	2000	アクリル、エナメル／カンヴァス	165.0×143.0
73	グレッグ・ボギン	お祝いのあいさつ	2002	アクリル、エナメル／カンヴァス	91.4×91.4
74	グレッグ・ボギン	カラーランド（スーパー・エッセン）	1997	アクリル、エナメル／カンヴァス	119.5×91.7
75	グレッグ・ボギン	カラーランド（キリエ）	1997	アクリル、エナメル／カンヴァス	119.5×91.5
76	ジェニファー・リーヴス	ゴーギャンのための客室においたひまわり	2001	アクリル／樺材パネル	124.5×184.0
77	ジェニファー・リーヴス	抽象表現主義者たちはもう自分たちにうんざり	2000	アクリル／樺材パネル	122.5×194.5
78	マイケル・ビヴィラクア	ブーバイ	2001	アクリル／カンヴァス	81.5×86.5
79	マイケル・ビヴィラクア	ハイ！	2001	アクリル／カンヴァス	213.4×182.9
80	スー・ウイリアムズ	スーパーフラットの試み	2001	油彩、アクリル／カンヴァス	182.9×213.4
81	ジョン・ニューソン	インターナル・ブリーディング・エクスターナル・ブリーディング	2002	油彩／カンヴァス	198.1×213.4



マリナ・カボス「059, ロニー, 2002」



ケヘンディ・ウイリー「ウィ・ラブ・ピース」

No.	作家名	作品名	制作年	素材技法	寸法 (cm)
82	ジョン・ニューソン	最終決着	2007	油彩／カンヴァス	198.0×260.0
83	ジョナサン・ブラブチャック	この非道な仕業がなされるのは時間の問題だ	2006	ミクストメディア／パネル	122.0×183.0
84	ジョナサン・ブラブチャック	ガタガタの脚での大げさな歩行	2006	ミクストメディア／パネル	122.0×214.0
85	エドゥアルド・サラビア	利権に関して	2003	グアッシュ／紙（4点組）	各45.7×61.0
86	ケビンディ・ウイリー	ホワイト・オーキッド	2005	油彩／カンヴァス	182.8×152.4
87	デイヴィッド・ラシャベル	捕まった蟹	2001	C-プリント	50.8×61.0
88	デイヴィッド・ラシャベル	ハンバーガーによる死	2001	C-プリント	50.8×61.0
89	デイヴィッド・ラシャベル	ゴム風船（ブタ）	2002	C-プリント	50.8×61.0
90	デイヴィッド・ラシャベル	ゴム風船（ワンダーブレッド）	2002	C-プリント	50.8×61.0
91	デイヴィッド・ラシャベル	ゴム風船（ホットドッグ）	2002	C-プリント	50.8×61.0
92	デイヴィッド・ラシャベル	ゴム風船（コーク缶）	2002	C-プリント	50.8×61.0
93	デイヴィッド・ラシャベル	ゴム風船（蜘蛛）	2002	C-プリント	50.8×61.0
94	マリーナ・カボス	059, ロニー, 2002	2002	アクリル／カンヴァス	102.0×76.0
95	マリーナ・カボス	045, ネリー, 2002	2002	アクリル／カンヴァス	102.0×76.0
96	マリーナ・カボス	089, 窓／タイル, 2004	2004	アクリル／カンヴァス	168.0×137.0
97	マリーナ・カボス	077, 白鳥, 2004	2004	アクリル／カンヴァス	168.0×137.0
98	マリーナ・カボス	083, イエロー・ライン, 2005	2005	アクリル／カンヴァス	168.0×137.0
99	マリーナ・カボス	090, 黒い空／赤い門扉, 2005	2005	アクリル／カンヴァス	168.0×137.0
100	ケビンディ・ウイリー	ウイ・ラブ・ピース	2006-07	油彩／カンヴァス	273.0×365.0

*寸法は縦×横。

*作品はすべてミスミコレクション。

旅のイメージ 栗谷川健一、藤倉英幸…鉄路が結ぶ北海道の景色

会期＝平成22年4月16日(金)－6月9日(水) 47日間

主催＝北海道立帯広美術館、北海道立文学館、
財団法人北海道文学館

特別協力＝北海道旅客鉄道株式会社、株式会社北海道ジェイ・
アール・エージェンシー

助成＝芸術文化振興基金

観覧料＝一般700(550)円、高大生400(300)円、小中生200(150)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

トークショー

「藤倉英幸の世界 北海道の光と風と刻」

講師＝藤倉英幸氏 (イラストレーター)

日時＝4月17日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂 (聴講無料)

ギャラリー・ツアー

「北海道のイメージをたどる」

講師＝鎌田 享 (当館学芸課長)、藤倉英幸氏 (イラストレーター 5/22のみ)

日時＝4月24日(土)、5月22日(土)午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室 (要観覧券)

美術講演会

「デザイナー、そして我が父 栗谷川健一」

講師＝栗谷川悠氏 (北海道造形デザイン専門学校理事長、グラフィック・デザイナー)

日時＝5月8日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂 (聴講無料)

キッズ・ミュージアム

「新聞ちぎり絵」

日時＝5月15日(土) 午後2時～4時

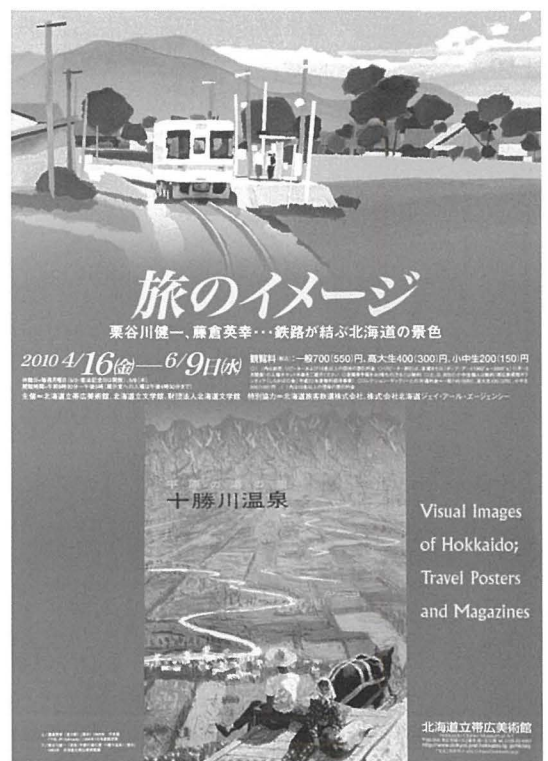
会場＝当館講堂 (託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

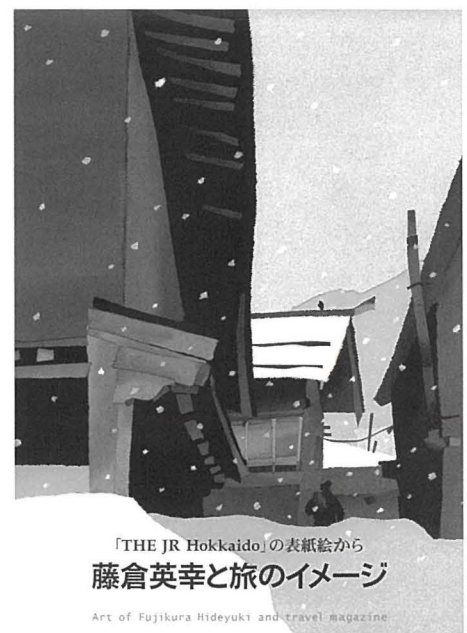
図録

規格＝25.7×18.2cm／総頁数104ページ

構成＝あいさつ／藤倉英幸・坂本眞一「対談 北海道の旅、風景、芸術を語る」／和田由美「息づくミニコミ誌の精神」／田中和夫「書き下ろし小説 網走発函館行き特急『おとり』、疾走す」／栗谷川健一と旅のポスター印刷美術が語る北海道のイメージ／鎌田享年「北海道のイメージ／旅のイメージ 栗谷川健一の観光ポスターから」／栗谷川健一略年譜／栗谷川健一作品図版／藤倉英幸の貼



ポスター



図録

り絵芸術―北海道の光と風と刻を描く／平原一良「17年後の初封面―藤倉英幸さんの世界―」／寺嶋弘道「藤倉英幸のイラストレーション―貼り絵で描く北海道―」／藤倉英幸略年譜／藤倉英幸作品図版／車窓から眺める北海道―「THE JR Hokkaido」が誘う旅の世界／伊藤大介「車内誌がつむぐ旅のイメージ―その機能と役割―」／北室かず子「燃える職人集団―旅と北海道に魅せられて―」／北を知る―北海道を学ぶ知的トラベル／北を巡る―鉄路で訪ねる大地の魅力／北に生きる―人と生きものの営みにふれる／北の恵み―豊穡の大地からの贈り物／北の追憶―なつかしき北海道の原風景へ／出品目録／藤倉英幸「THE JR Hokkaido」表紙タイトル一覧／「THE JR Hokkaido」特集タイトル一覧

関連記事

鎌田享「旅のイメージ展に寄せて(1)～(5)」十勝毎日新聞／5月11日(火)～15日(土)

鎌田享「おびひろミュージアム通信 原画と印刷物 比べてみれば、いろいろわかる！」釧路新聞／5月17日(月)

日本の北端に位置する北海道は、特徴的な気候・雄大な自然・独自の歴史・豊かな食文化といったイメージで語られ、国内でも有数の観光地として多くの人々を惹きつけてきた。これらのイメージが形成される過程で大きな役割を果たしたものが、旅客鉄道による観光キャンペーンである。観光ポスターや車内誌に掲載されたイラストや写真、キャッチコピーは、北海道のイメージを醸成し人々の旅情を誘ったのである。

この展覧会では、ともに北海道生まれのふたりの作家、栗谷川健一と藤倉英幸に焦点をあてながら、ポスターや車内誌などの広報媒体を通して形成され流布された「旅」と「北海道」のイメージを検証した。

栗谷川健一は、1911年に岩見沢生まれ、1930年代後半から観光ポスターに取り組むようになった。とりわけ1950年代から

60年代には、旧国鉄や北海道各地の自治体・観光協会による観光ポスターを多数制作している。この時期には、おりからの観光ブームを受けて、全国各地で盛んに観光ポスターが作られている。その多くは景勝地や名所旧跡といった具体的な事物を宣伝するものであった。しかし栗谷川作品では、広大な大地やのどかな牧場生活といった匿名性を備えた景色が手書きイラストで大きくあしらわれており、北海道の魅力をより象徴的に提示している。当時においては斬新なこの手法は、北海道のイメージを全国に流布する上で大きな役割を果たすとともに、国内外のポスター・コンクールで高い評価を受けるにいたった。

会場では栗谷川の代表作40点を、その原画も交えながら展示。栗谷川が造形化し定着させた北海道のイメージを振り返るとともに、原画イラストと印刷ポスターの差異についても紹介に努めた。また、栗谷川と同時代から現代へといたる旧国鉄およびJR北海道のポスターも展示し、観光ポスターの変遷についても紹介した。

藤倉英幸は、1948年に岩内に生まれ、1970年代よりグラフィック・デザインやイラストレーションの分野で、旺盛な制作活動を展開している。1992年からは、JR北海道の特急列車に配架される車内誌「THE JR Hokkaido」の表紙絵を担当している。北海道各地の四季折々の景色を色鮮やかな貼り絵で表したその作品は絶大な人気を誇り、中断を挟みながらも現在まで続けられている。

会場では藤倉の貼り絵作品60点を展示した。さらに車内誌そのものにも焦点をあて、そこに掲載された各種の特集記事や写真、イラストなども紹介した。

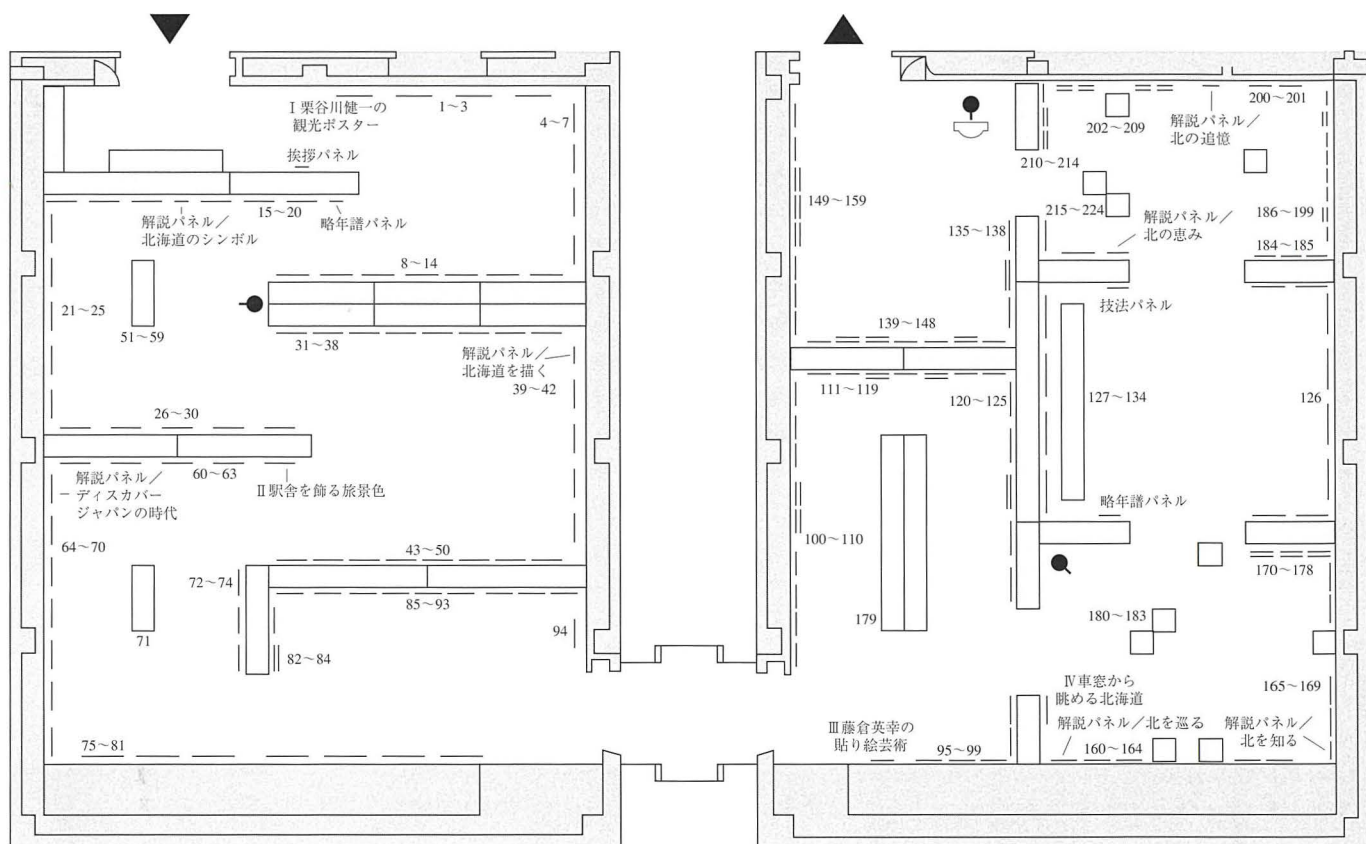
なお、本展覧会は、2010年1月30日(土)から3月22日(月)にかけて北海道立文学館で開催された特別展「『THE JR Hokkaido』の表紙絵から 藤倉英幸と旅のイメージ」を、当館において再構成・増補した企画である。プリントアートを活動の柱に掲げ、開館当初より栗谷川健一の作品を収蔵してきた当館においてはとりわけ、栗谷川作品およびその関連領域の充実に努めた。また、会期中の観覧者は2,782名を数えた。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	備考
I 栗谷川健一の観光ポスター — 印刷美術が語る北海道のイメージ							
1	栗谷川健一	北海道へ	1938(昭和13)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
2	栗谷川健一	北海道へ	1939(昭和14)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
3	栗谷川健一	夏ひらく	1939(昭和14)	オフセット、紙	103.0×72.0	流山温泉	
4	栗谷川健一	HOKKAIDO NATIONAL PARKS	1950(昭和25)	オフセット、紙	101.6×72.5	流山温泉	
5	栗谷川健一	Hokkaido [日本国有鉄道(北海道)・北海道・北海道観光連盟]	年代不詳	オフセット、紙	103.0×73.0	流山温泉	
6	栗谷川健一	HOKKAIDO	1951(昭和26)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
7	栗谷川健一	温泉旅館 十勝岳 観光荘	年代不詳	オフセット、紙	102.8×72.2	流山温泉	
8	栗谷川健一	夕陽と牧車 (Hokkaido) 【原画】	1951(昭和26)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
9	栗谷川健一	夕陽と牧車 (Hokkaido)	1951(昭和26)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
10	栗谷川健一	牧場の鐘 (HOKKAIDO) 【原画】	1952(昭和27)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
11	栗谷川健一	牧場の鐘 (HOKKAIDO)	1952(昭和27)	オフセット、紙	103.2×73.0	北海道立帯広美術館	
12	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌの娘 (Hokkaido)	1953(昭和28)	オフセット、紙	103.0×73.0	北海道立帯広美術館	
13	栗谷川健一	伝説の湖(国立公園 阿寒)【原画】	1956(昭和31)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
14	栗谷川健一	伝説の湖(国立公園 阿寒)	1956(昭和31)	オフセット、紙	101.3×71.3	北海道立帯広美術館	
15	栗谷川健一	緑に歌う (Hokkaido)	1960(昭和35)	オフセット、紙	103.3×73.2	北海道立帯広美術館	
16	栗谷川健一	サイロの夏 (HOKKAIDO)	1956(昭和31)	オフセット、紙	105.5×74.4	北海道立帯広美術館	
17	栗谷川健一	赤いエイレーキ (Hokkaido)	1961(昭和36)	オフセット、紙	102.7×73.0	北海道立帯広美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	備考
18	栗谷川健一	真夏の夢 (HOKKAIDO)	1958(昭和33)	オフセット、紙	104.1×73.2	北海道立帯広美術館	
19	栗谷川健一	風車 (Hokkaido) 【原画】	1959(昭和34)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
20	栗谷川健一	風車 (Hokkaido)	1959(昭和34)	オフセット、紙	103.0×72.8	流山温泉	
21	栗谷川健一	朝やけの滑降 (Hokkaido)	1958(昭和33)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
22	栗谷川健一	タンネの斜面 (Hokkaido) 【原画】	1956(昭和31)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
23	栗谷川健一	タンネの斜面 (Hokkaido)	1956(昭和31)	オフセット、紙	102.0×74.0	北海道立帯広美術館	
24	栗谷川健一	赤い馬そり (HOKKAIDO)	1963(昭和38)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
25	栗谷川健一	朝やけ (Hokkaido)	1962(昭和37)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
26	栗谷川健一	麦わら帽子 (花の北海道)	1968(昭和43)	オフセット、紙	103.1×73.1	北海道立帯広美術館	
27	栗谷川健一	北海道百年記念ポスター 【原画】	1967(昭和42)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
28	栗谷川健一	北海道百年記念ポスター	1967(昭和42)	オフセット、紙	102.8×72.6	流山温泉	
29	栗谷川健一	昇る太陽 (国際観光都市 さっぽろ) 【原画】	1969(昭和44)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
30	栗谷川健一	昇る太陽 (国際観光都市 さっぽろ)	1969(昭和44)	オフセット、紙	105.0×73.0	北海道立帯広美術館	
31	栗谷川健一	えび船 (野付・風蓮道立自然公園)	1962(昭和37)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
32	栗谷川健一	原生花園 (網走国定公園)	1959(昭和34)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
33	栗谷川健一	濤沸湖 (秋の北海道)	1964(昭和39)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
34	栗谷川健一	白鳥の季節 【原画】	1959(昭和34)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
35	栗谷川健一	白鳥の季節	1959(昭和34)	オフセット、紙	102.7×72.6	流山温泉	
36	栗谷川健一	2羽の丹頂 (秋の北海道)	1965(昭和40)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
37	栗谷川健一	子を背負うアイヌ婦人 (Hokkaido 旅をたのしく 国内旅行預金)	1963(昭和38)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
38	栗谷川健一	湖水の葦 (阿寒国立公園 阿寒湖)	1955(昭和30)	オフセット、紙	102.3×71.9	北海道立帯広美術館	
39	栗谷川健一	家路 (平原の湯の里 十勝川温泉) 【原画】	1962(昭和37)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
40	栗谷川健一	家路 (平原の湯の里 十勝川温泉)	1962(昭和37)	オフセット、紙	103.0×73.0	北海道立帯広美術館	
41	栗谷川健一	落陽の平原 (平原の湯の里 十勝川温泉)	1963(昭和38)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
42	栗谷川健一	羊ヶ丘 (札幌 羊ヶ丘展望台)	1961(昭和36)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
43	栗谷川健一	溪谷 (支笏洞爺国立公園 定山溪温泉)	1960(昭和35)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
44	栗谷川健一	地獄谷 (国際温泉郷 のほりべつ)	1960(昭和35)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
45	栗谷川健一	えぞ鹿 (大雪山国立公園 十勝岳) 【原画】	1962(昭和37)	ポスターカラー、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	ポスター原画
46	栗谷川健一	えぞ鹿 (大雪山国立公園 十勝岳)	1962(昭和37)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
47	栗谷川健一	えぞ雷鳥飛び (大雪山国立公園 層雲峡)	1960(昭和35)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
48	栗谷川健一	エーデルワイスと娘 (利尻・礼文)	1959(昭和34)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
49	栗谷川健一	夕暮の利尻富士 (利尻礼文サロベツ国立公園)	1984(昭和59)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
50	栗谷川健一	光る海 (日高山脈襟裳国定公園)	1984(昭和59)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道造形デザイン専門学校	
51	池田晴男編	『北海道 駅名の起源』(表紙原画:栗谷川健一)	1962(昭和37)刊	書籍		北海道立文学館	日本国有鉄道刊
52	犬飼哲夫	『わが動物記』(挿画:栗谷川健一)	1971(昭和46)刊	書籍		北海道立文学館	暮らしの手帖社刊
53	林 英夫	『ホテルと私』(表紙挿画:栗谷川健一)	1980(昭和55)刊	書籍		北海道立文学館	私刊
54	河邨文一郎、栗谷川健一	『北の詩集 雪と薔薇』	1967(昭和42)刊	書籍		北海道立文学館	北書房刊
55	芸術の森美術館	『栗谷川健一展 綴られた詩情、ポスターのなかの北海道』	1994(平成6)刊	書籍		北海道立文学館	財団法人札幌芸術の森刊
56	栗谷川健一	『栗谷川健一の世界』	1982(昭和57)刊	書籍		北海道立文学館	講談社刊
57		北海道放送開業一周年に当たり (表紙デザイン:栗谷川健一)	1953(昭和28)刊	冊子		北海道立文学館	北海道放送刊
58		HBC会館落成記念 (表紙デザイン等:栗谷川健一)	1959(昭和34)刊	冊子		北海道立文学館	北海道放送刊

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	備考
59		北海道放送開業2周年(表紙デザイン等:栗谷川健一)	1954(昭和29)刊	冊子		北海道立文学館	北海道放送刊

Ⅱ 駅舎を飾る旅景色 ― 国鉄～JR ポスターの変遷

60		国立公園 阿寒	年代不詳	木版印刷、紙	91.3×61.0	流山温泉	
61		北海道へ 【原画】	年代不詳	水彩、紙	106.7×75.4	流山温泉	
62	中村善策	男鹿半島	年代不詳	オフセット、紙	103.0×72.7	流山温泉	
63	羽野栄一	富良野北の峯 国民スキー場	1962(昭和37)	オフセット、紙	104.8×73.6	流山温泉	
64		ディスカバー・ジャパン 高山盆おどり	1973(昭和48)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道立帯広美術館	
65		ディスカバー・ジャパン 飛騨高山	1973(昭和48)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道立帯広美術館	
66		ディスカバー・ジャパン 飛騨高山	1973(昭和48)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道立帯広美術館	
67		ディスカバー・ジャパン 下呂温泉	1973(昭和48)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道立帯広美術館	
68		ディスカバー・ジャパン 白川温泉	1973(昭和48)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道立帯広美術館	
69		ディスカバー・ジャパン 小瀬瀧飼	1973(昭和48)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道立帯広美術館	
70		《義経》《しづか》ランデブー(北海道鉄道100年)	1980(昭和55)	オフセット、紙	103.0×72.8	小樽市総合博物館	
71		トラベル・フォト・ニュース	1948(昭和23)創刊	オフセット、紙	25.7×18.2	小樽市総合博物館	
72		「時刻表にのらない列車」は、深夜が始発です。	1990代	オフセット、紙	103.0×73.0	個人蔵	
73		お湯やコンコン 登別・洞爺湖	2002(平成14)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道旅客鉄道株式会社	
74		鉄道の日記念 JR全線乗り放題きっぷ	2005(平成17)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道旅客鉄道株式会社	
75		1,688両の、JRオールスターズ。	1988(昭和63)	オフセット、紙	102.5×145.7	個人蔵	
76		613駅の、ホームドラマ。	1988(昭和63)	オフセット、紙	102.5×145.7	個人蔵	
77		JR HOKKAIDO FERRY HAKODATE～AOMORI ROUTE OPENED SINCE 1908	1988(昭和63)	オフセット、紙	102.5×145.7	個人蔵	
78		ゾーン539 青函トンネル開通	1988(昭和63)	オフセット、紙	103.0×145.6	小樽市総合博物館	
79		「スーパー北斗」に乗って 光の海に こぎ出しました。	1990代	オフセット、紙	103.0×145.6	小樽市総合博物館	
80		妻を グリーンに 乗せる旅。フルムーン	1995(平成7)	オフセット、紙	103.0×145.6	小樽市総合博物館	
81		北海道鉄道120年	2000(平成12)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道旅客鉄道株式会社	
82		リゾートの心地良さをのせて走ります。	1990代	オフセット、紙	36.4×51.4	個人蔵	
83		秋の北海道	1990(平成2)	オフセット、紙	36.4×51.4	個人蔵	
84		JRで行く秋色十勝	1997(平成9)	オフセット、紙	103.0×72.8	小樽市総合博物館	
85		秋の海峡物語	2003(平成15)	オフセット、紙	103.0×72.8	北海道旅客鉄道株式会社	
86		JRで行く、冬の知床。	2009(平成21)	オフセット、紙	103.0×72.8	株式会社ジェイ・アール・エージェンシー	
87		イメージは、ほんの事実です。圧倒的、桜	2009(平成21)	オフセット、紙	103.0×72.8	株式会社ジェイ・アール・エージェンシー	
88		イメージは、ほんの事実です。情熱的、祭	2009(平成21)	オフセット、紙	103.0×72.8	株式会社ジェイ・アール・エージェンシー	
89		イメージは、ほんの事実です。芸術的、彩	2009(平成21)	オフセット、紙	103.0×72.8	株式会社ジェイ・アール・エージェンシー	
90		イメージは、ほんの事実です。浪漫的、趣	2009(平成21)	オフセット、紙	103.0×72.8	株式会社ジェイ・アール・エージェンシー	
91	Kitaka	はじめまして、キタカです。	2008(平成20)	オフセット、紙	103.0×72.8	株式会社ジェイ・アール・エージェンシー	
92	Kitaka	もうすぐ、デビューです。	2008(平成20)	オフセット、紙	103.0×72.8	株式会社ジェイ・アール・エージェンシー	
93	Kitaka	お待たせしました！	2008(平成20)	オフセット、紙	103.0×72.8	株式会社ジェイ・アール・エージェンシー	
94		古今東西さくら絵巻	2000代	オフセット、紙	103.0×145.6	小樽市総合博物館	

Ⅲ 藤倉英幸の貼り絵芸術 ― 北海道の光と風と刻を

95	藤倉英幸	雪明かりの道	1991(平成3)	貼り絵、紙	52.5×41.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1993年2月号表紙
96	藤倉英幸	冬の夜	1991(平成3)	貼り絵、紙	41.0×52.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1994年2月号表紙

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵先	備考
97	藤倉英幸	家路	1992(平成4)	貼り絵、紙	55.5×42.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1992年9月号表紙
98	藤倉英幸	秋風の中	1992(平成4)	貼り絵、紙	41.5×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1992年10月号表紙
99	藤倉英幸	菜の花踏切	1992(平成4)	貼り絵、紙	49.5×42.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1993年5月号表紙
100	藤倉英幸	ハマヒルガオ	1992(平成4)	貼り絵、紙	41.5×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1993年8月号表紙
101	藤倉英幸	秋近い里	1992(平成4)	貼り絵、紙	41.5×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1993年9月号表紙
102	藤倉英幸	行く秋 (11月)	1992(平成4)	貼り絵、紙	41.5×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1993年11月号表紙
103	藤倉英幸	夕風ぎ港	1992(平成4)	貼り絵、紙	49.5×42.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1994年8月号表紙
104	藤倉英幸	風の色	1993(平成5)	貼り絵、紙	45.0×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2002年10月号表紙
105	藤倉英幸	小さな駅舎	1993(平成5)	貼り絵、紙	37.5×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1993年12月号表紙
106	藤倉英幸	エゾキシゲの花園	1993(平成5)	貼り絵、紙	41.5×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1993年7月号表紙
107	藤倉英幸	風の踏切	1994(平成6)	貼り絵、紙	41.5×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1995年9月号表紙
108	藤倉英幸	遅い春	1994(平成6)	貼り絵、紙	35.5×42.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1996年3月号表紙
109	藤倉英幸	雪解け	1994(平成6)	貼り絵、紙	31.0×27.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1999年3月号表紙
110	藤倉英幸	春の公園	1995(平成7)	貼り絵、紙	35.5×46.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1995年5月号表紙
111	藤倉英幸	夏の駅	1995(平成7)	貼り絵、紙	34.0×41.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1996年7月号表紙
112	藤倉英幸	雪晴れて	1995(平成7)	貼り絵、紙	58.0×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1996年2月号表紙
113	藤倉英幸	雪の漁村	1996(平成8)	貼り絵、紙	42.5×50.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2008年2月号表紙
114	藤倉英幸	防風林	1996(平成8)	貼り絵、紙	41.5×55.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1997年11月号表紙
115	藤倉英幸	サロマの岸辺	1995(平成7)	貼り絵、紙	41.5×55.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1996年8月号表紙
116	藤倉英幸	名残 (なごり) の秋	1995(平成7)	貼り絵、紙	41.5×55.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1998年11月号表紙
117	藤倉英幸	雪解け間近	1997(平成9)	貼り絵、紙	41.5×55.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1998年3月号表紙
118	藤倉英幸	残照	1995(平成7)	貼り絵、紙	55.5×41.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1999年11月号表紙
119	藤倉英幸	青い海峡	1995(平成7)	貼り絵、紙	30.0×43.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2000年7月号表紙
120	藤倉英幸	北へ帰る	1996(平成8)	貼り絵、紙	46.0×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1997年3月号表紙
121	藤倉英幸	海鳴りの村	1996(平成8)	貼り絵、紙	55.0×75.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1997年2月号表紙
122	藤倉英幸	少年の夏	1996(平成8)	貼り絵、紙	41.0×41.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1997年8月号表紙
123	藤倉英幸	みぞれ降る日	1996(平成8)	貼り絵、紙	41.0×41.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1998年12月号表紙
124	藤倉英幸	青い時刻 (とき)・小樽運河	1997(平成9)	貼り絵、紙	55.0×66.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1999年12月号表紙
125	藤倉英幸	灯台のある村	1997(平成9)	貼り絵、紙	46.0×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1998年2月号表紙
126	藤倉英幸	学園都市線ポスター 8点	1991(平成3)	オフセット、紙	103.0×73.0	藤倉英幸氏	
127	藤倉英幸	ヨットハーバー	2007(平成19)	貼り絵、紙	41.5×55.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2008年8月号表紙
128	藤倉英幸	制作道具 ほか				藤倉英幸氏	
129	藤倉英幸	離島の白い灯台	2008(平成20)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2009年6月号表紙
130	藤倉英幸	離島の白い灯台 下絵類 ほか				藤倉英幸氏	
131	藤倉英幸	収穫を待つ	2008(平成20)	貼り絵、紙	46.0×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2009年9月号表紙
132	藤倉英幸	収穫を待つ 下絵類 ほか				藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2009年9月号表紙
133	藤倉英幸	小さな漁港に雪が降る	2008(平成20)	貼り絵、紙	41.5×55.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2010年1月号表紙
134	藤倉英幸	小さな漁港に雪が降る 下絵類 ほか				藤倉英幸氏	
135	藤倉英幸	菜の花の頃	2002(平成14)	アクリル絵具、イラストボード	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2004年5月号表紙
136	藤倉英幸	緑の丘	2002(平成14)	アクリル絵具、イラストボード	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2005年6月号表紙
137	藤倉英幸	冬まぢか	2003(平成15)	アクリル絵具、イラストボード	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2003年11月号表紙
138	藤倉英幸	冬・網走湖	2004(平成16)	アクリル絵具、イラストボード	48.8×65.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2005年2月号表紙
139	藤倉英幸	北運河から (小樽)	1997(平成9)	貼り絵、紙	46.0×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2002年12月号表紙
140	藤倉英幸	遠い海	1998(平成10)	貼り絵、紙	41.5×55.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2000年4月号表紙
141	藤倉英幸	残雪譜	1999(平成11)	貼り絵、紙	41.5×55.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」1999年4月号表紙
142	藤倉英幸	雪のあと	1999(平成11)	貼り絵、紙	55.5×41.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2000年2月号表紙
143	藤倉英幸	離島の夏	1999(平成11)	貼り絵、紙	35.5×46.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2000年6月号表紙

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	備考
144	藤倉英幸	湿原に朝がくる	2000(平成12)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2000年8月号表紙
145	藤倉英幸	秋いそぐ	2000(平成12)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2000年10月号表紙
146	藤倉英幸	秋も行く	2000(平成12)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2002年11月号表紙
147	藤倉英幸	暮れの空	2000(平成12)	貼り絵、紙	47.5×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2000年12月号表紙
148	藤倉英幸	春風	2000(平成12)	貼り絵、紙	47.5×35.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2007年5月号表紙
149	藤倉英幸	夕空	2000(平成12)	貼り絵、紙	32.0×40.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2002年9月号表紙
150	藤倉英幸	冬日	2001(平成13)	貼り絵、紙	35.5×58.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2003年1月号表紙
151	藤倉英幸	春の声	2001(平成13)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2001年5月号表紙
152	藤倉英幸	丘の道を行く	2006(平成18)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2007年6月号表紙
153	藤倉英幸	灯台に夏がくる	2006(平成18)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2007年7月号表紙
154	藤倉英幸	秋色峠	2006(平成18)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2007年10月号表紙
155	藤倉英幸	でき秋	2006(平成18)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2007年9月号表紙
156	藤倉英幸	雪の里に	2006(平成18)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2008年1月号表紙
157	藤倉英幸	雪が降ってきた	2006(平成18)	貼り絵、紙	35.5×47.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2007年12月号表紙
158	藤倉英幸	秋の夕	2006(平成18)	貼り絵、紙	41.5×55.5	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2008年9月号表紙
159	藤倉英幸	流水の海	2007(平成19)	貼り絵、紙	75.0×49.0	藤倉英幸氏	「THE JR Hokkaido」2009年2月号表紙

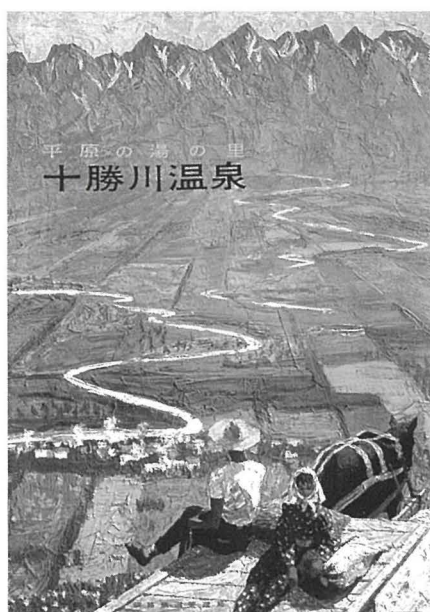
Ⅳ 車窓から眺める北海道 — 「THE JR Hokkaido」が誘う旅の世界

160	立花富美雄	2010年1月号特集「利尻山」写真	2006(平成18)頃	RPクリスタルプリント、ポリエステル	54.7×43.5	立花富美雄氏	「THE JR Hokkaido」2010年1月号掲載
161	中山浩樹	2010年1月号特集「羊蹄山」写真	2000(平成12)頃	RPクリスタルプリント、ポリエステル	42.1×31.0	中山浩樹氏	「THE JR Hokkaido」2010年1月号掲載
162	北室かず子	特集記事 取材資料 ほか				北室かず子氏	
163	中山浩樹	2010年1月号特集「羊蹄山」写真	2000(平成12)頃	RPクリスタルプリント、ポリエステル	54.7×40.5	中山浩樹氏	「THE JR Hokkaido」2010年1月号掲載
164	立花富美雄	2010年1月号特集「利尻山ヤムナイ沢」写真	2006(平成18)頃	RPクリスタルプリント、ポリエステル	42.1×33.5	立花富美雄氏	「THE JR Hokkaido」2010年1月号掲載
165	門脇啓二	ゆったり自分旅 「田園地帯で歴史散歩」写真 6点	2008(平成20)	インクジェットプリント、紙	12.7×18.0	門脇啓二氏	「THE JR Hokkaido」2008年8月号掲載
166	門脇啓二	ゆったり自分旅 「宇宙のミールに工場のビール」写真 6点	2008(平成20)	インクジェットプリント、紙	12.7×18.0	門脇啓二氏	「THE JR Hokkaido」2008年10月号掲載
167	門脇啓二	ゆったり自分旅 取材資料 ほか				門脇啓二氏	
168	門脇啓二	ゆったり自分旅 「ゲレンデ横目に温泉ぞんまい」写真 6点	2008(平成20)	インクジェットプリント、紙	12.7×18.0	門脇啓二氏	「THE JR Hokkaido」2009年2月号掲載
169	門脇啓二	ゆったり自分旅 「テーマパークのような街で」写真 6点	2009(平成21)	インクジェットプリント、紙	12.7×18.0	門脇啓二氏	「THE JR Hokkaido」2010年1月号掲載
170	堀 淳一	堀淳一の風に吹かれて一人旅 「室蘭本線ー東室蘭・長万部間」写真	2006(平成18)	RPクリスタルプリント、ポリエステル	19.3×19.3	堀 淳一氏	「THE JR Hokkaido」2006年7月号掲載
171	堀 淳一	堀淳一の風に吹かれて一人旅 「宗谷本線ー稚内・天塩中川間」写真	2006(平成18)	RPクリスタルプリント、ポリエステル	19.3×19.3	堀 淳一氏	「THE JR Hokkaido」2006年9月号掲載
172	堀 淳一	堀淳一の風に吹かれて一人旅 「花咲線(根室本線)ー釧路・根室間」写真	2006(平成18)	RPクリスタルプリント、ポリエステル	19.3×19.3	堀 淳一氏	「THE JR Hokkaido」2006年10月号掲載
173	堀 淳一	堀淳一の風に吹かれて一人旅 「函館本線ー長万部・札幌間(山線)」写真	2006(平成18)	RPクリスタルプリント、ポリエステル	19.3×19.3	堀 淳一氏	「THE JR Hokkaido」2006年11月号掲載
174	堀 淳一	堀淳一の風に吹かれて一人旅 「津軽海峡線(海峡線&江差線)ー木古内・五稜郭間」写真	2006(平成18)	RPクリスタルプリント、ポリエステル	19.3×19.3	堀 淳一氏	「THE JR Hokkaido」2006年12月号掲載
175	堀 淳一	堀淳一の風に吹かれて一人旅 「石勝線ー南千歳・新夕張・夕張間」写真	2007(平成19)	RPクリスタルプリント、ポリエステル	19.3×19.3	堀 淳一氏	「THE JR Hokkaido」2007年10月号掲載
176	堀 淳一	『北海道鉄道跡を紀行する』	1991(平成3)刊	書籍		北海道立文学館	北海道新聞社刊
177	堀 淳一	『地図を歩く』	1974(昭和49)刊	書籍		北海道立文学館	そしえて刊
178	堀 淳一	堀淳一の風に吹かれて一人旅 取材資料 ほか	2006(平成18)～2007(平成19)			堀 淳一氏	
179		「THE JR Hokkaido」	1987(昭和62)～2010(平成22)刊	定期刊行物		個人蔵	(株)北海道ジェイ・アール・エージェンシー(ほか)刊
180		北海道中央バス車内誌「フリーウェイ」	1992(平成4)～1995(平成7)刊	定期刊行物		個人蔵	北海道中央バス株式会社刊
181		JR東日本車内誌「Train Vert」	1992(平成4)刊	定期刊行物		個人蔵	東日本旅客鉄道株式会社刊
182		北海道国際航空機内誌「rapora ラボラ」	2006(平成18)～2009(平成21)刊	定期刊行物		個人蔵	北海道国際航空株式会社刊

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	備考
183		日本航空機内誌「SKYWARD」	2005(平成17)刊	定期刊行物		個人蔵	株式会社JALブランドコミュニケーション刊
184	今泉 潤	キタキツネの四季「幸福」写真	2004(平成16)	RPプリント	40.8×26.8	今泉 潤氏	「THE JR Hokkaido」2004年6月号掲載
185	今泉 潤	キタキツネの四季「旅立ちの日」写真	2005(平成17)	RPクリスタルプリント	34.0×51.9	今泉 潤氏	「THE JR Hokkaido」2005年3月号掲載
186	中江潤一	小檜山博 読切小説 新・人生劇場「間違い」挿画	2005(平成17)	インクジェットプリント、紙	14.7×18.3	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2005年7月号掲載
187	中江潤一	小檜山博 読切小説 新・人生劇場「路上にて」挿画	2006(平成18)	インクジェットプリント、紙	19.2×15.8	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2006年2月号掲載
188	中江潤一	小檜山博 読切小説 新・人生劇場「五十五年後」挿画	2007(平成19)	インクジェットプリント、紙	17.6×17.8	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2007年4月号掲載
189	小檜山博	読切小説 新・人生劇場「兄貴」原稿	2006(平成18)			小檜山博氏	「THE JR Hokkaido」2007年1月号掲載
190	中江潤一	小檜山博 読切小説 新・人生劇場「兄貴」挿画	2006(平成18)	インクジェットプリント、紙	19.3×14.0	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2007年1月号掲載
191	小檜山博	読切小説 新・人生劇場「一円の借り」原稿	2007(平成19)			小檜山博氏	「THE JR Hokkaido」2007年10月号掲載
192	中江潤一	小檜山博 読切小説 新・人生劇場「一円の借り」挿画	2007(平成19)	インクジェットプリント、紙	18.2×15.9	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2007年10月号掲載
193	小檜山博	人生讃歌「自炊」原稿	2009(平成21)			小檜山博氏	「THE JR Hokkaido」2009年7月号掲載
194	中江潤一	小檜山博 人生讃歌「自炊」挿画	2009(平成21)	インクジェットプリント、紙	17.3×17.1	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2009年7月号掲載
195	小檜山博	人生讃歌「熱い背中」原稿	2008(平成20)			小檜山博氏	「THE JR Hokkaido」2008年11月号掲載
196	中江潤一	小檜山博 人生讃歌「熱い背中」挿画	2008(平成20)	インクジェットプリント、紙	17.3×13.9	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2008年11月号掲載
197	中江潤一	小檜山博 人生讃歌「文学青年」挿画	2008(平成20)	インクジェットプリント、紙	19.0×17.0	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2009年1月号掲載
198	中江潤一	小檜山博 人生讃歌「見舞いにて」挿画	2009(平成21)	インクジェットプリント、紙	17.7×13.9	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2009年10月号掲載
199	中江潤一	小檜山博 人生讃歌「十四歳」挿画	2009(平成21)	インクジェットプリント、紙	17.6×16.9	中江潤一氏	「THE JR Hokkaido」2009年2月号掲載
200	鯨森惣七	鯨森惣七「陽だまりがあれば地球人」より原稿・挿画	2006(平成18)～2007(平成19)	サインペン、カラーコピー、インクジェットプリント、インク、総具、紙	55.5×91.5	鯨森惣七氏	「THE JR Hokkaido」2006年4月号ほか掲載
201	鯨森惣七	鯨森惣七「陽だまりがあれば地球人」より原稿・挿画	2006(平成18)～2007(平成19)	サインペン、カラーコピー、インクジェットプリント、インク、総具、紙	55.5×91.5	鯨森惣七氏	「THE JR Hokkaido」2006年9月号ほか掲載
202	飯塚達央	忘れがたき駅前ふると「水谷商店(愛別町)」写真	2003(平成15)	インクジェットプリント、局紙	24.2×24.1	飯塚達央氏	「THE JR Hokkaido」2005年4月号掲載
203	飯塚達央	忘れがたき駅前ふると「長万部食堂(長万部町)」写真	2004(平成16)	インクジェットプリント、局紙	24.2×24.1	飯塚達央氏	「THE JR Hokkaido」2005年5月号掲載
204	飯塚達央	忘れがたき駅前ふると「増毛湯(増毛町)」写真	2003(平成15)	インクジェットプリント、局紙	24.2×24.1	飯塚達央氏	「THE JR Hokkaido」2006年1月号掲載
205	飯塚達央	忘れがたき駅前ふると「小松屋商店(遠軽町)」写真	2005(平成17)	インクジェットプリント、局紙	24.2×24.1	飯塚達央氏	「THE JR Hokkaido」2005年12月号掲載
206	飯塚達央	新・忘れがたき駅前ふると「藤山駅(留萌市)」写真	2005(平成17)	インクジェットプリント、局紙	24.2×24.1	飯塚達央氏	「THE JR Hokkaido」2007年3月号掲載
207	飯塚達央	新・忘れがたき駅前ふると「由仁駅(由仁町)」写真	2006(平成18)	インクジェットプリント、局紙	24.2×24.1	飯塚達央氏	「THE JR Hokkaido」2006年5月号掲載
208	飯塚達央	新・忘れがたき駅前ふると「士別駅(士別市)」写真	2007(平成19)	インクジェットプリント、局紙	24.2×24.1	飯塚達央氏	「THE JR Hokkaido」2007年12月号掲載
209	飯塚達央	新・忘れがたき駅前ふると「増毛駅(増毛町)」写真	2006(平成18)	インクジェットプリント、局紙	24.2×24.1	飯塚達央氏	「THE JR Hokkaido」2006年4月号掲載
210	藤 泰人	時の旅人「父と馬」写真	2009(平成21)	ライトジェットクリスタルプリント、ポリエステル	42.2×31.1	藤 泰人氏	「THE JR Hokkaido」2009年3月号掲載
211	藤 泰人	時の旅人「北国の下町」写真	2008(平成20)刊	ライトジェットクリスタルプリント、ポリエステル	42.2×31.1	藤 泰人氏	「THE JR Hokkaido」2008年11月号掲載
212	藤 泰人	時の旅人「行き倒れ」写真	2009(平成21)	ライトジェットクリスタルプリント、ポリエステル	42.2×31.1	藤 泰人氏	「THE JR Hokkaido」2009年12月号掲載
213	藤 泰人	時の旅人「草鞋」写真	2008(平成20)刊	ライトジェットクリスタルプリント、ポリエステル	42.2×31.1	藤 泰人氏	「THE JR Hokkaido」2009年10月号掲載
214	藤 泰人	時の旅人「風囲いの家」写真	2008(平成20)刊	ライトジェットクリスタルプリント、ポリエステル	42.2×31.1	藤 泰人氏	「THE JR Hokkaido」2009年11月号掲載
215	渡邊俊博	渡邊俊博取材手帳				渡邊俊博氏	
216	渡邊俊博	ズウさんのつるつる旅日記「赤平の巻 ズリ山階段試練の七七七」下絵類 ほか	2009(平成21)			渡邊俊博氏	「THE JR Hokkaido」2009年11月号掲載

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	備考
217	渡邊俊博	ズウさんのつるつる旅日記「赤平の巻 ズリ山階段試練の七七七」原画	2009(平成21)	水彩、モノクロコビー、インク、紙	20.4×25.3 ほか	渡邊俊博氏	「THE JR Hokkaido」2009年11月号掲載
218	渡邊俊博	ズウさんのつるつる旅日記「栗山町の巻 チョウは日本酒がお好き?」原画	2007(平成19)	水彩、モノクロコビー、インク、紙	20.3×22.6	渡邊俊博氏	「THE JR Hokkaido」2007年8月号掲載
219	渡邊俊博	ズウさんのつるつる旅日記「上川町の巻 厳寒にて あったか日本一」原画	2009(平成21)	水彩、モノクロコビー、インク、紙	20.7×21.5	渡邊俊博氏	「THE JR Hokkaido」2008年3月号掲載
220	渡邊俊博	ズウさんのつるつる旅日記「栗沢の巻 ズリ山の上でリングをガブリッ」原画	2009(平成21)	水彩、モノクロコビー、インク、紙	20.8×21.8	渡邊俊博氏	「THE JR Hokkaido」2008年10月号掲載
221	渡邊俊博	ズウさんのつるつる旅日記「登別温泉の巻 青鬼赤鬼 うなる名湯」原画	2007(平成19)	水彩、モノクロコビー、インク、紙	20.7×23.9	渡邊俊博氏	「THE JR Hokkaido」2007年11月号掲載
222	渡邊俊博	ズウさんのつるつる旅日記「苫小牧の巻 いざ探鳥は ほっきの街へ」原画 4点	2007(平成19)	水彩、モノクロコビー、インク、紙	20.3×22.1 ほか	渡邊俊博氏	「THE JR Hokkaido」2007年5月号掲載
223	渡邊俊博	ズウさんのつるつる旅日記「美瑛の巻 昔の炭鉱町で鳥よ鶏よ」原画 5点	2009(平成21)	水彩、モノクロコビー、インク、紙	20.9×23.8 ほか	渡邊俊博氏	「THE JR Hokkaido」2008年6月号掲載
224	渡邊俊博	ズウさんのつるつる旅日記シリーズ 小イラスト 6点	2008(平成20)～ 2009(平成21)	水彩、モノクロコビー、インク、紙	15.0×23.0 ほか	渡邊俊博氏	「THE JR Hokkaido」2008年9月号ほか掲載

* 寸法は縦×横。



栗谷川健一「家路（平原の湯の里 十勝川温泉）」



藤倉英幸「秋の夕」

日本近代洋画への道～山岡コレクションを中心に～

写真の衝撃！ めざめるニッポンの油絵

司馬江漢から高橋由一、黒田清輝、青木繁まで

会期＝平成22年 6月18日(金)～8月18日(水) 53日間

主催＝北海道立帯広美術館

協力＝財団法人 日動美術財団

観覧料＝一般900(700)円、高大生550(450)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーター及び10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「日本の近代洋画と日動画廊」

講師＝長谷川徳七氏(日動画廊社長)・智恵子氏(日動画廊副社長)

日時＝6月19日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

ミュージアム・カレッジ

「近代美術－西洋との出会い」

講師＝当館学芸員ほか

日時＝6月19日(土)、6月26日(土)、7月3日(土)、7月10日(土)

午後2時～3時30分/全4回

*6月19日は美術講演会としても開催、午後2時～4時

会場＝当館講堂(参加料700円、応募制)

キッズ・ミュージアム

「たのしい七夕かざり」

日時＝7月17日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

鑑賞会

講師＝齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏、村上陽一氏(美術家)

日時＝7月18日(日) 午後2時～4時

会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

サマー・ミュージアム

日時＝7月31日(土)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

・グリーンコンサート①「ブラスバンド演奏」

出演＝北海道帯広三条高等学校吹奏楽部

時間＝午前11時～(約40分)

会場＝当館庭(入場無料)



ポスター



図録

- ・グリーンコンサート②「和太鼓演奏と虎舞」
出演＝新芸能集団「乱拍手」
時間＝午後2時～（約60分）
会場＝当館庭（入場無料）
- ・ワークショップ「ペットボトルを飾ろう」
講師＝帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しら
かばの会」
時間＝午後1時～4時
会場＝当館講堂（参加無料）
- ・ドリンク・ブース
時間＝午前11時～午後4時
会場＝当館ロビー

ギャラリー・ツアー

講師＝佐藤由美加（当館主任学芸員）
日時＝7月24日(土)、8月7日(土) 午後2時～（約30分）
会場＝当館主展示室（要観覧券）

図録

規格＝29.0×22.5cm／総頁数136ページ
構成＝山岡淳男「山岡コレクションの公開によせて」／青木茂
「『幻の』山岡コレクション」／作品図版／作家解説／
作品リスト

関連記事

丹羽恭太「近代日本の洋画展」十勝毎日新聞／6月11日(金)
丹羽恭太「幕末、明治の油絵一堂に」十勝毎日新聞／6月17日(木)

丹羽恭太「幕末から明治『洋画への道』展」十勝毎日新聞／6月18日(金)

「日本の西洋画 創成期を紹介」北海道新聞／6月20日(日)

「日本の洋画『幕開け』紹介」読売新聞／6月20日(日)

『「日本近代洋画への道」講演会」十勝毎日新聞／6月22日(火)

佐藤由美加「おびひろミュージアム通信」釧路新聞／7月5日(木)

佐藤由美加「『日本近代洋画への道』特別展に寄せて1～5」
十勝毎日新聞／8月3日(火)～5日(木)、10日、12日

江戸から明治への移行は、日本の歴史上、大きな転換期だった。美術の世界でも、西洋絵画の流入という大きな出来事が起こり、日本画壇は、変革の時代を迎える。油彩画の迫真的描写は、人々を驚かせ、西洋画を志した画家たちは、試行錯誤を重ねながら研鑽を積んでいく。明治政府は、近代化政策の一環として西洋美術を導入し、海を渡って本場で西洋絵画を学ぶ者も出てきた。この時代の画家たちは、油彩画という新しい西洋文化に対して、真摯に取り組み、堅実な作品を残している。

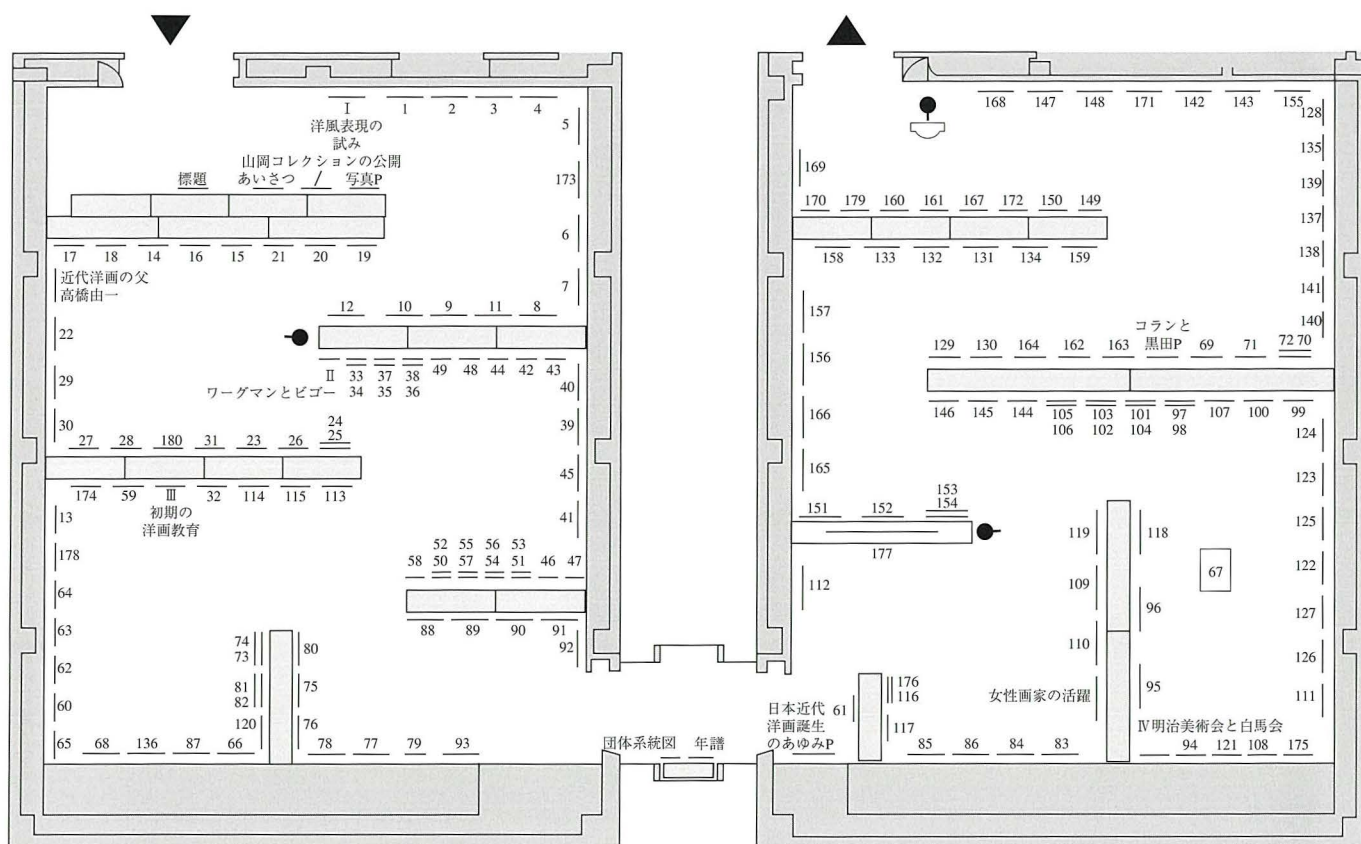
展覧会では、ヤンマーディーゼル（現ヤンマー株式会社）の創始者山岡孫吉氏（1888～1962）が収集し、現在は、笠間日動美術館に収蔵されている山岡コレクションを中心に、日本近代洋画を紹介した。江戸時代の洋風画家司馬江漢、明治初期に重要な功績を残した高橋由一、フランスに留学し帰国後、日本の洋画壇に大きな影響を与えた黒田清輝らの180点が展示された。明治期を中心とした日本の近代洋画を一覧できる内容であり、4,408名の来館者があった。



会場風景



会場風景



展示図面

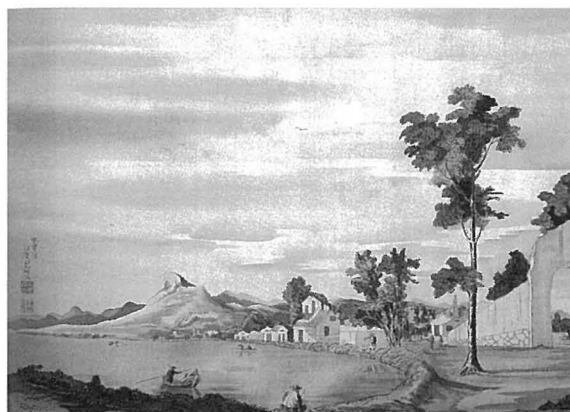
出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	所蔵先
1	伝 信方	達磨図	—	37.0×51.6	紙に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
2	小川破笠	海魚	1740(元文5)年	各21.0×27.0	紙に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
3	円山応挙	支那風景／三十三間堂	—	36.0×31.5	紙に木版、手彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
4	伝 円山応挙	港の図	1767(明和4)年	43.5×54.3	絹に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
5	司馬江漢	風景	—	49.0×68.0	絹に彩色	笠間日動美術館
6	司馬江岷	七里ヶ浜	—	27.3×50.5	絹に泥絵具	笠間日動美術館(山岡コレクション)
7	司馬道士	雲仙牧羊図	—	30.7×43.6	絹に泥絵具	笠間日動美術館(山岡コレクション)
8	亜欧堂田善	浅草観音図	—	23.3×40.2	銅版	笠間日動美術館(山岡コレクション)
9	伝 小田野直武	ライオン図	—	45.7×90.2	紙に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
10	鋏形蕙斎	洋人舞踏図	—	25.0×52.0	紙に墨	笠間日動美術館(山岡コレクション)
11	立原杏所	鳴門風景	—	60.0×95.5	絹に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
12	安田雷洲	外国戦争図(ナポレオン戦争図)	—	90.0×33.1	紙に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
13	小林安治	芸妓立姿	—	54.5×69.3	絹に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
14	作者不詳	婦女弾琴図	—	50.5×44.5	紙に泥絵具	笠間日動美術館(山岡コレクション)
15	長崎系洋風画／伝平賀源内	薬草会議図	—	16.1×25.1	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
16	長崎系洋風画(作者不詳)	異人図	—	31.6×47.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
17	長崎系洋風画(作者不詳)	異人館	—	31.6×47.3	紙に泥絵具	笠間日動美術館(山岡コレクション)
18	長崎系洋風画(作者不詳)	異人夫妻図	—	25.0×52.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
19	泥絵(作者不詳)	外桜田風景	—	50.1×31.3	紙に泥絵具	笠間日動美術館(山岡コレクション)
20	泥絵(作者不詳)	高縄風景	—	104.5×58.3	紙に泥絵具	笠間日動美術館(山岡コレクション)
21	泥絵(作者不詳)	向島風景	—	158.0×83.5	厚紙に泥絵具	笠間日動美術館(山岡コレクション)
22	高橋由一	丁髷姿の自画像	1866～67 (慶応2～3)年	48.0×38.8	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	所蔵先
23	高橋由一	三偉人 リンカーン、ビスマルク、ガリバルディ	—	45.7×69.9	絹に墨、淡彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
24	高橋由一	青年図	1874(明治7)年	85.9×24.6	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
25	高橋由一	住吉神社	1874(明治7)年	51.7×63.9	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
26	高橋由一	猫図	—	54.6×75.9	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
27	高橋由一	本牧海岸	1877(明治10)年	19.0×18.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
28	高橋由一	品川海晏寺紅葉図	1880(明治13)年	21.5×25.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
29	高橋由一	鮭図	1879~80 (明治12~13)年	36.3×28.6	板に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
30	高橋由一	鯛図	—	28.0×20.0	板に油彩	笠間日動美術館
31	伝 高橋由一	蔬菜図	—	48.0×69.5	紙に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
32	エドワード・キヨソーネ	川上操六中将図	1896(明治29)年	45.5×76.2	紙に木炭	笠間日動美術館(山岡コレクション)
33	チャールズ・ワグマン	廣東夫人	1858(安政5)年	34.8×51.5	紙に鉛筆	笠間日動美術館(山岡コレクション)
34	チャールズ・ワグマン	支那夫人	1858(安政5)年	81.7×60.5	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
35	チャールズ・ワグマン	廣東風景	1858(安政5)年	45.5×76.5	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
36	チャールズ・ワグマン	廣東風景	1858(安政5)年	21.0×13.5	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
37	チャールズ・ワグマン	廣東風景	1858(安政5)年	16.3×14.7	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
38	チャールズ・ワグマン	廣東風景	—	22.7×25.2	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
39	チャールズ・ワグマン	東禅寺浪士乱入図	—	10.0×13.2	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
40	チャールズ・ワグマン	百合図	1878(明治11)年	20.3×22.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
41	チャールズ・ワグマン	浦の風景	—	17.0×21.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
42	チャールズ・ワグマン	桶屋	—	23.0×30.5	厚紙に油彩	笠間日動美術館
43	チャールズ・ワグマン	武士の図	—	14.0×19.3	紙に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
44	チャールズ・ワグマン	小漁夫	—	27.5×22.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
45	チャールズ・ワグマン	ワグマン夫人像	—	25.8×35.5	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
46	チャールズ・ワグマン	外国美人図	—	22.1×36.1	絹に淡彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
47	チャールズ・ワグマン	漫画(伍長は答えた。憲兵さん、あなたの言う通り。)	—	22.1×29.5	紙に鉛筆、水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
48	チャールズ・ワグマン	藩士扮装図	—	23.5×30.0	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
49	チャールズ・ワグマン	明治の侍	—	23.5×30.7	紙に水彩	笠間日動美術館
50	チャールズ・ワグマン	長久保風景	—	23.7×29.5	紙に鉛筆、水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
51	チャールズ・ワグマン	富士山遠望	—	17.8×25.5	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
52	チャールズ・ワグマン	上州風景	—	22.5×18.7	紙に鉛筆、水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)



高橋由一「鮭図」



司馬江漢「風景」

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	所蔵先
53	チャールズ・ワーグマン	東海道風景	—	36.3×24.6	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
54	チャールズ・ワーグマン	信州風景	—	24.0×24.0	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
55	チャールズ・ワーグマン	箱根風景	—	19.5×25.0	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
56	チャールズ・ワーグマン	七里ヶ浜	—	38.0×22.8	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
57	チャールズ・ワーグマン	新潟風景	1870(明治3)年	41.6×32.4	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
58	チャールズ・ワーグマン	車夫	—	44.9×30.9	紙に鉛筆	笠間日動美術館(山岡コレクション)
59	橋本雅邦	武官測量図	—	40.7×56.0	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
60	徳川慶喜	池畔風景	—	30.2×19.3	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
61	百武兼行	ブルガリアの女	1882(明治15)年	18.5×12.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
62	床次正精	福山城	—	59.0×45.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
63	床次正精	港湾図	—	24.4×26.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
64	田村宗立	人物	1880(明治13)年	38.0×54.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
65	小林清親	雪の日	—	17.6×33.0	硝子絵	笠間日動美術館(山岡コレクション)
66	国沢新九郎	英国風景(初春郊外)	—	55.1×94.6	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
67	権田守吉	各藩武士扮装図(模写・近藤正純原画)画帳	—	20.1×50.1	紙に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
68	安達吟光	日本橋界隈	—	33.8×24.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
69	ラファエル・コラン	婦人像	—	49.9×60.4	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
70	ラファエル・コラン	洋装の婦人像	—	34.5×52.0	紙に鉛筆	笠間日動美術館
71	ラファエル・コラン	裸婦	—	30.0×40.0	紙に鉛筆	笠間日動美術館
72	ラファエル・コラン	横たわる裸婦	—	91.2×45.3	紙にコンテ	笠間日動美術館
73	山本芳翠	内海風景	—	65.2×53.1	板に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
74	山本芳翠	日の出	—	45.8×87.5	板に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
75	山本芳翠	婦女横笛	—	48.7×92.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
76	山本芳翠	鬼と少女	—	23.4×35.7	紙に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
77	山本芳翠	琉球風景(A)	1887~1888 (明治20~21)年	25.0×35.8	厚紙に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
78	山本芳翠	琉球風景(B)	1887~1888 (明治20~21)年	32.5×48.8	厚紙に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
79	山本芳翠	けしと小鳥	—	19.6×30.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
80	山本芳翠	菊図	—	78.5×35.1	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
81	山本芳翠	議会スケッチ(A)	1887(明治20)年	54.0×81.8	紙に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
82	山本芳翠	議会スケッチ(B)	1887(明治20)年	64.0×33.1	紙に墨、彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
83	川村清雄	双鶏の図	—	31.5×24.2	板に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
84	川村清雄	花の宴	—	42.6×72.8	板に油彩	笠間日動美術館
85	川村清雄	パルスレイケン像	—	26.3×48.6	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
86	川村清雄	ベニス風景	—	34.3×48.6	板に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
87	渡辺文三郎	多摩夕照図	1878(明治11)年	30.3×45.8	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
88	五姓田義松	少年法界坊	—	151.5×115.6	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
89	五姓田義松	富嶽図	—	33.7×91.2	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
90	五姓田義松	七里ヶ浜	—	40.7×53.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
91	五姓田義松	塩原風景	—	53.0×45.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
92	五姓田義松	駿河湾風景	—	53.0×45.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
93	五姓田義松	人形の着物	1883(明治16)年	45.2×91.6	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
94	浅井 忠	外国婦人図(臨模)	1887(明治20)年	130.4×96.0	紙に木炭	笠間日動美術館(山岡コレクション)
95	渡辺幽香	溪流	—	19.4×36.2	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
96	渡辺幽香	房州根本海岸	1897(明治30)年	20.5×33.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
97	小山正太郎	山村嫁女(A)	1889(明治22)年頃	31.5×42.4	紙に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
98	小山正太郎	山村嫁女(B)	1889(明治22)年頃	44.4×33.4	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
99	小山正太郎	吉野山遠望	1913(大正2)年	46.9×37.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
100	小山正太郎	山村風景	—	46.8×37.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
101	小山正太郎	御嶽村遠望	1892(明治25)年	40.6×55.6	紙に鉛筆、水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
102	小山正太郎	相模川右岸小倉村水車	1906(明治39)年	86.5×42.8	紙に鉛筆	笠間日動美術館(山岡コレクション)
103	小山正太郎	妙義山	—	35.5×45.0	紙に鉛筆	笠間日動美術館(山岡コレクション)

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	所蔵先
104	小山正太郎	五旬起臥セシ若狭丸ノ甲板	1900(明治33)年	35.0×44.6	紙に鉛筆、水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
105	小山正太郎	入間川西岸笹井村渡頭	1892(明治25)年	93.3×71.3	紙に鉛筆	笠間日動美術館(山岡コレクション)
106	小山正太郎	皆野村	1908(明治41)年	73.5×150.5	紙に鉛筆	笠間日動美術館(山岡コレクション)
107	小山正太郎	青梅風景	1902(明治35)年	150.3×325.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
108	曾山幸彦	お茶の水風景	—	49.5×95.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
109	山下りん	ヤコブ像(使徒之図)	—	65.0×99.8	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
110	山下りん	機密の晩餐	—	30.5×91.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
111	高橋源吉	小金井の桜	—	71.2×58.0	紙に鉛筆、水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
112	彭城貞徳	静物	—	27.3×48.7	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
113	ジョルジュ・ビゴー	万歳	—	52.0×35.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
114	ジョルジュ・ビゴー	武士の子	—	22.0×34.9	銅板	笠間日動美術館(山岡コレクション)
115	ジョルジュ・ビゴー	普仏戦争	1893(明治26)年	44.0×35.3	石版	笠間日動美術館(山岡コレクション)
116	高橋勝蔵	桑港海岸	1893(明治26)年	21.7×30.5	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
117	高橋勝蔵	函館港	1901(明治34)年	36.5×28.5	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
118	ラゲルザ玉	蓮池	—	27.0×44.8	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
119	ラゲルザ玉	保津川の溪流	—	24.0×46.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
120	合田 清	晩婦(模写・エミール・アダン原画)	1886(明治19)年	25.0×43.5	木口木版	笠間日動美術館(山岡コレクション)
121	松岡 寿	ホルバインの「エラスムス」臨模	—	44.0×28.0	紙に鉛筆	笠間日動美術館(山岡コレクション)
122	二世 五姓田芳柳	富嶽図	—	26.3×46.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
123	二世 五姓田芳柳	上杉景勝一笑図	1890(明治23)年	44.0×28.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
124	二世 五姓田芳柳	天津事変	—	26.0×33.5	絹に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
125	二世 五姓田芳柳	大楠公	—	19.1×26.9	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
126	二世 五姓田芳柳	婦人像(井田譲夫人)	—	56.9×41.8	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
127	二世 五姓田芳柳	自画像	—	33.6×45.7	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
128	長原孝太郎	百合図	1899(明治32)年	33.5×45.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
129	東城鉦太郎	平壤攻略図	—	87.0×49.4	絹に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
130	東城鉦太郎	旅順開城	1911(明治45)年	各37.8×26.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
131	中村不折	男の裸体	1902(明治35)年頃	79.5×66.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
132	中村不折	裸体図	—	61.4×100.7	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
133	中村不折	老漁夫	1906(明治39)年	34.5×26.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
134	中村不折	日本海海戦	—	各56.0×41.2	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)



五姓田義松「人形の着物」



青木 繁「二人の少女」

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	所蔵先
135	久米桂一郎	習作	1889(明治22)年頃	60.7×42.6	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
136	山内愚僊	住吉神社	1902(明治35)年	100.0×72.8	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
137	黒田清輝	裸体	1889(明治22)年	124.3×91.2	紙に木炭	笠間日動美術館(山岡コレクション)
138	黒田清輝	清国負傷兵広島着	1894(明治27)年	80.5×59.5	紙にペン、墨	笠間日動美術館
139	黒田清輝	昔語り(画稿)	1896(明治29)年頃	125.5×93.2	紙に木炭	笠間日動美術館(山岡コレクション)
140	黒田清輝	黒田清兼像	1907(明治40)年	166.9×97.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
141	黒田清輝	浜の丘 稲村ヶ崎海岸の積礫	1910(明治43)年頃	150.7×115.5	板に油彩	笠間日動美術館
142	藤島武二	観桜会	—	133.7×88.5	板に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
143	藤島武二	ヴェニス風景	1908~1909 (明治41~42)年	72.8×60.7	板に油彩	笠間日動美術館
144	岡 精一	搜索	1889(明治22)年	75.8×60.8	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
145	佐久間文吾	天神境内	—	124.8×86.0	紙に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
146	佐久間文吾	北野神社	—	124.7×86.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
147	湯浅一郎	緑陰	1900(明治33)年	72.0×55.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
148	湯浅一郎	妓生の図	1913(大正2)年	65.6×60.6	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
149	岡田三郎助	彫刻師	1890~91 (明治23~24)年	23.8×14.8	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
150	岡田三郎助	久保田米齋像	1901(明治34)年	各24.5×17.9	紙に木炭	笠間日動美術館
151	鈴木烏川	能舞図「末廣」	—	37.8×74.3	板に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
152	揚忠三郎	北野天神之図	1889(明治22)年	37.2×91.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
153	須田輝洲	唐犬と鶏	—	53.0×60.0	紙に泥絵具	笠間日動美術館(山岡コレクション)
154	須田輝洲	牡丹と水仙	—	60.0×80.4	板に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
155	白滝幾之助	霧のテーマズ河(模写・ターナー 原画)	—	38.0×46.3	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
156	満谷国四郎	かりそめの悩み	1907(明治40)年	26.5×21.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
157	満谷国四郎	かぐや姫	1909(明治42)年	20.6×45.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
158	満谷国四郎	東京慈恵医院行啓	—	50.0×32.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
159	鹿子木孟郎	日露役奉天入城	—	57.9×30.3	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
160	和田英作	快晴	1897(明治30)年	81.1×65.4	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
161	和田英作	近江石山寺紫式部	1925(大正15)年	18.0×13.9	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
162	渡部審也	百姓	—	62.5×46.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
163	渡部審也	猿曳図	1898(明治31)年	60.8×46.3	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
164	渡部審也	供待図	1909(明治42)年	23.6×32.8	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
165	北 蓮蔵	静物	—	32.1×41.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
166	北 蓮蔵	静物(鼓)	—	17.1×13.4	板に油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
167	山本森之助	鳥原城址	—	64.5×45.9	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
168	小林鐘吉	舞妓図	1909(明治42)年	91.0×70.0	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
169	青木 繁	裸体	1903(明治36)年	46.6×37.8	紙に木炭、赤チョーク	笠間日動美術館(山岡コレクション)
170	青木 繁	二人の少女	1909(明治42)年	67.0×39.4	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
171	橋本邦助	姉妹	—	53.5×71.2	キャンバスに油彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
172	中村 彝	肖像	1908(明治41)年	52.9×41.1	板に油彩	笠間日動美術館
173	司馬江漢	房州利根河今井渡	—	29.5×45.7	絹に墨	笠間日動美術館(山岡コレクション)
174	荒木寛畝	春芳争妍図	1884(明治17)年	42.8×64.5	絹に彩色	笠間日動美術館(山岡コレクション)
175	曾山幸彦	洋装少年	—	40.9×53.0	紙にコンテ	笠間日動美術館(山岡コレクション)
176	高橋勝蔵	カリフォルニア風景	1892(明治25)年	45.1×33.0	紙に水彩	笠間日動美術館(山岡コレクション)
177	彭城貞徳	油絵屏風	—	42.6×28.3	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
178	五姓田芳柳	美人吹笛図	—	120.5×90.9	絹に彩色	笠間日動美術館
179	小林萬吾	遠州浜名湖	—	60.5×45.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館
180	高橋由一	驟雨図	1877(明治10)年頃	63.3×46.5	キャンバスに油彩	笠間日動美術館

ミロ展

会期＝平成22年 8月28日(土)－10月24日(日) 50日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市・帯広市教育委員会、
十勝毎日新聞社、「ミロ展」実行委員会、NPO十勝
文化会議

後援＝スペイン大使館 Embajada de España、十勝町村会、十勝
管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体
協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校
長会、帯広市校長会、帯広市町内会連合会、帯広市民劇
場運営委員会、NHK文化センター帯広教室、NHK帯広放
送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、
帯広シティーケーブル、FM-JAGA

協賛＝医療法人社団博愛会、帯広信用金庫、大成建設、東洋印
刷、中井会計事務所、日本興亜損害保険、ホクレン農業
協同組合連合会、三井住友海上火災保険

企画協力＝谷口事務所

観覧料＝一般900(700)円、高大生550(450)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ち
の方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

美術講演会

「版画から見るジョアン・ミロの世界」

講師＝大森達次氏(女子美術大学教授)

日時＝8月28日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

特別展セミナー

「ミロの芸術～残した言葉を手がかりに～」

講師＝藺部容子(当館学芸員)

日時＝9月11日(土)、9月25日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

NPO十勝文化会議ワークショップ

「音楽を聴きながら絵を描こう」

講師＝由良真一氏(画家)ほかNPO十勝文化会議美術部会会員

日時＝9月12日(日) 午後1時30分～4時

会場＝当館講堂(参加無料、応募制)

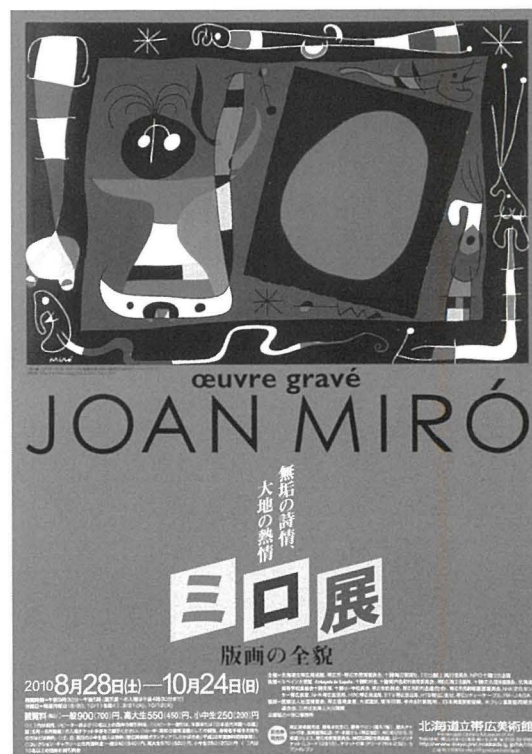
キッズ・ミュージアム

「ぼくもわたしもミロだ!」

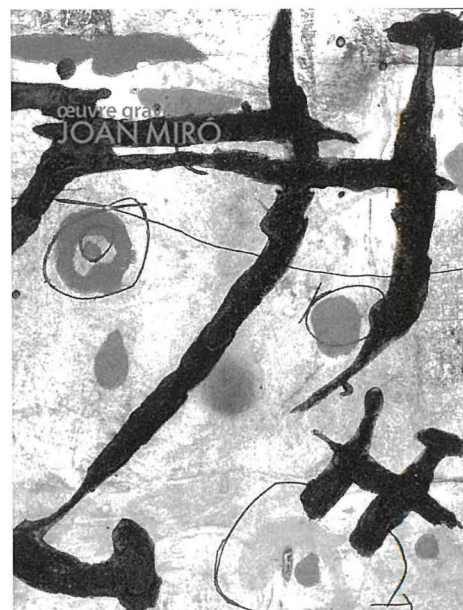
日時＝10月2日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」



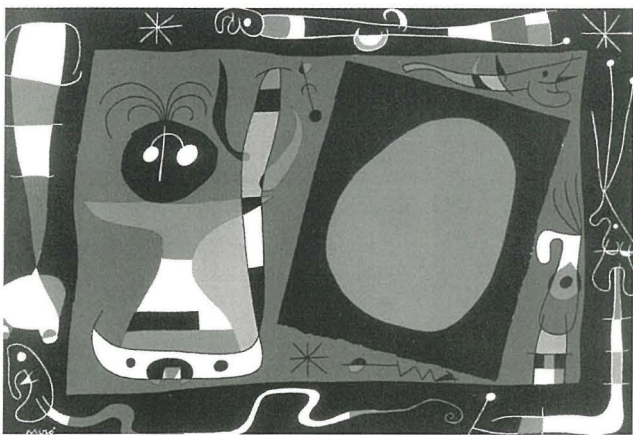
ポスター



図録

図録番号	作品名	制作年	技法	寸法(cm)
43	モンロッチ I	1974	リトグラフ	71.5×57.0
44	『ユビュの幼年時代』 図版18	1975	リトグラフ	28.8×38.5
45	『版画家の日記』Ⅲ	1975	エッチング、アクアティント	57.5×45.0
46	世界を構成する4つの色…	1975	エッチング、アクアティント	98.0×72.0
47	『エスプリウ＝ミロ』 (サルバドール・エスプリウの詩) 図版2	1975	エッチング、カーボランダム	86.2×70.5
48 - 1	『アドニッド』 (ジャック・プレヴェールの詩)	1975	エッチング	40.0×33.5
- 2	〃	〃	エッチング、アクアティント	38.2×60.3
- 3	〃	〃	〃	40.0×33.5
- 4	〃	〃	〃	40.0×66.0
- 5	〃	〃	〃	40.0×33.5
- 6	〃	1975	エッチング、アクアティント	40.0×33.5
- 7	〃	〃	〃	40.0×66.0
- 8	〃	〃	〃	40.0×33.5
- 9	〃	〃	〃	40.0×33.5
- 10	〃	〃	〃	40.0×66.0
49	マッソンへのオマージュ	1977	リトグラフ	60.0×88.0
50	『アルバム21』 図版11	1978	リトグラフ	51.5×66.8
51 - 1	『デリエール・ル・ミロワール』 誌第231号 表紙	1978	リトグラフ	38.0×57.3
- 2	『デリエール・ル・ミロワール』 誌第231号	〃	〃	38.0×56.0
52	西武美術館「ミロ」展ポスター	1978	リトグラフ	71.0×48.7
53	人物と星々Ⅲ	1979	エッチング、コラージュ	87.0×58.5
54	「ワールドカップ'82 スペイン」ポスター	1981	リトグラフ	87.0×58.5

* 寸法は縦×横。



「女と鏡 (『デリエール・ル・ミロワール』誌第93号：刊行10周年のためのカラー・リトグラフ)」



「反逆者」

ベルギー絵本作家展 やさしくて、ときにせつない贈り物

会期＝平成22年11月1日(月)～平成23年1月19日(水) 64日間
 主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、ベルギー
 絵本作家展実行委員会、帯広美術館ボランティア
 「しらかばの会」

後援＝ベルギー王国大使館、ベルギー観光局ワロン・ブリュッセル、ベルギー・フランドール政府観光局、帯広市・帯広市教育委員会、十勝町村会、十勝管内教育委員会連絡協議会、帯広市校長会、十勝小・中校長会、帯広幼稚園協会、北海道新聞帯広支社、十勝毎日新聞社、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社

協力＝KLMオランダ航空、サン・アールアンドピイ、BL出版、ムーランサール ジャパン

企画協力＝産経新聞社

企画制作＝ステップ・イースト

観覧料＝一般800(650)円、高大生500(400)円、小中生250(200)円
 小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料
 ()内は前売り、リピーター及び10名以上の団体の割引料金

関連事業

映写室

「タンタンの冒険『ピーカー教授事件』」

日時＝11月1日(月)、2日(火) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(入場無料)

「タンタンの冒険『ななつの水晶球と太陽の神殿』」

日時＝11月4日(木) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(入場無料)

「タンタンの冒険『呪われた湖の謎』」

日時＝11月5日(金) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(入場無料)

美術講演会

「ベルギー絵本の魅力」

講師＝野坂悦子氏(本展監修者、翻訳家)

日時＝11月3日(水・祝) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

技法講座

「つくってみよう！自分だけの立体絵本」

講師＝宮澤克忠氏、中谷有逸氏、齊藤隆博氏、小笠原洋子氏、近藤みどり氏(美術家)

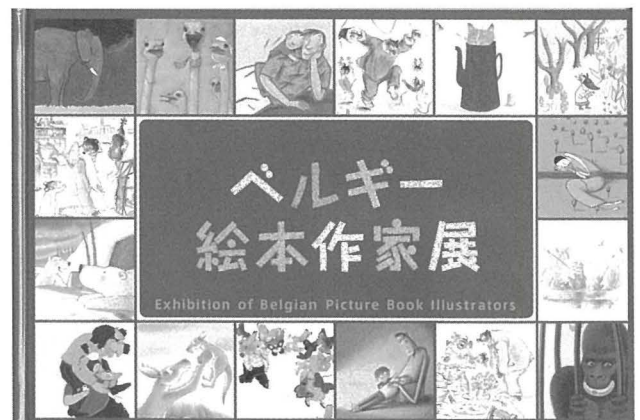
日時＝11月6日(土) 午後1時30分～4時

会場＝当館講堂(参加無料、応募制)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会



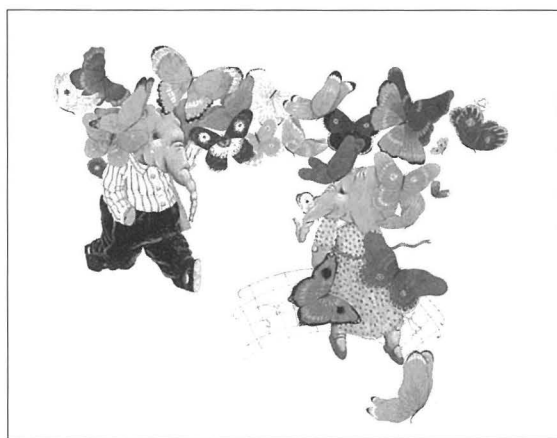
ポスター



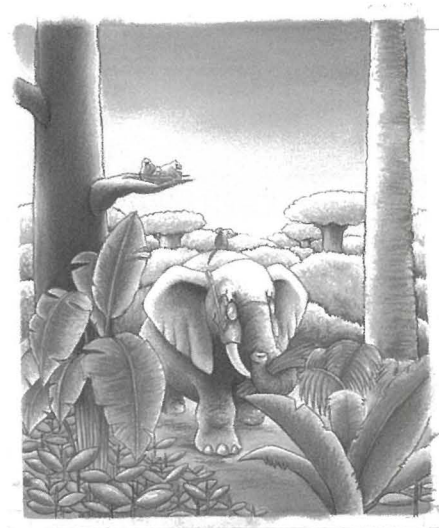
図録

No.	作家名	文	作品名	技法	制作年	原著出版年	邦訳出版年	邦訳出版社
21	カルル・クヌート	ヘールト・デ・コッケレ	狂女フリート	アクリル・グワッシュ	2004	2005		
22	カルル・クヌート	エドワルト・ファン・デ・フェンデル	100万匹の蝶々	アクリル・ペン	2006	2007		
23	カルル・クヌート	エドワルト・ファン・デ・フェンデル	100万匹の蝶々	アクリル・ペン	2006	2007		
24	カルル・クヌート	エドワルト・ファン・デ・フェンデル	100万匹の蝶々	アクリル・ペン	2006	2007		
25	カルル・クヌート	ペーテル・ヴェルヘルスト	ナイチンゲールの声の秘密	アクリル	2007	2008		
26	カルル・クヌート	ペーテル・ヴェルヘルスト	ナイチンゲールの声の秘密	アクリル	2007	2008		
27	カルル・クヌート	ペーテル・ヴェルヘルスト	ナイチンゲールの声の秘密	アクリル	2007	2008		
28	カルル・クヌート	ペーテル・ヴェルヘルスト	ナイチンゲールの声の秘密	アクリル	2007	2008		
29	キティ・クローザー	キティ・クローザー	死神ちゃんがやってきた	色鉛筆・鉛筆・インク	制作年不詳	2005		
30	キティ・クローザー	キティ・クローザー	死神ちゃんがやってきた	色鉛筆・鉛筆・インク	制作年不詳	2005		
31	キティ・クローザー	キティ・クローザー	死神ちゃんがやってきた	色鉛筆・鉛筆・インク	制作年不詳	2005		
32	キティ・クローザー	キティ・クローザー	死神ちゃんがやってきた	色鉛筆・鉛筆・インク	制作年不詳	2005		
33	キティ・クローザー	キティ・クローザー	死神ちゃんがやってきた	色鉛筆・鉛筆・インク	制作年不詳	2005		
34	キティ・クローザー	キティ・クローザー	ババとミースにわにるのは、だあれ？	色鉛筆	制作年不詳	2007	2008	徳間書店
35	キティ・クローザー	キティ・クローザー	ババとミースにわにるのは、だあれ？	色鉛筆	制作年不詳	2007	2008	徳間書店
36	キティ・クローザー	キティ・クローザー	ババとミースにわにるのは、だあれ？	色鉛筆	制作年不詳	2007	2008	徳間書店
37	キティ・クローザー	キティ・クローザー	ババとミースにわにるのは、だあれ？	色鉛筆	制作年不詳	2007	2008	徳間書店
38	キティ・クローザー	キティ・クローザー	ババとミースにわにるのは、だあれ？	色鉛筆	制作年不詳	2007	2008	徳間書店
39	キティ・クローザー	キティ・クローザー	湖のアニー	水彩・鉛筆・インク	制作年不詳	2009		
40	キティ・クローザー	キティ・クローザー	湖のアニー	水彩・鉛筆・インク	制作年不詳	2009		
41	キティ・クローザー	キティ・クローザー	湖のアニー	水彩・鉛筆・インク	制作年不詳	2009		
42	キティ・クローザー	キティ・クローザー	湖のアニー	水彩・鉛筆・インク	制作年不詳	2009		
43	キティ・クローザー	キティ・クローザー	湖のアニー	水彩・鉛筆・インク	制作年不詳	2009		
44	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	ぼくのママ	ミクストメディア	2000	2001		
45	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	ぼくのママ	ミクストメディア	2000	2001		
46	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	ぼくのママ	ミクストメディア	2000	2001		
47	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	ぼくのママ	ミクストメディア	2000	2001		
48	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	ぼくのママ	ミクストメディア	2000	2001		
49	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	かしこいクロルのおはなし	ミクストメディア	2005	2006		
50	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	かしこいクロルのおはなし	ミクストメディア	2005	2006		
51	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	かしこいクロルのおはなし	ミクストメディア	2005	2006		
52	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	かしこいクロルのおはなし	ミクストメディア	2005	2006		
53	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	かしこいクロルのおはなし	ミクストメディア	2005	2006		
54	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	ローシェ・ロートのふしぎな旅	ミクストメディア	2006	2007		
55	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	ローシェ・ロートのふしぎな旅	ミクストメディア	2006	2007		
56	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	ローシェ・ロートのふしぎな旅	ミクストメディア	2006	2007		
57	ヘルダ・デンドーヴェン	ヘルダ・デンドーヴェン	ローシェ・ロートのふしぎな旅	複製プリント	2010	2007		
58	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	だいじょうぶだよ、ゾウさん	パステル	2004	2004	2005	文溪堂
59	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	だいじょうぶだよ、ゾウさん	パステル	2004	2004	2005	文溪堂
60	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	だいじょうぶだよ、ゾウさん	パステル	2004	2004	2005	文溪堂
61	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	だいじょうぶだよ、ゾウさん	パステル	2004	2004	2005	文溪堂
62	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	だいじょうぶだよ、ゾウさん	パステル	2004	2004	2005	文溪堂
63	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	くもをおいかけてごらん、ピープー	パステル	2005	2006	2007	文溪堂
64	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	くもをおいかけてごらん、ピープー	パステル	2005	2006	2007	文溪堂
65	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	くもをおいかけてごらん、ピープー	パステル	2005	2006	2007	文溪堂
66	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	くもをおいかけてごらん、ピープー	パステル	2005	2006	2007	文溪堂
67	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	くもをおいかけてごらん、ピープー	パステル	2005	2006	2007	文溪堂
68	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	歌ってくれる、クジラさん？	パステル	2005	2006		
69	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	歌ってくれる、クジラさん？	パステル	2005	2006		
70	ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニオン	歌ってくれる、クジラさん？	パステル	2005	2006		

No. 作家名	文	作品名	技法	制作年	原著出版年	邦訳出版年	邦訳出版社
71 ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニョン	歌ってくれる、クジラさん？	パステル	2005	2006		
72 ヴァレリー・ダール	ローレンス・ブルギニョン	歌ってくれる、クジラさん？	パステル	2005	2006		
73 クロード・K・デュボア	カール・ノラック	わたしはだいじなたからもの	水彩・鉛筆	1998	1999	2000	ほるぷ出版
74 クロード・K・デュボア	カール・ノラック	わたしはだいじなたからもの	水彩・鉛筆	1998	1999	2000	ほるぷ出版
75 クロード・K・デュボア	カール・ノラック	わたしはだいじなたからもの	水彩・鉛筆	1998	1999	2000	ほるぷ出版
76 クロード・K・デュボア	カール・ノラック	わたしはだいじなたからもの	水彩・鉛筆	1998	1999	2000	ほるぷ出版
77 クロード・K・デュボア	カール・ノラック	わたしはだいじなたからもの	水彩・鉛筆	1998	1999	2000	ほるぷ出版
78 クロード・K・デュボア	クロード・K・デュボワ	つりはもういいんだけどな、パパ！	水彩・鉛筆	2004	2005	2006	平凡社
79 クロード・K・デュボア	クロード・K・デュボワ	つりはもういいんだけどな、パパ！	水彩・鉛筆	2004	2005	2006	平凡社
80 クロード・K・デュボア	クロード・K・デュボワ	つりはもういいんだけどな、パパ！	水彩・鉛筆	2004	2005	2006	平凡社
81 クロード・K・デュボア	クロード・K・デュボワ	つりはもういいんだけどな、パパ！	水彩・鉛筆	2004	2005	2006	平凡社
82 クロード・K・デュボア	クロード・K・デュボワ	つりはもういいんだけどな、パパ！	水彩・鉛筆	2004	2005	2006	平凡社
83 クロード・K・デュボア	ヴェロニク・ヴァン・デン・アペール	わたしの おばあちゃん	グワッシュ・鉛筆・インク	2006	2007	2007	くもん出版
84 クロード・K・デュボア	ヴェロニク・ヴァン・デン・アペール	わたしの おばあちゃん	グワッシュ・鉛筆・インク	2006	2007	2007	くもん出版
85 クロード・K・デュボア	ヴェロニク・ヴァン・デン・アペール	わたしの おばあちゃん	グワッシュ・鉛筆・インク	2006	2007	2007	くもん出版
86 クロード・K・デュボア	ヴェロニク・ヴァン・デン・アペール	わたしの おばあちゃん	グワッシュ・鉛筆・インク	2006	2007	2007	くもん出版
87 クロード・K・デュボア	ヴェロニク・ヴァン・デン・アペール	わたしの おばあちゃん	グワッシュ・鉛筆・インク	2006	2007	2007	くもん出版
88 トム・スカンプ	ティネ・モルティエル	第6日目	アクリル	2006	2007		
89 トム・スカンプ	ティネ・モルティエル	第6日目	アクリル	2006	2007		
90 トム・スカンプ	ティネ・モルティエル	第6日目	アクリル	2006	2007		
91 トム・スカンプ	ティネ・モルティエル	第6日目	アクリル	2006	2007		
92 トム・スカンプ	ティネ・モルティエル	第6日目	アクリル	2006	2007		
93 トム・スカンプ	ベルナル・フリオ	動物園－日曜日は家族そろって	アクリル	2008	2009		
94 トム・スカンプ	ベルナル・フリオ	動物園－日曜日は家族そろって	アクリル	2008	2009		
95 トム・スカンプ	ベルナル・フリオ	動物園－日曜日は家族そろって	アクリル	2008	2009		
96 トム・スカンプ	ベルナル・フリオ	動物園－日曜日は家族そろって	アクリル	2008	2009		
97 トム・スカンプ	ベルナル・フリオ	動物園－日曜日は家族そろって	アクリル	2008	2009		
98 トム・スカンプ	アグネス・デ・レストラーデ	ヤコブのくつ	アクリル	2008	2010		
99 トム・スカンプ	アグネス・デ・レストラーデ	ヤコブのくつ	アクリル	2008	2010		
100 トム・スカンプ	アグネス・デ・レストラーデ	ヤコブのくつ	アクリル	2008	2010		
101 トム・スカンプ	アグネス・デ・レストラーデ	ヤコブのくつ	アクリル	2008	2010		



カルル・クヌート「100万匹の蝶々」



ヴァレリー・ダール「だいじょうぶだよ、ゾウさん」

No. 作家名	文	作品名	技法	制作年	原著出版年	邦訳出版年	邦訳出版社
102 トム・スカンプ	アグネス・デ・レストラーデ	ヤコブのくつ	アクリル	2008	2010		
103 イングリッド・ゴドン	カール・ノラック	ぼくのババはおおとこ	油彩	2003	2004	2006	セーラー出版
104 イングリッド・ゴドン	カール・ノラック	ぼくのババはおおとこ	油彩	2003	2004	2006	セーラー出版
105 イングリッド・ゴドン	カール・ノラック	ぼくのババはおおとこ	油彩	2003	2004	2006	セーラー出版
106 イングリッド・ゴドン	カール・ノラック	ぼくのババはおおとこ	油彩	2003	2004	2006	セーラー出版
107 イングリッド・ゴドン	カール・ノラック	ぼくのババはおおとこ	油彩	2003	2004	2006	セーラー出版
108 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	あしたはパーティーだった	ポスターカラー・パステル・コラージュ	2007	2008		
109 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	あしたはパーティーだった	ポスターカラー・パステル・コラージュ	2007	2008		
110 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	あしたはパーティーだった	ポスターカラー・パステル・コラージュ	2007	2008		
111 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	あしたはパーティーだった	ポスターカラー・パステル・コラージュ	2007	2008		
112 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	あしたはパーティーだった	ポスターカラー・パステル・コラージュ	2007	2008		
113 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	子どもたちの肖像	ポスターカラー・パステル	2008-2010	2011		
114 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	子どもたちの肖像	ポスターカラー・パステル	2008-2010	2011		
115 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	子どもたちの肖像	ポスターカラー・パステル	2008-2010	2011		
116 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	子どもたちの肖像	ポスターカラー・パステル	2008-2010	2011		
117 イングリッド・ゴドン	トーン・テレヘン	子どもたちの肖像	ポスターカラー・パステル	2008-2010	2011		
118 カンタン・グレバン	タンギー・グレバン	カブチヌ	水彩・鉛筆	1999	2000	2003	小峰書店
119 カンタン・グレバン	タンギー・グレバン	カブチヌ	水彩・鉛筆	1999	2000	2003	小峰書店
120 カンタン・グレバン	タンギー・グレバン	カブチヌ	水彩・鉛筆	1999	2000	2003	小峰書店
121 カンタン・グレバン	ローレンス・ブルギニョン	オルガの世界一周	水彩・鉛筆	2001	2002	2007	平凡社
122 カンタン・グレバン	ローレンス・ブルギニョン	オルガの世界一周	水彩・鉛筆	2001	2002	2007	平凡社
123 カンタン・グレバン	ローレンス・ブルギニョン	オルガの世界一周	水彩・鉛筆	2001	2002	2007	平凡社
124 カンタン・グレバン	カンタン・グレバン	レアへの おくりもの	水彩・鉛筆	2004	2005	2008	チャイルド本社
125 カンタン・グレバン	カンタン・グレバン	レアへの おくりもの	水彩・鉛筆	2004	2005	2008	チャイルド本社
126 カンタン・グレバン	カンタン・グレバン	レアへの おくりもの	水彩・鉛筆	2004	2005	2008	チャイルド本社
127 カンタン・グレバン	カンタン・グレバン	まだまだつづきがあるのです	水彩・鉛筆	2006	2007	2010	ほるぷ出版
128 カンタン・グレバン	カンタン・グレバン	まだまだつづきがあるのです	水彩・鉛筆	2006	2007	2010	ほるぷ出版
129 カンタン・グレバン	カンタン・グレバン	まだまだつづきがあるのです	水彩・鉛筆	2006	2007	2010	ほるぷ出版
130 カンタン・グレバン	カンタン・グレバン	ねえ ママ、どうして きょうりゅ うは がっこうへいかないの？	水彩・鉛筆	2008	2009	2009	セーラー出版
131 カンタン・グレバン	カンタン・グレバン	ねえ ママ、どうして きょうりゅ うは がっこうへいかないの？	水彩・鉛筆	2008	2009	2009	セーラー出版
132 カンタン・グレバン	カンタン・グレバン	ねえ ママ、どうして きょうりゅ うは がっこうへいかないの？	水彩・鉛筆	2008	2009	2009	セーラー出版
133 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	月曜日さん	ミクストメディア	2003-2004	2004		
134 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	月曜日さん	ミクストメディア	2003-2004	2004		
135 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	月曜日さん	ミクストメディア	2003-2004	2004		
136 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	月曜日さん	ミクストメディア	2003-2004	2004		
137 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	月曜日さん	ミクストメディア	2003-2004	2004		
138 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ときどき	ミクストメディア	2005-2006	2006		
139 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ときどき	ミクストメディア	2005-2006	2006		
140 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ときどき	ミクストメディア	2005-2006	2006		
141 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ときどき	ミクストメディア	2005-2006	2006		
142 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ときどき	ミクストメディア	2005-2006	2006		
143 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ほんのささいなこと	ミクストメディア	2007-2008	2008		
144 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ほんのささいなこと	ミクストメディア	2007-2008	2008		
145 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ほんのささいなこと	ミクストメディア	2007-2008	2008		
146 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ほんのささいなこと	ミクストメディア	2007-2008	2008		
147 アンネ・エルボー	アンネ・エルボー	ほんのささいなこと	ミクストメディア	2007-2008	2008		
148 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	ロメオとジュリエット	インク・アクリル	1998	1999	2004	平凡社
149 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	ロメオとジュリエット	インク・アクリル	1998	1999	2004	平凡社
150 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	ロメオとジュリエット	インク・アクリル	1998	1999	2004	平凡社

No. 作家名	文	作品名	技法	制作年	原著出版年	邦訳出版年	邦訳出版社
151 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	ロメオとジュリエット	インク・アクリル	1998	1999	2004	平凡社
152 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	ロメオとジュリエット	インク・アクリル	1998	1999	2004	平凡社
153 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	おっかなびっくり しまうまくん	インク・アクリル	1999	2000	2001	セーラー出版
154 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	おっかなびっくり しまうまくん	インク・アクリル	1999	2000	2001	セーラー出版
155 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	おっかなびっくり しまうまくん	インク・アクリル	1999	2000	2001	セーラー出版
156 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	おっかなびっくり しまうまくん	インク・アクリル	1999	2000	2001	セーラー出版
157 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	おっかなびっくり しまうまくん	インク・アクリル	1999	2000	2001	セーラー出版
158 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	いちばんつよいのはオレだ	インク・アクリル	2000	2001	2003	平凡社
159 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	いちばんつよいのはオレだ	インク・アクリル	2000	2001	2003	平凡社
160 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	いちばんつよいのはオレだ	インク・アクリル	2000	2001	2003	平凡社
161 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	いちばんつよいのはオレだ	インク・アクリル	2000	2001	2003	平凡社
162 マリオ・ラモ	マリオ・ラモ	いちばんつよいのはオレだ	インク・アクリル	2000	2001	2003	平凡社
163 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	わらって！リッキ	複製プリント	2010	1999	2001	フレーベル館
164 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	リッキの なつやすみ	グワッシュ	2001	2001	2003	フレーベル館
165 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	リッキの なつやすみ	グワッシュ	2001	2001	2003	フレーベル館
166 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	あなたのことが だーいすき	カラーインク	2003	2003	2003	フレーベル館
167 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	あなたのことが だーいすき	カラーインク	2003	2003	2003	フレーベル館
168 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	シロクマくんの ひみつ	カラーインク	2003	2004	2004	フレーベル館
169 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	シロクマくんの ひみつ	カラーインク	2003	2004	2004	フレーベル館
170 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	シロクマくんの ひみつ	カラーインク	2003	2004	2004	フレーベル館
171 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	ちいさなしろいさかなの バイバイ また あした！	グワッシュ・コラージュ	2004	2004	2005	フレーベル館
172 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	ちいさなしろいさかなの バイバイ また あした！	グワッシュ・コラージュ	2004	2004	2005	フレーベル館
173 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	ずっとママといっしょがいいの！	グワッシュ・コラージュ	2004	2005	2006	主婦の友社
174 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	ずっとママといっしょがいいの！	グワッシュ・コラージュ	2004	2005	2006	主婦の友社
175 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	ずっとママといっしょがいいの！	グワッシュ・コラージュ	2004	2005	2006	主婦の友社
176 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	リッキの ゆめ	グワッシュ	2006	2006	2007	フレーベル館
177 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	リッキとにわたりのミア	グワッシュ	2007	2008	2008	フレーベル館
178 ヒド・ファン・ヘネヒテン	ヒド・ファン・ヘネヒテン	リッキとにわたりのミア	グワッシュ	2007	2008	2008	フレーベル館
179 クラース・ヴェルブランケ	クラース・ヴェルブランケ	ノッピェス	ペン・色鉛筆	2004	2005		



クロード・K・デュボア「わたしの おばあちゃん」



ヒド・ファン・ヘネヒテン「シロクマくんの ひみつ」

No.	作家名	文	作品名	技法	制作年	原著出版年	邦訳出版年	邦訳出版社
180	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	ノッピェス	ペン・色鉛筆	2004	2005		
181	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	ノッピェス	ペン・色鉛筆	2004	2005		
182	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	ノッピェス	ペン・色鉛筆	2004	2005		
183	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	ノッピェス	ペン・色鉛筆	2004	2005		
184	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	巨人	ペン・色鉛筆	2004	2005		
185	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	巨人	ペン・色鉛筆	2004	2005		
186	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	巨人	ペン・色鉛筆	2004	2005		
187	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	巨人	ペン・色鉛筆	2004	2005		
188	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	巨人	ペン・色鉛筆	2004	2005		
189	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	アップルムース	アクリル・色鉛筆	2010	2010		
190	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	アップルムース	アクリル・色鉛筆	2010	2010		
191	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	アップルムース	アクリル・色鉛筆	2010	2010		
192	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	アップルムース	アクリル・色鉛筆	2010	2010		
193	クラス・ヴェルブランケ	クラス・ヴェルブランケ	アップルムース	アクリル・色鉛筆	2010	2010		
194	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	赤ん坊を腕に抱く振り返った女性	インク	1963			
195	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	アテネの風景	油彩・紙	1963			
196	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	公園にて～木々と緑色の空～	グワッシュ・紙	1964			
197	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	白い髪の子像	グワッシュ・紙	1977			
198	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	イタリアの風景～庭の前景と家々～	油彩・紙	1978			
199	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	イタリアの風景～家々の屋根～	油彩・紙	1978			
200	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	静物画	油彩・木	1979			
201	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	母親と布にくるまれた赤ん坊	水彩	制作年不詳			
202	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	荷車を引く馬のいる田園風景	油彩・紙	制作年不詳			
203	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	たまご	鉛筆	制作年不詳	1983	1986	BL出版
204	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	たまご	鉛筆	制作年不詳	1983	1986	BL出版
205	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	たまご	鉛筆	制作年不詳	1983	1986	BL出版
206	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	たまご	鉛筆	制作年不詳	1983	1986	BL出版
207	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	たまご	鉛筆	制作年不詳	1983	1986	BL出版
208	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	たまご	鉛筆	制作年不詳	1983	1986	BL出版
209	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	たまご	鉛筆	制作年不詳	1983	1986	BL出版
210	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	たまご	鉛筆	制作年不詳	1983	1986	BL出版
211	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	裁判所にて	水彩	制作年不詳	1994	1996	BL出版
212	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	裁判所にて	水彩	制作年不詳	1994	1996	BL出版
213	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	裁判所にて	水彩	制作年不詳	1994	1996	BL出版
214	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	裁判所にて	水彩	制作年不詳	1994	1996	BL出版
215	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	裁判所にて	水彩	制作年不詳	1994	1996	BL出版
216	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	裁判所にて	水彩	制作年不詳	1994	1996	BL出版
217	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	裁判所にて	水彩	制作年不詳	1994	1996	BL出版
218	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	裁判所にて	水彩	制作年不詳	1994	1996	BL出版
219	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ふたりは まちの おんがくか	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1981	1983	BL出版
220	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ふたりは まちの おんがくか	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1981	1983	BL出版
221	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ふたりは まちの おんがくか	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1981	1983	BL出版
222	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ふたりで しゃしんを	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1982	1983	BL出版
223	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ふたりで しゃしんを	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1982	1983	BL出版
224	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	あめのひの ピクニック	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1982	1983	BL出版
225	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ふたりの おきゃくさま	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1985	1985	BL出版
226	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ふたりの おきゃくさま	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1985	1985	BL出版
227	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ふたりの おきゃくさま	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1985	1985	BL出版
228	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ふたりの おきゃくさま	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1985	1985	BL出版
229	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティースとブラム	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1992	1993	BL出版

No.	作家名	文	作品名	技法	制作年	原著出版年	邦訳出版年	邦訳出版社
230	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティースとプラム	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1992	1993	BL出版
231	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	まいごになった セレスティース	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1985	1985	BL出版
232	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	まいごになった セレスティース	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1985	1985	BL出版
233	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	まいごになった セレスティース	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1985	1985	BL出版
234	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティース アーネストとの出会い	水彩・インク	制作年不詳	1987	1988	BL出版
235	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティース アーネストとの出会い	水彩・インク	制作年不詳	1987	1988	BL出版
236	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティース アーネストとの出会い	水彩・インク	制作年不詳	1987	1988	BL出版
237	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティース アーネストとの出会い	水彩・インク	制作年不詳	1987	1988	BL出版
238	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティース アーネストとの出会い	水彩・インク	制作年不詳	1987	1988	BL出版
239	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティース アーネストとの出会い	水彩・インク	制作年不詳	1987	1988	BL出版
240	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティース アーネストとの出会い	水彩・インク	制作年不詳	1987	1988	BL出版
241	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティース アーネストとの出会い	水彩・インク	制作年不詳	1987	1988	BL出版
242	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティースの クリスマス	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1983	1983	BL出版
243	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	セレスティースの クリスマス	水彩・インク・鉛筆	制作年不詳	1983	1983	BL出版
244	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	アンジュール ある犬の物語	鉛筆	制作年不詳	1982	1986	BL出版
245	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	アンジュール ある犬の物語	鉛筆	制作年不詳	1982	1986	BL出版
246	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ナビル ある少年の物語	鉛筆	制作年不詳	2000	2000	BL出版
～288								
289	ガブリエル・バンサン	ガブリエル・バンサン	ヴァイオリニスト	鉛筆	制作年不詳	2001	2001	BL出版
～331								
ガブリエル・バンサン資料		ナビル レイアウト原稿ファイル ヴァイオリニスト レイアウト原稿ファイル テスト刷り原稿（2枚1組） テスト印刷 ナビル オリジナル原稿 ヴァイオリニスト オリジナル原稿						



ガブリエル・バンサン「セレスティースのクリスマス」

北海道立函館美術館・帯広美術館コレクション 風景画展
風景に、浸る。自然と、遊ぶ。

会期＝平成23年 1月28日(金)－4月13日(水) 65日間
主催＝北海道立帯広美術館

協力＝北海道立函館美術館

観覧料＝一般500(400)円、高大生300(250)円
中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

おびひろ氷まつり 協賛事業

日時＝1月28日(金)～1月30日(日)

＊1月28日(金)、1月29日(土)は、午後8時まで夜間開館を
実施

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

・雪中パークゴルフ de 文字並ベケイズ

時間＝1月28日(金)～1月30日(日) 午前10時～午後4時

会場＝当館前庭(参加無料)

・ロビー・カフェ de 冬の花火

時間＝1月28日(金)、1月29日(土) 午後5時30分～8時

会場＝当館ロビー、廊下

・ミュージアム・コンサート

出演＝吉野大地氏(ヴォーカル)、ken氏(ピアノ)

時間＝1月29日(土) 午後4時30分～

会場＝当館ロビー(入場無料)

特別展セミナー

「函館の画家をめぐって」

講師＝蘭部容子(当館学芸員)

日時＝2月5日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

バレンタイン・コンサート

「コントラバスDUO羊の歌」

出演＝齋藤徹・瀬尾高志ガットベースデュオ「羊の歌」

日時＝2月12日(土) 午後2時～(約60分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ギャラリー・ツアー

講師＝蘭部容子(当館学芸員)

日時＝2月26日(土)、3月26日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)



ポスター

キッズ・ミュージアム

「ダンボールで遊ぼう」

日時＝3月5日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

ミュージアム・ミステリー 2011スプリング

「風景画と、あそぼ。」

日時：3月12日(土)、3月19日(土) 午前11時～午後3時

会場：当館講堂・主展示室ほか（参加料370円、応募制）

関連記事

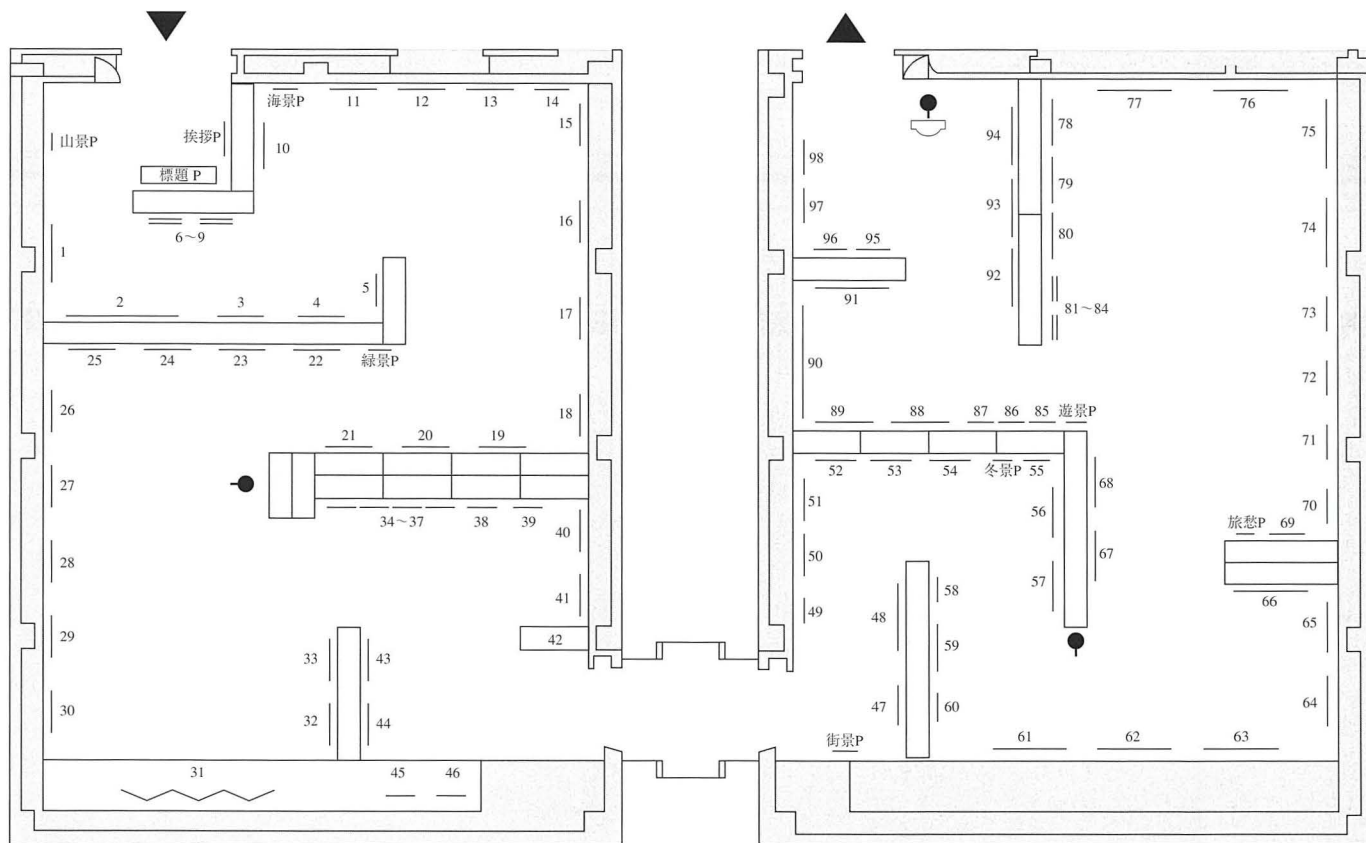
菌部容子「おびひろミュージアム通信 風景に、浸る。自然と、遊ぶ。」釧路新聞／1月24日(月)

菌部容子「『風景に、浸る。自然と、遊ぶ。』展作品紹介 ①～⑥」十勝毎日新聞／2月24日(木)、25日(金)、3月5日(土)、6日(日)、10日(木)、21日(月)

菌部容子「ほっかいどうアート探訪」北海道新聞／3月21日(月)

絵画の題材の中で風景は、人物や静物と並んで、主要な柱のひとつとなってきた。それは、周囲の景物を写實的に捉えたものであったり、理想の風景を画面の中に現出したものであったり、あるいは画家の心情を投影した景色であったりしたのである。緑豊かな山や森、時に穏やかに時に荒々しく表情を変える海、人々の暮らす街、四季の移ろい、異郷の情景、あるいは心象風景……。風景画に描かれる景色は、決して声高にではなくとも、私達の心を捉え訴えかけてくる。観る者は、描かれた風景に心癒され、自然への眼差しを促され、また時に旅愁を誘われるのだ。

本展覧会は北海道立函館美術館および帯広美術館の所蔵作品から、自然にあふれた風景画を選び、函館59点・帯広39点、計98点により紹介した。展示構成は風景画の多様性に気付いてもらえるよう、「山景」「海景」「緑景」「街景」「冬景」「旅愁／異郷」「遊景／心象風景」をキーワードにコーナー分けした。しみじみとした内容と冬という季節にもかかわらず健闘し、入場者数3,040人（平成22年度中は2,468人）。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
■山景						
1	益田春光	夜明け	1987(昭和62)	紙本彩色・額	97.0×118.0	北海道立函館美術館
2	田辺三重松	阿寒湖	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	123.0×302.0	北海道立函館美術館
3	田辺三重松	然別湖	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	北海道立函館美術館
4	鈴木良三	恵山夕照	1968(昭和43)	油彩・キャンバス	80.0×100.3	北海道立函館美術館
5	前田政雄	溪流	1943(昭和18)	木版・紙	46.9×61.9	北海道立函館美術館
6	手島圭三郎	しまふくろうとやどり木	1988(昭和63)	木版・紙	53.0×75.0	北海道立帯広美術館
7	手島圭三郎	しまふくろう・冬	1985(昭和60)	木版・紙	53.0×75.0	北海道立帯広美術館
8	手島圭三郎	しまふくろうの夢・古木	1982(昭和57)	木版・紙	53.0×75.0	北海道立帯広美術館
9	手島圭三郎	しまふくろう・なく	1990(平成2)	木版・紙	53.0×75.0	北海道立帯広美術館
10	長尾栄三	晩秋の高原	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	130.3×161.8	北海道立帯広美術館
■海景						
11	田辺三重松	埠頭風景	1949(昭和24)頃	油彩・キャンバス	32.0×41.0	北海道立函館美術館
12	望月正男	落日	1977(昭和52)	油彩・キャンバス	112.1×145.5	北海道立帯広美術館
13	望月正男	暮雪	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	97.2×145.7	北海道立帯広美術館
14	前田政雄	房総海辺	1939(昭和14)	木版・紙	46.5×61.3	北海道立函館美術館
15	前田政雄	巖	1938(昭和13)	木版・紙	46.8×61.6	北海道立函館美術館
16	田辺三重松	海峡	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	北海道立函館美術館
17	田辺三重松	灯台のある草原	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	91.0×116.8	北海道立函館美術館
18	橋本三郎	樹間望岬	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	91.0×116.8	北海道立函館美術館
19	木村捷司	函館旧栈橋	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	112.1×162.1	北海道立函館美術館
20	田中 良	風景	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	北海道立函館美術館
21	田中 良	港A	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	145.5×112.1	北海道立函館美術館
■緑景						
22	能勢眞美	草木の径	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	89.0×130.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
23	能勢眞美	涼夏	1972(昭和47)	油彩・キャンバス	96.8×145.5	北海道立帯広美術館 (個人寄託)
24	能勢眞美	樹列	1966(昭和41)	油彩・キャンバス	145.5×89.5	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)

No.	作者	作品	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
25	能勢真美	門のある風景	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	116.5×91.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
26	能勢真美	初秋池畔	1942(昭和17)	油彩・キャンバス	96.5×106.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
27	能勢真美	疎林初秋	1967(昭和42)	油彩・キャンバス	97.0×162.0	北海道立帯広美術館
28	八鍬一郎	糠平の風景	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	50.0×60.6	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
29	竹山義雄	早春山野	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	130.6×162.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
30	竹山義雄	川畔秋草	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	145.5×112.2	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
31	北上聖牛	竹図	1925(大正14)頃	絹本彩色・屏風 (六曲一隻)	168.5×372.0	北海道立函館美術館
32	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	130.7×162.1	北海道立帯広美術館
33	高坂和子	叢・秋の幻影	2004(平成16)	油彩・キャンバス	130.7×162.1	北海道立帯広美術館
34	天間正五郎	風景13	制作年不詳	木版・紙	15.4×18.9	北海道立函館美術館
35	天間正五郎	風景11	制作年不詳	木版・紙	14.0×19.8	北海道立函館美術館
36	天間正五郎	風景6	制作年不詳	木版・紙	18.2×22.8	北海道立函館美術館
37	天間正五郎	風景20	制作年不詳	木版・紙	26.5×40.5	北海道立函館美術館
38	前田政雄	黒猫	1940(昭和15)	木版・紙	40.3×47.7	北海道立函館美術館
39	伊藤隆二	初秋	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	80.7×116.8	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
40	伊藤隆二	曇り日	1932(昭和7)	油彩・キャンバス	53.1×72.9	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
41	伊藤隆二	裏門	1933(昭和8)	油彩・キャンバス	66.6×91.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
42	藍 瑛	山水図	制作年不詳	絹本彩色・画冊	20.6×25.0	北海道立函館美術館
43	佐野忠吉	初夏	1930(昭和5)頃	油彩・キャンバス	80.0×100.0	北海道立函館美術館 (函館市寄託)
44	岩船修三	丘陵	1950年代前半	油彩・キャンバス	91.0×116.8	北海道立函館美術館
45	八大山人	山水図	制作年不詳	紙本水墨・軸	80.0×40.0	北海道立函館美術館
46	浦上玉堂	溪橋求句	制作年不詳	紙本水墨・軸	127.0×58.0	北海道立函館美術館
■街景						
47	池谷寅一	元町の春	1975(昭和50)	油彩・キャンバス	116.7×90.0	北海道立函館美術館
48	池谷寅一	麓の街	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	97.0×103.3	北海道立函館美術館
49	岩船修三	ブレ村 (フランス)	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	34.4×43.4	北海道立函館美術館



手島圭三郎「しまふくろう・冬」



高坂和子「晩夏のレクイエム」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
50	中村善策	北の国（函館）	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	80.3×130.9	北海道立函館美術館
51	池谷寅一	樹間A	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	北海道立函館美術館
52	能戸 幸	宝塚冬日	1931(昭和6)	油彩・キャンバス	37.9×45.5	北海道立函館美術館
53	笹野順太郎	廃園（谷地頭風景）	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	117.0×91.0	北海道立函館美術館
54	笹野順太郎	霖雨（谷地頭風景）	1942(昭和17)	油彩・キャンバス	125.5×44.5	北海道立函館美術館

■冬景

55	田辺三重松	赤松の雪景色	1941(昭和16)	油彩・キャンバス	45.5×53.0	北海道立函館美術館
56	伊藤隆二	雪景	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	72.8×91.0	北海道立帯広美術館（帯広市寄託）
57	三箇三郎	冬	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	北海道立函館美術館
58	長谷川隣二郎	雪はれた夕焼時	1921(大正10)	油彩・板	24.0×33.0	北海道立函館美術館
59	能勢真美	池畔雪景	1933(昭和8)	油彩・キャンバス	130.5×162.3	北海道立帯広美術館
60	鷗川五郎	暮色	1939(昭和14)	油彩・板	31.8×41.0	北海道立函館美術館
61	鷗川五郎	朔北の野	2003(平成15)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	北海道立函館美術館
62	鷗川五郎	山裾の道	1990(平成2)	油彩・キャンバス	130.4×162.3	北海道立函館美術館
63	岩船修三	雪中鳥	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	130×161.5	北海道立函館美術館
64	前田政雄	樹氷	1954(昭和29)	木版・紙	90.7×61.1	北海道立函館美術館
65	三箇三郎	冬晴	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	130.0×130.0	北海道立函館美術館
66	上村淳之	冬日	制作年不詳	紙本彩色・額	38.0×45.0	北海道立函館美術館
67	能勢真美	春近き日	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	65.0×100.0	北海道立帯広美術館
68	益田春光	春譜	1989(平成元)	紙本彩色・額	97.0×130.0	北海道立函館美術館

■旅愁/異郷

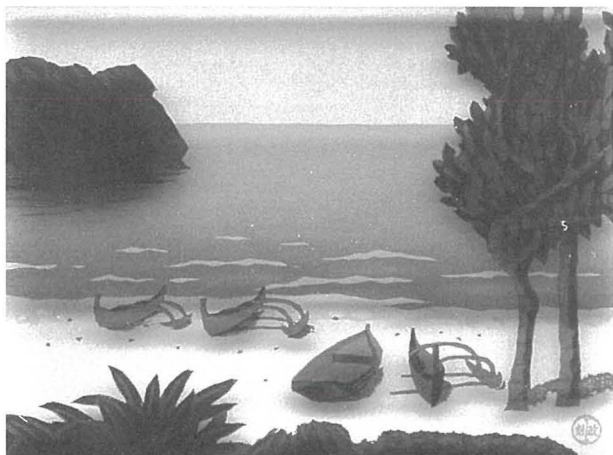
69	前田政雄	平林寺	1971(昭和46)	木版・紙	40.8×52.8	北海道立函館美術館
70	前田政雄	石だたみ（黄梅院）	1962(昭和37)	木版・紙	46.6×62.1	北海道立函館美術館
71	前田政雄	『新日本百景』より 小笠原母島	1939(昭和14)	木版・紙	23.0×30.0	北海道立函館美術館
72	田辺三重松	西海九十九島	1950代後半 (昭和30代)	油彩・キャンバス	45.5×53.0	北海道立函館美術館
73	長谷川隣二郎	欧州風景	1931(昭和6)頃	油彩・板	22.0×27.1	北海道立函館美術館
74	田辺三重松	トラピスト修道院の夏	1932(昭和7)	油彩・キャンバス	89.0×114.0	北海道立函館美術館（函館市寄託）
75	蛸子善悦	白い港（ノルマンディ）	1987(昭和62)	油彩・キャンバス	112.1×135.5	北海道立函館美術館
76	木村捷司	セゴヴィアの高原	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	112.1×162.1	北海道立函館美術館
77	アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩・キャンバス	75.0×150.4	北海道立帯広美術館
78	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩・キャンバス	32.0×47.5	北海道立帯広美術館
79	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩・キャンバス	45.7×67.3	北海道立帯広美術館
80	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩・キャンバス	40.0×68.0	北海道立帯広美術館
81	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3×25.0	北海道立帯広美術館
82	ジェグレール	〈自然の習作〉	1870年代	鶏卵紙プリント	21.3×26.7	北海道立帯広美術館
83	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0×24.8	北海道立帯広美術館
84	作者不詳	自然の習作	19世紀後半	鶏卵紙プリント	19.3×22.6	北海道立帯広美術館

■遊景/心象風景

85	国松 登	眼のない魚（B）	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	91.0×73.0	北海道立函館美術館
86	炭 光任	おたまじゃくし	1965～74頃 (昭和40年代)	紙本水墨・額	40.0×44.0	北海道立函館美術館
87	炭 光任	蛾と蝶	1965～74頃 (昭和40年代)	絹本彩色・額	50.0×40.0	北海道立函館美術館
88	益田春光	尾花と太陽	1986(昭和61)	紙本彩色・額	97.0×131.0	北海道立函館美術館
89	益田春光	映	制作年不詳	紙本彩色・額	88.0×128.0	北海道立函館美術館
90	寺島春雄	赤の原野	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	131.3×194.3	北海道立帯広美術館

No. 作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
91 寺島春雄	黒の凶地	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	130.9×194.2	北海道立帯広美術館
92 小松原勝市	遠き船の風景	制作年不詳	油彩・キャンバス	72.0×115.7	北海道立函館美術館
93 田中 良	そよぐ	1997(平成9)	油彩・キャンバス	162.1×130.5	北海道立帯広美術館
94 鶴川五郎	1944年病める森	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	北海道立函館美術館
95 ニルス=ウド	マロニエの葉／フランス、オート =ソーヌ県、エクヴィレイ、1985 年	1985	イルフォクローム	74.3×74.4	北海道立帯広美術館
96 ニルス=ウド	ロードデンドロン、松葉／フ ランス、リムーザン地方、ヴァシ ヴィエール湖、1987年	1987	イルフォクローム	99.9×99.7	北海道立帯広美術館
97 ニルス=ウド	歩く、飛ぶ／北海道立帯広美術 館、2002年	2002	イルフォクローム	90.0×124.0	北海道立帯広美術館
98 ニルス=ウド	歩く、飛ぶ／北海道立帯広美術 館、2002年	2002	イルフォクローム	26.5×40.0	北海道立帯広美術館

*寸法は縦×横。



前田政雄「『新日本百景』より 小笠原母島」



田辺三重松「トラピスト修道院の夏」

美術講演会

各分野の専門家を招いて、それぞれの展覧会に関連した内容の講演会を開催した。

時間＝午後2時～4時

＊平成21年7月25日は、午後1時～2時30分

会場＝当館講堂（聴講無料）



「北大路魯山人の人生と芸術」中ノ堂信一氏

平成21年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
5月16日(土)	江戸の名所と女たち	山田順子氏（時代考証家）	高橋博信浮世絵コレクション	65人
7月25日(土)*	北大路魯山人の人生と芸術	中ノ堂一信氏（京都造形芸術大学教授）	北大路魯山人展	102人
11月21日(土)	自作を語る－花と美女たちのこと－	岡本和行氏（写真家）	はな展	44人
1月23日(土)	19億円のマンガの絵？ ポップ・アートの経済効果	広本伸幸氏（ミスミアートコレクション・キュレーター）	ポップ・アート 1960's→2000's	33人

平成22年度

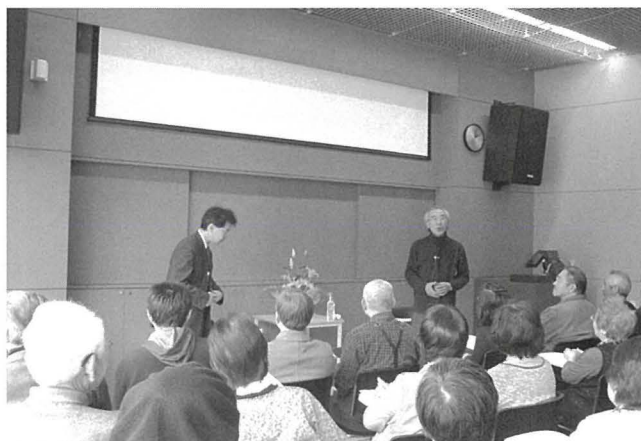
開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
5月8日(土)	デザイナー、そして我が父	栗谷川健一 栗谷川悠氏（北海道造形デザイン専門学校理事、グラフィック・デザイナー）	旅のイメージ	33人
6月19日(土)	日本の近代洋画と日動画廊	長谷川徳七氏（日動画廊社長）、 長谷川智恵子氏（日動画廊副社長）	日本近代洋画への道	66人
8月28日(土)	版画から見るジョアン・ミロの世界	大森達次氏（女子美術大学教授）	ミロ展	33人
11月3日(水・祝)	ベルギー絵本の魅力	野坂悦子氏（展覧会監修者、翻訳家）	ベルギー絵本作家展、芸術週間	35人

トークショー

展覧会出品作家を迎えて、これまでの活動や作品の制作背景について話してもらうトークショーを行なった。

時間＝午後2時～4時

会場＝当館講堂（聴講無料）



「藤倉英幸の世界 北海道の光と風と刻」 藤倉英幸氏

平成22年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
4月17日(土)	藤倉英幸の世界 北海道の光と風と刻	藤倉英幸氏（イラストレーター）	旅のイメージ	87人

特別展セミナー

当館学芸員が、展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後2時～3時

会場＝当館講堂（聴講無料）

平成21年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
7月18日(土)、8月15日(土)	美と食の巨人 北大路魯山人	鎌田 享（当館学芸課長）	北大路魯山人展	76人

平成22年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
9月11日(土)、9月25日(土)	ミロの芸術～残した言葉を手がかりに～	蘭部容子（当館学芸員）	ミロ展	29人
2月5日(土)	函館の画家をめぐる	蘭部容子（当館学芸員）	風景に、浸る。自然と、遊ぶ。	13人

ミュージアム・ミステリー

小学校中学年から高学年を対象とした事業。展覧会鑑賞や作品制作のための、さまざまな体験プログラムやワークショップを実施。自ら感じ考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画した。

平成21年度

ミュージアム・ミステリー 2009サマー 「たんけん！美味しんぼワールド」

開催日＝8月1日(土)、8月8日(土) 午前10時30分～午後3時

会場＝当館講堂、主展示室ほか

参加者＝小学校3～6年生 計19人

(8月1日＝11人、8月8日＝8人 参加料620円、応募制)

関連展覧会・事業＝北大路魯山人展

プログラム

- ・鑑賞プログラムⅠ「魯山人ってどんな人？」
- ・体験プログラム「ごちそう空間で、いただきます！」
- ・鑑賞プログラムⅡ「魯山人なりきりトーク」

午前中は「北大路魯山人展」を、クイズやゲーム形式で楽しみながら、また作品解説を聞いて作品への理解を深めながら鑑賞した。昼食をはさんで午後からは3、4名ずつのグループに分かれ、展示室冒頭の魯山人作品によって構成した和室風ステージを参考に、屏風や掛け軸、陶磁器などを持ちよって、食を演出する空間を参加者自らが制作、展覧会の趣旨についての理解を深める一助とした。その後は再び展覧会場に戻り、参加者各々が、自らが一番気に入った作品とそのポイントを紹介した。

ミュージアム・ミステリー 2010スプリング 「ポップなアートにちゃれんじ！」

開催日＝3月6日(土)、3月13日(土) 午前10時30分～午後3時

会場＝当館講堂・主展示室ほか

参加者＝小学校3～6年生 計46人

(3月12日＝23人、3月19日＝23人 参加料570円、応募制)

関連展覧会・事業＝ポップ・アート 1960's→2000's

プログラム

- ・鑑賞プログラム「さがせ！ポップ・アートの傑作」
- ・体験プログラム「ポップなアートの作り方！」

午前中は「ポップ・アート 1960's→2000's」展をクイズやゲーム形式で楽しみながら、また作品解説を聞いて作品への理解を深めながら鑑賞した。昼食をはさんで午後からは、市販のカップ麺のパッケージを参照しながら、参加者各々がオリジナルのパッケージ・デザインを制作。世の中に広く流布したイメージから着想を得て作品を展開するというポップ・アートの特徴の一端に、作品制作をとおして体験的にふれた。



『たんけん！美味しんぼワールド』
ー 体験プログラム「ごちそう空間で、いただきます！」



『ポップなアートにちゃれんじ！』
ー 鑑賞プログラム「さがせ！ポップ・アートの傑作」

平成22年度

ミュージアム・ミステリー 2010オータム
「ミロを見てミロ。やってミロ。」

開催日＝10月9日(土)、10月16日(土) 午前11時～午後3時

会場＝当館講堂、主展示室ほか

参加者＝小学校3～6年生 計44人

(10月9日＝24人、10月16日＝20人 参加料570円、応募制)

関連展覧会・事業＝ミロ展

プログラム

- ・鑑賞プログラム「ミロを見てミロ。」
- ・施設見学「館内探検。」
- ・ワークショップ「ミロをやってミロ。」

午前中は「ミロ展」を、クイズやゲーム形式で楽しみながら、また作品解説を聞いて作品への理解を深めながら鑑賞した。昼食をはさんで午後からは、収蔵庫や機械室など美術館内を探検。その後、利き手ではなく逆手を使って、ミロのように自由に楽しい絵を描いた。



『ミロを見てミロ。やってミロ。』
ー ワークショップ「ミロをやってミロ。」

ミュージアム・ミステリー 2011スプリング
「風景画と、あそぼ。」

開催日＝3月12日(土)、3月19日(土) 午前11時～午後3時

会場＝当館講堂・主展示室ほか

参加者＝小学校3～6年生 計19人

(3月12日＝8人、3月19日＝11人 参加料370円、応募制)

関連展覧会・事業＝風景に、浸る。自然と、遊ぶ。

プログラム

- ・鑑賞プログラム「風景画に、ひたろ。」
- ・仕事体験「お仕事と、あそぼ。」
- ・ワークショップ「風景展で、あそぼ。」

午前中は「風景に、浸る。自然と、遊ぶ。」展を、クイズやゲーム形式で楽しみながら、また作品解説を聞いて作品への理解を深めながら鑑賞した。昼食をはさんで午後からは、掛軸や焼き物の取り扱い、額装などの美術館学芸員の仕事を体験。その後、展覧会出品作品の図版を使って、グループごとにそれぞれの風景展を構成した。



『風景画と、あそぼ。』
ー 仕事体験「お仕事と、あそぼ。」

キッズ・ミュージアム

親子・家族連れの来館者を対象とした事業。各展覧会の会期中に1回託児の日を設け、日常ゆっくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた保護者に鑑賞の機会を提供した。託児の間、子どもたちには工作遊びを楽しんでもらった。本事業は、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」との共催で実施した。工作遊びの内容検討から準備作業、当日の受付業務、託児、工作補助まで、ボランティア「しらかばの会」が中心となって運営した。

時間＝午後2時～4時（受付は午後3時30分まで）

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

平成21年度

開催日	工作内容	関連展覧会・事業	利用者数（内・子どもの数）
4月25日(土)	作って元気！こいのぼり	ポスター＆ポスター	22人（13人）
5月23日(土)	おもしろ時計にチャレンジ	高橋博信浮世絵コレクション	18人（11人）
7月4日(土)	紙ぞめ遊び（うちわ）	高橋博信浮世絵コレクション	20人（11人）
9月5日(土)	行ってみたいな、お月さま（ロケット作り）	北大路魯山人展	17人（9人）
10月24日(土)	おち葉でアート	〔貸館〕アイヌの美	12人（7人）
11月28日(土)	おしゃれで楽しいクリスマス	はな展	15人（9人）
2月20日(土)	お面でヘンシ～ン	ポップ・アート 1960's→2000's	18人（9人）

平成22年度

開催日	工作内容	関連展覧会・事業	利用者数（内・子どもの数）
5月15日(土)	新聞ちぎり絵	旅のイメージ	26人（14人）
7月17日(土)	たのしい七夕かざり	日本近代洋画への道	5人（4人）
10月2日(土)	ぼくもわたしもミロだ！	ミロ展	16人（11人）
11月20日(土)	絵本をつくろう	ベルギー絵本作家展	38人（23人）
3月5日(土)	ダンボールで遊ぼう	風景に、浸る。自然と、遊ぶ。	4人（3人）



「紙ぞめ遊び（うちわ）」



「ぼくもわたしもミロだ！」

ワークショップ等

開催中の展覧会に関連し、美術家を迎えての造形ワークショップや制作技法修得のための技法講座を行った。

会場＝当館講堂（参加無料、応募制 ＊平成21年8月2日、11月1日、平成22年7月31日は自由参加制）

平成21年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
8月2日(日)* 午後1時～4時	ワークショップ「マイ箸作りに挑戦！」	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	北大路魯山人展、サマー・ミュージアム	116人
11月1日(日) 午前11時～午後4時	技法講座「羊毛で絵をかこう」	村上知亜砂氏 (ファイバーワーク・アーティスト)	はな展、芸術週間	45人
11月6日(金) 午後1時～4時	技法講座「鉛筆で描く、植物細密画」	はらたかよし氏（帯広植物細密画同好会主宰）	はな展、芸術週間	25人
12月6日(日)** 午後2時～3時30分	造形教室「みんなチャレンジ！花のにじみ絵」	瀧川秀敏氏、小笠原洋子氏、近藤みどり氏 (美術家)	はな展、芸術週間	32人

* 帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共催

** 帯広美術館振興会と共催

平成22年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
7月31日(土)* 午後1時～4時	ワークショップ「ペットボトルを飾ろう」	帯広美術館振興会、 帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	日本近代洋画への道、サマー・ミュージアム	23人
9月12日(日) 午後1時30分～4時	NPO十勝文化会議ワークショップ 「音楽を聴きながら絵を描こう」	由良真一氏（画家）ほかNPO十勝文化会議美術部会 会員	ミロ展	5人
11月6日(土)** 午後1時30分～4時	技法講座 「つくってみよう！自分だけの立体絵本」	宮澤克忠氏、中谷有逸氏、齊藤隆博氏、 小笠原洋子氏、近藤みどり氏（美術家）	ベルギー絵本作家展、 芸術週間	26人

* 帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共催

** 帯広美術館振興会と共催



技法講座「羊毛で絵をかこう」



技法講座「つくってみよう！自分だけの立体絵本」

映写室

開催中の展覧会に関連したプログラムを中心に、映画、ビデオ、DVDの上映を行った。

時間＝午後2時～ ＊平成21年1月30日、1月31日は、午後3時から上映。
会場＝当館講堂（入場無料）

平成21年度

開催日	上映作品	関連展覧会・事業	聴講者数
6月6日(土)	古典落語名作選「今土焼－三笑亭可楽（八代目）－」 「品川心中－三遊亭圓歌（三代目）－」	高橋博信浮世絵コレクション	35人
6月13日(土)	歌舞伎「三人吉三廓初賀」「廓文章」	高橋博信浮世絵コレクション	11人
11月2日(月)	いけばなの様式美「①立華の製作－除眞立華－」 「②かきつばた－八橋の景－」	はな展、芸術週間	3人
11月3日(火・祝)	荒木経惟アラキネマ「花曲」「花曲2」	はな展、芸術週間	20人
11月4日(水)	いけばなの様式美「③写景の盛花」「④投入花」	はな展、芸術週間	3人
11月5日(木)	いけばなの様式美「⑤茶花」「⑥煎茶席と花」	はな展、芸術週間	6人
1月30日(土)*、1月31日(日)*、 3月27日(土)	「ライフ・オブ・ウォーホル」（監督：ジョナス・メカス）	ポップ・アート 1960's→2000's、 おびひろ氷まつり協賛事業	50人
3月20日(土)	「ミリキタニの猫」（監督：リンダ・ハッテンドーフ）	ポップ・アート 1960's→2000's	5人

平成22年度

開催日	上映作品	関連展覧会・事業	聴講者数
11月1日(月)、11月2日(火)	タンタンの冒険旅行「ビーカー教授事件」	ベルギー絵本作家展、芸術週間	3人
11月4日(木)	タンタンの冒険旅行「ななつの水晶球と太陽の神殿」	ベルギー絵本作家展、芸術週間	8人
11月5日(金)	タンタンの冒険旅行「呪われた湖の謎」	ベルギー絵本作家展、芸術週間	7人

コンサート

美術館に親んでもらうために、展覧会内容や時季にあわせて美術館内でコンサートを開催した。

平成21年度

開催日	内容	出演者	会場	関連展覧会・事業	聴講者数
6月20日(土)* 午後2時～	ミュージアム・コンサート 「長唄と日本舞踊」	稀音家六豊華氏(長唄)、 藤間都茂澄氏(日本舞踊)ほか	当館ロビー(入場無料)	高橋博信浮世絵コレクション	75人
8月2日(土)** 午後1時～	グリーン・コンサート① 「プラスバンド演奏」	北海道帯広柏葉高等学校吹奏楽部	当館職員駐車場(入場無料)	北大路魯山人展、 サマー・ミュージアム	109人
8月2日(土)** 午後2時～	グリーン・コンサート② 「田野城寿男デュオ・ライブ」	田野城寿男氏(サクソ)、 村田博之氏(ギター)	当館ロビー(入場無料)	北大路魯山人展、 サマー・ミュージアム	137人
11月22日(土)* 午後2時～	ミュージアム・コンサート 「花の調べをソロ・ギターで」	田中光俊氏(ギター)	当館主展示室(要観覧券)	はな展	74人
12月19日(土)* 午後2時～	クリスマス・コンサート	心花～kokohana～(25絃箏ユニット= 熊代七恵氏、橋本みぎわ氏)	当館ロビー(入場無料)	はな展	133人
1月30日(土)* 午後4時45分～	ミュージアム・コンサート	Frankie's Jam	当館ロビー(入場無料)	ポップ・アート 1960's→2000's、 おびひろ氷まつり協賛事業	117人
2月13日(土) 午後2時～	バレンタイン・コンサート	弦楽四重奏(牧野貴博氏、藤城直子 氏、市之川敦子氏、佐藤祐一氏)	当館主展示室(要観覧券)	ポップ・アート 1960's→2000's	95人

* 帯広美術館振興会と共催

** 帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共催

平成22年度

開催日	内容	出演者	会場	関連展覧会・事業	聴講者数
7月31日(土)** 午前11時～	グリーン・コンサート① 「プラスバンド演奏」	北海道帯広三条高等学校吹奏楽部	当館庭(入場無料)	日本近代洋画への道、 サマー・ミュージアム	82人
7月31日(土)** 午後2時～	グリーン・コンサート② 「和太鼓演奏と虎舞」	新芸能集団「乱拍子」	当館庭(入場無料)	日本近代洋画への道、 サマー・ミュージアム	74人
10月17日(日) 午後2時～	ミュージアム・コンサート 「フラメンコ・コンシエルト」	小関博美氏、佐竹ゆり氏、 奥瀬リエ氏、山田幸恵氏、原早苗氏	当館ロビー(入場無料)	ミロ展	230人
12月18日(土)* 午後2時～	クリスマス・コンサート	松崎千枝子氏(ソプラノ)、 田中光俊氏(ギター)、 藤城直子氏(ヴァイオリン)	当館ロビー(入場無料)	ベルギー絵本作家展	102人
1月29日(土)* 午後4時30分～	ミュージアム・コンサート	吉野大地氏(ヴォーカル) Ken氏(ピアノ)	当館ロビー(入場無料)	風景に、浸る。自然と、遊ぶ。、 おびひろ氷まつり協賛事業	121人
2月12日(土)* 午後2時～	バレンタイン・コンサート 「コントラバスDUO羊の歌」	齋藤徹・瀬尾高志 ガットベースデュオ「羊の歌」	当館主展示室(要観覧券)	風景に、浸る。自然と、遊ぶ。	86人

* 帯広美術館振興会と共催

** 帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共催



クリスマス・コンサート「心花～kokohana～」



バレンタイン・コンサート「コントラバスDUO羊の歌」

サマー・ミュージアム

児童生徒やその家族が、美術館や美術作品に親しみを持ってもらうべく企画・実施した事業。コンサートやワークショップなど多彩なプログラムを、夏休み期間中の一日に集中的に開催。美術館に足を運ぶきっかけ作りとした。なお本事業は、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共催し、企画立案や運営の面で協同した。

平成21年度

開催日＝8月2日(日) 午後1時～午後4時

会場＝当館庭、ロビー、講堂ほか

参加者＝計390人

開催展覧会＝線のヴァリエーション、北大路魯山人展

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

プログラム

・グリーン・コンサート①「ブラスバンド演奏」

出演＝北海道帯広柏葉高等学校吹奏楽部

時間＝午後1時～

会場＝当館職員駐車場（入場無料）

参加者＝109人

・グリーン・コンサート②「田野城寿男デュオ・ライブ」

出演＝田野城寿男氏（サクソ）、村田博之氏（ギター）

時間＝午後2時～

会場＝当館ロビー（入場無料）

参加者＝137人

・ワークショップ「マイ箸作りに挑戦！」

講師＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

時間＝午後1時～4時

会場＝当館講堂（参加無料）

参加者＝116人

・ドリンク・ブース

時間＝午後1時～4時

会場＝当館ロビー

参加者＝28人



グリーン・コンサート②「田野城寿男デュオ・ライブ」



ワークショップ「マイ箸作りに挑戦！」

平成22年度

開催日＝7月31日(土) 午前11時～午後4時

会場＝当館庭、ロビー、講堂

参加者＝計261人

開催展覧会＝ポスター劇場、日本近代洋画への道

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館
ボランティア「しらかばの会」

プログラム

・グリーン・コンサート①「ブラスバンド演奏」

出演＝北海道帯広三条高等学校吹奏楽部

時間＝午前11時～

会場＝当館庭（入場無料）

参加者＝82人

・グリーン・コンサート②「和太鼓演奏と虎舞」

出演＝新芸能集団「乱拍子」

時間＝午後2時～

会場＝当館庭（入場無料）

参加者＝74人

・ワークショップ「ペットボトルを飾ろう」

講師＝帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

時間＝午後1時～午後4時

会場＝当館講堂（参加無料）

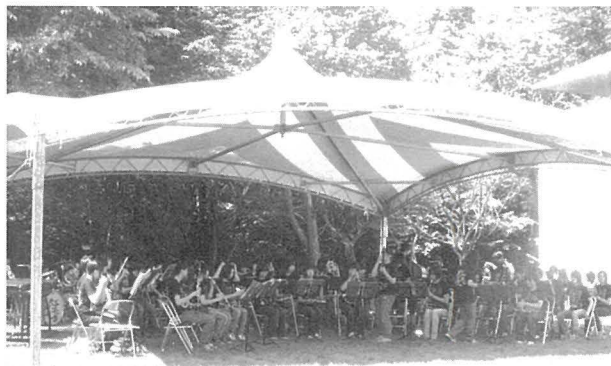
参加者＝23人

・ドリンク・ブース

時間＝午前11時～午後4時

会場＝当館ロビー

参加者＝82人



グリーン・コンサート①「ブラスバンド演奏」



グリーン・コンサート②「和太鼓演奏と虎舞」

芸術週間

道立の文化施設では、道民が芸術に親しむ気運を醸成するべく、平成11年度より文化の日をはさむ7日間を芸術週間として設定した。期間中は幅広い広報活動を行なうことで施設や事業の案内・周知に努めるとともに、一週間をつうじて開館日とし各種の教育普及事業を集中的に開催。また、コレクション・ギャラリー観覧料を無料とすることで道民の関心を喚起して利用の促進を図った。

平成21年度

月 日	実 施 内 容
11月1日(日)	○技法講座 「羊毛で絵をかこう」 講師＝村上知亜砂氏（ファイバーワーク・アーティスト）
11月2日(月)	○臨時開館 ○映写室 「いけばなの様式美『①立華の製作－除眞立華－』」 「いけばなの様式美『②かきつばた－八橋の景－』」
11月3日(火・祝)	○祝日開館 ○映写室 「荒木経惟アラキネマ『花曲』」 「荒木経惟アラキネマ『花曲2』」
11月4日(水)	○映写室 「いけばなの様式美『③写景の盛花』」 「いけばなの様式美『④投入花』」
11月5日(木)	○映写室 「いけばなの様式美『⑤茶花』」 「いけばなの様式美『⑥煎茶席と花』」
11月6日(金)	○技法講座 「鉛筆で描く、植物細密画」 講師＝はらたかよし氏（帯広植物細密画同好会主宰）
11月7日(土)	○ミュージアム・カレッジ「花をめぐる美術断章」① 「前衛美術と華道－勅使河原蒼風と草月」 講師＝蘭部容子（当館学芸員）

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「線のヴァリエーション」
主展示室〔貸館〕「アイヌの美－カムイと創造する世界－」

平成22年度

月 日	実 施 内 容
11月1日(月)	○臨時開館 ○映写室 「タンタンの冒険旅行『ピーカー教授事件』」
11月2日(火)	○映写室 「タンタンの冒険旅行『ピーカー教授事件』」
11月3日(水・祝)	○祝日開館 ○美術講演会 「ベルギー絵本の魅力」 講師＝野坂悦子氏（展覧会監修者、翻訳家）
11月4日(木)	○映写室 「タンタンの冒険旅行『ななつの水晶球と太陽の神殿』」
11月5日(金)	○映写室 「タンタンの冒険旅行『呪われた湖の謎』」
11月6日(土)	○技法講座 「つくってみよう！自分だけの立体絵本」 講師＝宮澤克忠氏、中谷有逸氏、齊藤隆博氏、 小笠原洋子氏、近藤みどり氏（美術家）
11月7日(日)	○絵本の読みきかせ 読み手＝佐々木暁子氏、木村美枝子氏

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「ふしぎ…!? 謎解き美術館」
主展示室「ベルギー絵本作家展」

おびひろ氷まつり協賛事業

例年1月最後の週末には、帯広美術館が立地する帯広市緑ヶ丘公園を主会場に、「おびひろ氷まつり」が開催される。本事業は、「おびひろ氷まつり」の来場者に、美術館に親しんでもらうべく企画・実施したもの。美術館前庭で氷まつりにちなんだイベントを行うほか、映写室やコンサートの実施、特設カフェの設置など多彩なプログラムを設け、美術館に足を運ぶきっかけ作りとした。なお本事業は、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と協同して実施した。

平成21年度

開催日＝1月29日(金)～1月31日(日)

＊1月29日(金)、1月30日(土)は、午後8時まで夜間開館を実施。

会場＝当館前庭、ロビー、講堂ほか

参加者＝計1,151人

開催展覧会＝美術のみ・か・た 油絵と日本画、ポップ・アート 1960's→2000's

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝北帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

プログラム

・雪中パークゴルフ de 文字並べクイズ

美術館前庭に雪のパークゴルフ場を設営。四つのホールを巡りながら文字を集め、並べ替えてひとつの言葉にするゲームを実施した。

時間＝1月29日(金)～1月31日(日) 午前10時～午後4時

会場＝当館前庭 (参加無料)

参加者＝900人

・ロビーカフェ de 冬の花火

「おびひろ氷まつり」主会場で行われる花火の打ち上げにあわせ、当館ロビーに特設カフェを設営し、茶菓を提供した。

時間＝1月29日(金) 午後4時30分～8時

1月30日(土) 午後4時～8時

会場＝当館ロビー、廊下

参加者＝91人

・映写室「ライフ・オブ・ウォーホル」

時間＝1月30日(土)、1月31日(日) 午後2時～、午後3時～

会場＝当館講堂 (入場無料)

参加者＝43人

・ミュージアム・コンサート

出演＝Fankie's Jam

時間＝1月30日(土) 午後4時45分～(約40分)

会場＝当館ロビー (入場無料)

参加者＝117人



雪中パークゴルフ de 文字並べクイズ



ミュージアム・コンサート

セルフガイド（クイズ）

コレクション・ギャラリーおよび主展示室で開催中の展覧会について、出品作品数点に関するクイズを作成し、希望する観覧者に配布した。それぞれの設問は、主として小学校中学年を対象とし、作品の主題や技法に注意を喚起することで、作品鑑賞の一助となるように努めた。

平成21年度

開催展覧会	展覧会会期	展覧会場	利用者数
郷土にむけるまなざし	4月10日(金)～7月5日(日)	コレクション・ギャラリー	503人
ポスター&ポスター	4月10日(金)～5月6日(水)	主展示室	156人
高橋博信浮世絵コレクション	5月15日(金)～7月5日(日)	主展示室	566人
線のヴァリエーション	7月14日(火)～11月11日(水)	コレクション・ギャラリー	1,778人
北大路魯山人展	7月14日(火)～9月9日(水)	主展示室	1,174人
美術のみ・か・た 油絵と日本画	11月20日(金)～3月31日(水)	コレクション・ギャラリー	1,112人
はな展	11月20日(金)～1月13日(水)	主展示室	276人
ポップ・アート 1960's→2000's	1月22日(金)～3月31日(水)	主展示室	1,769人

平成22年度

開催展覧会	展覧会会期	展覧会場	利用者数
ポスター劇場	4月16日(金)～8月18日(水)	コレクション・ギャラリー	1,502人
旅のイメージ	4月16日(金)～6月9日(水)	主展示室	225人
日本近代洋画への道	6月18日(金)～8月18日(水)	主展示室	1,515人
ふしぎ…!? 謎解き美術館	8月28日(土)～1月19日(水)	コレクション・ギャラリー	2,324人
ミロ展	8月28日(土)～10月24日(日)	主展示室	1,879人
ベルギー絵本作家展	11月1日(月)～1月19日(水)	主展示室	1,070人
顔・かお・カオ	1月28日(金)～3月31日(木)	コレクション・ギャラリー	424人
風景に、浸る。自然と、遊ぶ。	1月28日(金)～3月31日(木)	主展示室	437人

博物館実習

関係大学からの依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れ、博物館実習を実施した。

受け入れの条件は、①帯広・十勝を中心とした地元出身者であること、②美術（美学・美術史、美術教育、美術実技等）を専攻していること、③卒業後に博物館勤務を希望すること、の3点である。

平成21年度

希望学生なし

平成22年度

受入期間＝10月15日(金)～10月26日(火) ＊月曜日を除く10日間

受入人数＝1名（北海道教育大学岩見沢校）

実習日程

月 日	午 前 (8:45-12:00)				昼休	午 後 (13:00-17:30)				
10月15日(金)	8:45-9:30 (45分) オリエンテーション	9:30-10:00 (30分) 講義【美術館の概要】	10:00-11:00(60分) 施設見学	11:00-12:00 (60分) 展覧会自主見学		13:00-14:00(60分) 講義【作品収集活動】	14:00-15:00(60分) 講義【展覧会活動】	15:00-16:00(60分) 講義【教育普及活動】	16:00-17:00(60分) 学芸実務【ミュージアム・ミステリーの説明・準備】	17:00-17:30 展示室巡回、まとめ
16日(土)	8:45-9:00 準備、展示室巡回	9:00-11:00 (120分) 学芸実務【関連事業チラシ作成①】		11:00-16:00 (300分) 学芸実務【教育普及活動（ミュージアム・ミステリー）の実施補助・記録】				16:00-17:00 (60分) 学芸実務【ミュージアム・コンサートの説明・準備】	17:00-17:30 展示室巡回、まとめ	
17日(日)	8:45-9:00 準備、展示室巡回	9:00-12:00 (180分) 学芸実務【所蔵作品データベース整備①】				13:00-16:00 (180分) 学芸実務実習【教育普及活動（ミュージアム・コンサート）の実施補助・記録】			16:00-17:00 (60分) 学芸実務【関連事業チラシ作成②】	17:00-17:30 展示室巡回、まとめ
18日(月)	休 日 / 休 館 日									
19日(火)	8:45-9:00 準備、展示室巡回	9:00-10:00 (60分) 講義【帯広美術館の役割】	10:00-11:00(60分) 講義【二次資料収集活動】	11:00-12:00(60分) 講義【美術館の予算】		13:00-14:00(60分) 講義【広報活動】	14:00-17:00 (180分) ボランティア実務【ティー・ラウンジ、ミュージアム・ショップの運営】			17:00-17:30 展示室巡回、まとめ
20日(水)	8:45-9:00 準備、展示室巡回	9:00-12:00 (180分) 美術館実務【展示室の案内・監視】				13:00-17:00 (240分) 学芸実務【作品取扱・ポスター額装①】				17:00-17:30 展示室巡回、まとめ
21日(木)	8:45-9:00 準備、展示室巡回	9:00-12:00 (180分) 学芸実務【所蔵作品データベース整備②】				13:00-17:00 (240分) 学芸実務【キャプション整理①】				17:00-17:30 展示室巡回、まとめ
22日(金)	8:45-9:00 準備、展示室巡回	9:00-12:00 (180分) 学芸実務【所蔵作品データベース整備③】				13:00-17:00 (240分) 学芸実務【作品取扱・ポスター額装②】				17:00-17:30 展示室巡回、まとめ
23日(土)	8:45-9:00 準備、展示室巡回	9:00-12:00 (180分) 学芸実務【キャプション整理②】				13:00-17:00 (240分) 学芸実務【キャプション整理③】				17:00-17:30 展示室巡回、まとめ
24日(日)	8:45-9:00 準備、展示室巡回	9:00-12:00 (180分) 学芸実務【キャプション整理④】				13:00-17:00 (240分) 学芸実務【所蔵品データベース整備④】				17:00-17:30 展示室巡回、まとめ
25日(月)	休 日 / 休 館 日									
26日(火)	8:45-9:00 準備、展示室巡回	9:00-12:00 (180分) 学芸実務【所蔵作品データベース整備⑤】				13:00-15:00 (120分) 学芸実務【所蔵作品データベース整備⑥】		15:00-15:30(30分) 終了にあたって	15:30-17:30 (120分) 実習日誌作成、まとめ	

その他

平成21年度

鑑賞会

「歌川国貞『江戸名所百人美女』と共にお江戸にタイムスリップ」
「三絵師の美人画でお江戸の生活にフォーカス」

特別展「高橋博信浮世絵コレクション」に関連して、帯広美術館振興会との共催により出品作品の鑑賞会を実施した。地元在住の美術家たちが、展示室内で作品を案内・解説。制作者ならではの独自の視点からの説明は、参加者から好評を得た。

開催日＝5月31日(日)、6月21日(日) 午後2時～4時

会場＝当館講堂、主展示室（要観覧券）

講師＝池田緑氏、齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏、村上陽一氏（美術家）

参加者＝79人

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会



鑑賞会

平成22年度

鑑賞会

特別展「日本近代洋画への道」に関連して、帯広美術館振興会との共催により出品作品の鑑賞会を実施した。地元在住の美術家たちが、展示室内で作品を案内・解説。制作者ならではの独自の視点からの説明は、参加者から好評を得た。

開催日＝7月18日(日) 午後2時～4時

会場＝当館講堂、主展示室（要観覧券）

講師＝齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏、村上陽一氏（美術家）

参加者＝53人

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会



鑑賞会

松本道子ダンス・パフォーマンス

「庭の風話」

美術館の庭を会場に、舞踊家・松本道子によるモダンダンスの屋外公演を、帯広美術館振興会との共催により行った。

開催日＝9月23日(木) 午後5時30分～

＊午後8時まで夜間開館を実施。

会場＝当館庭（入場無料）

参加者＝226人

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

出演＝松村淳子、寄木奈緒子、茶畑美智子、江川貴和子、
黒川喜子、平間綾香、松本道子

作・演出＝松本道子

美術・舞台監督＝中森秀一

照明＝森田寿彦

音＝森本寛、森田寿彦

衣＝太田保之

美術協力＝鈴木隆

協力＝山田洋子、舞踊集団Bu-u



松本道子ダンス・パフォーマンス「庭の風話」

絵本の読み聞かせ

特別展「ベルギー絵本作家展」に関連して、ベルギー絵本の朗読や読み聞かせを行った。

開催日＝11月7日(日)、12月11日(土)、1月15日(土) 午後2時～

会場＝当館講堂（参加無料）

読み手＝朝倉黎子氏、木村美枝子氏、佐々木暁子氏、

本保三恵子氏

参加者＝49人

平成21年度 作品収集状況

区分	前年度末 所蔵点数		平成21年度収集数				平成21年度末 所蔵点数		受託作品			作品総数	
			購入	受贈	委託制作	計			前年度末	平成21年度	計		
油 彩	67	(9.8%)	0	0	0	0	67	(9.8%)	32	0	32	99	(13.6%)
日 本 画	8	(1.2%)	0	0	0	0	8	(1.2%)	1	0	1	9	(1.2%)
水彩・素描	31	(4.5%)	0	0	0	0	31	(4.5%)	10	0	10	41	(5.6%)
版 画	268	(39.4%)	0	0	0	0	268	(39.2%)	1	0	1	269	(36.8%)
彫 塑	13	(1.9%)	0	0	0	0	13	(1.9%)	2	0	2	15	(2.1%)
工 芸	1	(0.1%)	0	0	0	0	1	(0.1%)	0	0	0	1	(0.1%)
デ ザ イ ン	251	(36.9%)	0	0	0	0	251	(36.7%)	0	0	0	251	(36.4%)
写 真	42	(6.2%)	0	3	0	3	45	(6.6%)	0	0	0	45	(6.2%)
合 計	681	(100.0%)	0	3	0	3	684	(100.0%)	46	0	46	730	(100.0%)

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	寄贈者
2009001	写真	岡本和行	Flower Garden	2009 (平成21)	インクジェットプリント・紙	各42.9×29.7 (99点組)	岡本和行氏
2009002	写真	岡本和行	Art Nouveau	2009 (平成21)	インクジェットプリント・紙	各103.0×72.8 (4点組)	岡本和行氏
2009003	写真	岡本和行	Bourgogne	2009 (平成21)	インクジェットプリント・紙	165.0×106.0	岡本和行氏

* 寸法は縦×横。

平成22年度 作品収集状況

区分	前年度末 所蔵点数		平成22年度収集数				平成22年度末 所蔵点数		受託作品			作品総数	
			購入	受贈	委託制作	計			前年度末	平成22年度	計		
油 彩	67	(9.8%)	0	0	0	0	67	(9.7%)	32	0	32	99	(13.5%)
日 本 画	8	(1.2%)	0	0	0	0	8	(1.2%)	1	0	1	9	(1.2%)
水彩・素描	31	(4.5%)	0	0	0	0	31	(4.5%)	10	0	10	41	(5.6%)
版 画	268	(39.2%)	0	6	0	6	274	(39.7%)	1	0	1	275	(37.4%)
彫 塑	13	(1.9%)	0	0	0	0	13	(1.9%)	2	0	2	15	(2.0%)
工 芸	1	(0.1%)	0	0	0	0	1	(0.1%)	0	0	0	1	(0.1%)
デ ザ イ ン	251	(36.7%)	0	0	0	0	251	(36.4%)	0	0	0	251	(34.1%)
写 真	45	(6.6%)	0	0	0	0	45	(6.5%)	0	0	0	45	(6.1%)
合 計	684	(100.0%)	0	6	0	6	690	(100.0%)	46	0	46	736	(100.0%)

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	寄贈者
2010001	版画	小林敬生	午後の鎮魂歌 No.3-C	1980(昭和55)	木口木版・紙	30.0×47.6	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」
2010002	版画	小林敬生	蘇生の刻 一緑の星一	1990(平成2)	木口木版・紙	85.6×80.0	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」
2010003	版画	小林敬生	陽はまた昇る 一緑の星・08D一	2008(平成20)	木口木版・紙	100.0×257.5	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」
2010004	版画	島 州一	ゲバラ	1974(昭和49)	シルクスクリーン・布	104.2×121.3	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」
2010005	版画	島 州一	ジーンズ	1974(昭和49)	シルクスクリーン・布	94.5×103.3	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」
2010006	版画	野田哲也	日記 1987年9月22日 柏市亀甲台	1987(昭和62)	木版、シルクスクリーン・紙	57.0×110.0	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

* 寸法は縦×横。

図版目録

凡例

1. この目録には、平成21年4月1日から平成23年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 版画
 2. 写真
3. 各分野ごとに作品は国内作品、国外作品の順にまとめ、国内作家は姓の50音順、国外作品は作家の姓のアルファベット順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は制作年順に配列した。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。
作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法・材質、寸法、初出展覧会（開催年／会場／受賞等）、収集年度・所蔵の経緯、作品番号（収集区分）
5. データ記載事項のうち、不詳のものは表記を省略した。
6. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品には縦×横、レリーフ状の作品には縦×横×奥行、立体作品には幅×奥行×高さを示した。また、組作品のなかには、主要な1点を選択し、その寸法を記載したものがある。
7. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道東の美術：十勝・釧路・根室・オホーツクの北海道東部4圏域にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート：近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西洋の美術：バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品
8. 収集区分の記載にあたり、複数の区分を併記したものがある。

版 画

小林 敬生

KOBAYASHI Keisei
1944 (昭和19) ~

午後の鎮魂歌 No.3-C

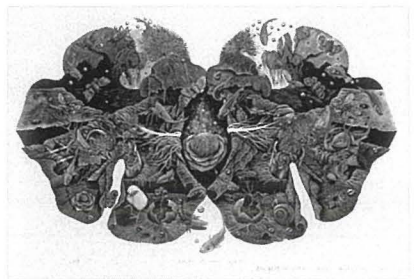
Requiem in the Afternoon No.3-C

1980 (昭和55)

木口木版、紙

30.0×47.6

平成22年度・帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
2010001 (プリントアート)



小林 敬生

KOBAYASHI Keisei
1944 (昭和19) ~

蘇生の刻 一緑の星一

Transferred Soul—Illusional Planet—

1990 (平成2)

木口木版、紙

85.6×80.0

第16回日仏現代美術展 (1990/国立グラン・パレ美術館、パリ
ほか/優秀賞)
平成22年度・帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
2010002 (プリントアート)



小林 敬生

KOBAYASHI Keisei
1944 (昭和19) ~

陽はまた昇る 一緑の星・08D—

Sun Rises Again—Illusional Planet・08D—

2008 (平成20)

木口木版、紙

100.0×257.5

陽はまた昇る 小林敬生 木口木版画・2008 (2008/シロタ画
廊、東京)

平成22年度・帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
2010003 (プリントアート)



島 州一

SHIMA Kuniichi
1935(昭和10) ~

ゲバラ

Guevara
1974 (昭和49)
シルクスクリーン、布
104.2×121.3 (シートサイズ)
平成22年度・帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
2010004 (プリントアート)



島 州一

SHIMA Kuniichi
1935(昭和10) ~

ジーンズ

Jeans
1974 (昭和49)
シルクスクリーン、布
94.5×103.3 (シートサイズ)
平成22年度・帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
2010005 (プリントアート)



野田 哲也

NODA Tetsuya
1940(昭和15) ~

日記 1987年 9月22日 柏市亀甲台

Diary: Sept. 22nd '87, Kikkodai, Kashiwa-shi
1987(昭和62)
木版、シルクスクリーン、紙
57.0×110.0
平成22年度・帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
2010006(プリントアート)



写真

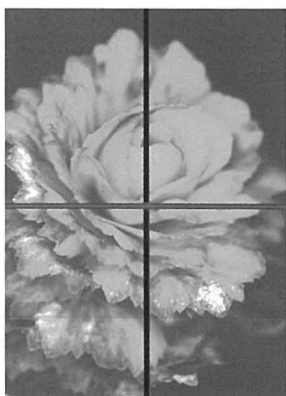
岡本 和行
OKAMOTO Kazuyuki
1947(昭和22)～

Flower Garden
2009(平成21)
インクジェットプリント、紙
各42.9×29.7(99点組)
はな展 (2009/北海道立帯広美術館)
平成21年度・岡本和行氏寄贈
2009001(プリントアート)



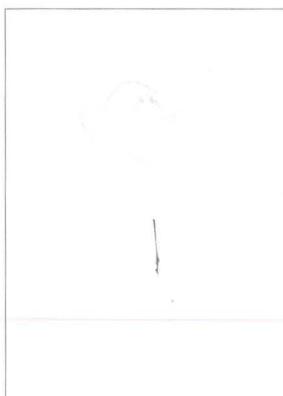
岡本 和行
OKAMOTO Kazuyuki
1947(昭和22)～

Art Nouveau
2009(平成21)
インクジェットプリント、紙
各103.0×72.8(4点組)
はな展 (2009/北海道立帯広美術館)
平成21年度・岡本和行氏寄贈
2009002(プリントアート)



岡本 和行
OKAMOTO Kazuyuki
1947(昭和22)～

Bourgogne
2009(平成21)
インクジェットプリント、紙
165.0×106.0
岡本和行 写真展「花美」(2009/ギャラリーミヤシタ、札幌)
平成21年度・岡本和行氏寄贈
2009003(プリントアート)



美術作品の貸出

平成21年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
デザイン	栗谷川健一	牧場の鐘	北海道立文学館	平成22年1月18日	「『THE JR Hokkaido』の表紙 絵から 藤倉英幸と旅のイ メージ」
デザイン	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌの娘		平成22年4月11日	
デザイン	栗谷川健一	伝説の湖			
デザイン	栗谷川健一	緑に歌う			
デザイン	栗谷川健一	家路			
デザイン	栗谷川健一	麦わら帽子			
デザイン	栗谷川健一	昇る太陽			

平成22年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
版画	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta	岩手県立美術館	平成22年9月1日 平成23年11月26日	「百瀬寿展」
油彩	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	釧路市立美術館	平成22年9月8日	「語りつがれる近代西洋絵 画の至宝」
油彩	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ		平成22年10月26日	
油彩	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ			
油彩	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼いの			
油彩	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	神田日勝記念美術館		「ザ・ニュースペーパーズ」
版画	ジュール・デュプレ	ノルマンディー地方の風景		平成22年10月22日	
版画	ジュール・デュプレ	イギリス風景		平成22年12月9日	
版画	シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊の欄干			
版画	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木			
版画	ジャン＝フランソワ・ミレー	裁縫する女			
版画	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい			
油彩	神田日勝	画室 E			
版画	島 州一	新聞紙に泥のプリント			
版画	島 州一	新聞紙に新聞紙			
版画	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド			
版画	蠟 嘔	オープニング或いは再び田園	北海道立近代美術館	平成22年11月9日	「アミューズランド・トゥモ ロー 2011 カラー・パワー！ 色って不思議!!」
写真	奥野稔和	98V-0515X		平成23年1月27日	
写真	岡本和行	Flower Garden			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によこそ》 タイム・ ゾーンの日没			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によこそ》 スカイ・ ホール			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	火の家			

特別観覧

平成21年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	1	0	0	4	0	0	5

平成22年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	1	0	1	8	5	1	16

貸館事業

平成21年度

◇講 堂

期日	事業内容	実施団体	利用者数
7月28日(火)	NHK日曜美術館セミナー	NHK帯広放送局	27人
9月19日(土)	「アイヌの美」記念講演会 「ロシアのアイヌ民具とアイヌ絵―資料収集の謎に せまる」	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	39人

◇主展示室

期日	事業内容	実施団体	利用者数
9月18日(金)～11月11日(水)	「アイヌの美～カムイと創造する世界～」	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	4,499人
2月22日(月)	第6回十勝ふゆ音楽祭 「齊藤易子ビブラフォン・コンサート」	十勝ふゆ音楽祭実行委員会	151人

名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（平成23年 3 月31日現在）

役職名	氏 名	現 職
会 長	岡庭 義行	帯広大谷短期大学准教授
副会長	小笠原洋子	北海道立帯広美術館ボランティア「しらかばの会」会長
委 員	井口 五子	中標津町更生保護女性会会長
委 員	河合 文宏	帯広商工会議所産業振興部長
委 員	後藤 秀彦	十勝管内博物館学芸職員協議会顧問
委 員	澤田 満	本別町教育委員会教育長（十勝管内教育委員会連絡協議会教育長部会長）
委 員	鈴木 弥子	釧路市女性団体協議会副会長
委 員	高橋美也子	（公募委員）
委 員	辻 敦郎	帯広市立第五中学校長
委 員	堀江 威光	日本放送協会帯広放送局長
委 員	本間 文子	大空町社会教育委員の会副委員長

※委員の任期は平成21年 6 月27日から平成23年 6 月26日まで

北海道立帯広美術館協議職員名簿

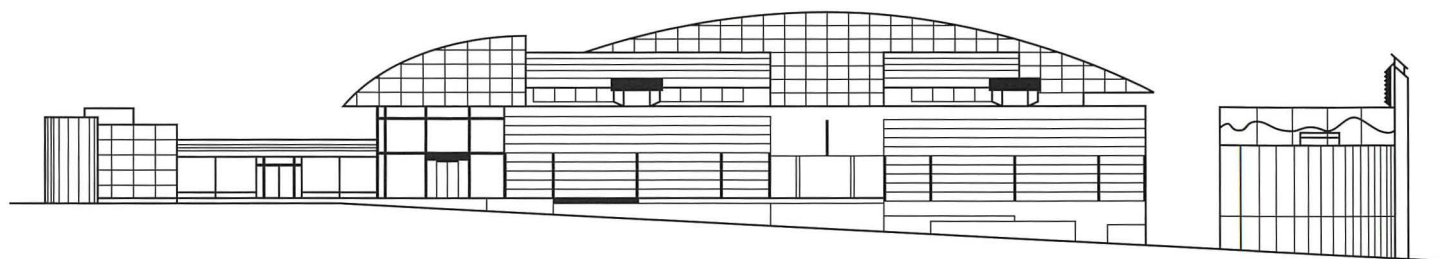
平成21年度（平成22年 3 月31日現在）

役職名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	吉井 亮	平成19年 6 月 1 日
副館長兼総務課長	長谷川謹也	平成21年 6 月 1 日
主査	岩上 拓史	平成19年 4 月 1 日
主任	藤原 充	平成19年 6 月 1 日
学芸課長	鎌田 享	平成20年 4 月 1 日
主任学芸員	平 利弘	平成14年 4 月 1 日
学芸員	蘭部 容子	平成18年 4 月 1 日
主事（非常勤）	菊地 美雪	平成 7 年 4 月 1 日
主事（非常勤）	伊藤 昭子	平成 9 年 9 月 1 日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成 9 年11月 1 日
主事（非常勤）	山川 千里	平成14年 3 月 1 日
主事（非常勤）	中村 桂子	平成17年 4 月 1 日

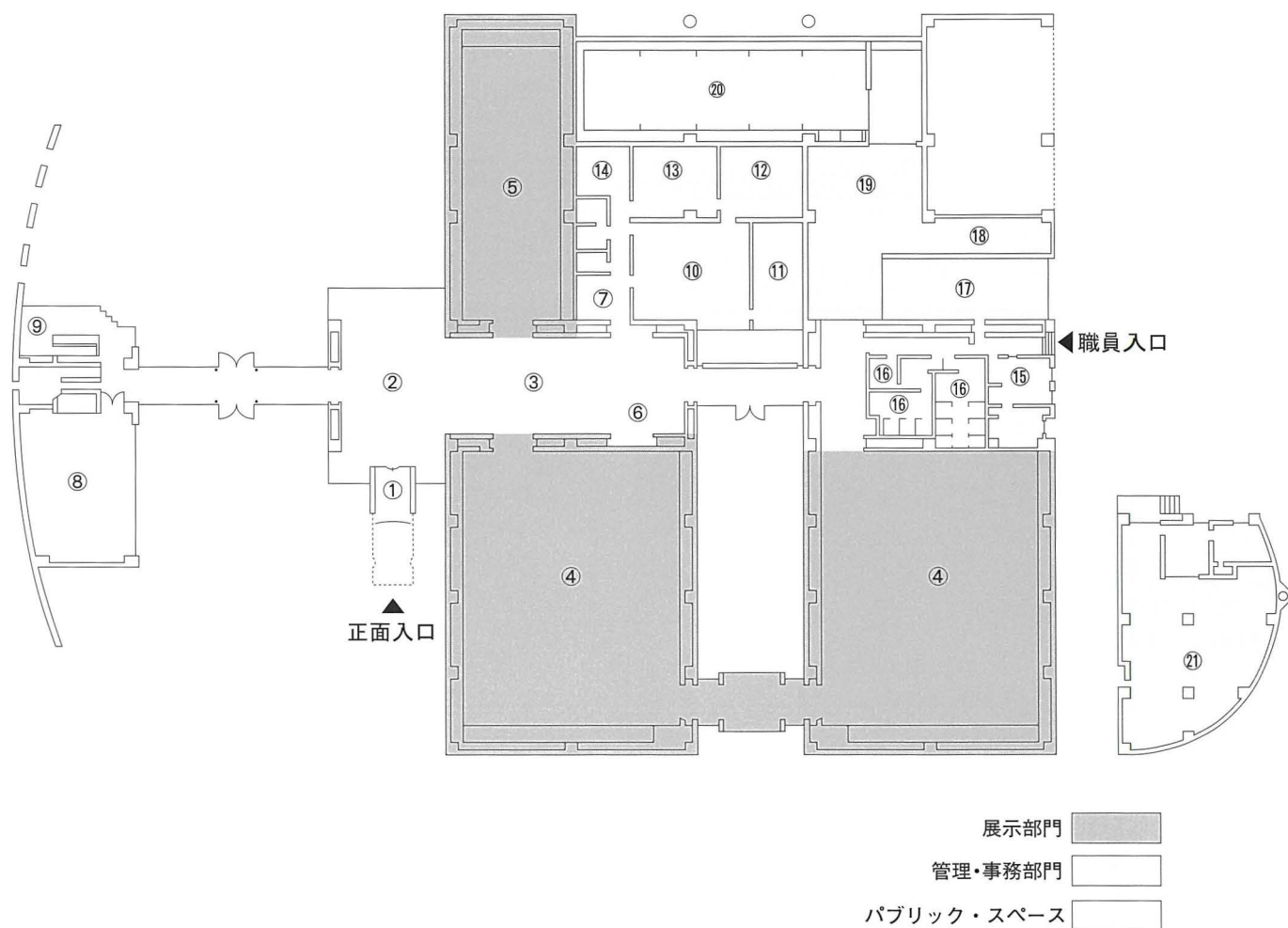
平成22年度（平成23年 3 月31日現在）

役職名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	吉井 亮	平成19年 6 月 1 日
副館長兼総務課長	長谷川謹也	平成21年 6 月 1 日
主査	岩崎 幸男	平成22年 4 月 1 日
主任	佐々木亜希子	平成22年 4 月 1 日
学芸課長	鎌田 享	平成20年 4 月 1 日
主任学芸員	佐藤由美加	平成22年 4 月 1 日
学芸員	蘭部 容子	平成18年 4 月 1 日
主事（非常勤）	菊地 美雪	平成 7 年 4 月 1 日
主事（非常勤）	伊藤 昭子	平成 9 年 9 月 1 日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成 9 年11月 1 日
主事（非常勤）	山川 千里	平成14年 3 月 1 日
主事（非常勤）	中村 桂子	平成17年 4 月 1 日

館内案内図



①風除室	12.1㎡	⑫資料室	36.0㎡
②ロビー	123.1㎡	⑬会議室	35.7㎡
③ホール	209.9㎡	⑭準備室	14.7㎡
④主展示室	841.9㎡	⑮管理室	30.2㎡
⑤コレクション・ギャラリー	209.5㎡	⑯トイレ	56.5㎡
⑥ミュージアム・ショップ		⑰搬入口	57.8㎡
⑦授乳コーナー	5.3㎡	⑱展示器具庫	26.9㎡
⑧講堂	98.4㎡	⑲荷解室	100.6㎡
⑨ティー・ラウンジ	36.7㎡	⑳収蔵庫	218.2㎡
⑩事務室	72.3㎡	㉑機械室	165.7㎡
⑪館長室	32.9㎡	廊下	115.5㎡
		床面積	2,499.9㎡



建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク（公開設計競技最優秀）
●基 本 設 計	アトリエアク・太洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 設	宮坂・萩原・曾根・市川・大道共同企業体（1、2期）
電気設備	相互電業（株）（1期）
空気調和衛生設備	森設備工業（株）（1期）
電力設備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体（2期）
通信設備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口共同企業体（2期）
衛星設備	フジ・梶山・中林共同企業体（2期）
空気調和設備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体（2期）
●総工事費	約13億4千700万円
●工 期	起工 平成元年10月9日 竣工 平成3年3月25日
●敷地面積	7,000 m ²
●建物面積	建面積 2,499.99 m ² 延面積 3,521.60 m ²
●構造概要	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
●仕 上	
〔外 装〕	
外 壁	大理石（ライムストーン） コンクリート打放し小叩仕上げ アルミパネル
屋 根	アルミ亜鉛メッキ銅板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
〔内 装〕	
ロビー・ホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビー・ホール壁	大理石（ライムストーン） 合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室壁	石膏ボード、一部ラワン合板下地クロスEP仕上
ロビー・ホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸収板EP仕上

設備概要

●電 気 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6KV 変圧器容量 450KVA
非常電源設備	ディーゼル機関123PS 3,000RPH 発電機 98KVA 3相 200V
動力設備	防災用動力 排煙機 11KW × 3 消火ポンプ5.5KW × 1
電 灯 設 備	展示室 壁面照明 退色防止蛍光灯（調光式） ロビー 間接照明 蛍光灯 講 堂 ワイヤメッシュ天井内埋込蛍光灯
電 話 設 備	電子ボタン電話
放 送 設 備	防災一般兼用アンプ 160W
テレビ共聴設備	OCTV（帯広ケーブルTV）による共聴
火災報知設備	P1級受信機
視聴覚設備	上降式ビデオプロジェクター 1式 音声・映像ラック 1式 映写設備（16mmフィルム、35mmスライド）1式
●機 械 設 備	
空気調和設備	
設定温湿度	
常設展示室、主展示室	
夏	24℃（21～25℃）55%（50～60%）
冬	23℃（21～24℃）50%（45～55%）
収蔵庫、展示ケース	
年間	22℃（20～24℃）55%（40～60%）
*（ ）内は可変調節範囲、設定精度は温度±1℃ 湿度±3%	
熱源機器	
空冷チリングユニット	冷却能力 240,000Kcal/H
吸収式冷温水発生器	冷却能力 100 USRT 暖房能力 253,000Kcal/H
温 水 器	暖房能力 500,000Kcal/H
空気調和機	
主展示室	2系統
常設展示室、荷解室	1系統
展示ケース	1系統
収蔵庫	1系統
ロビー、ホール	1系統
管理諸室	1系統
衛生設備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電気温水機
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備

沿革

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立帯広美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長 室田浩志発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成、開館記念式、屋外彫刻除幕（平成 3 年 9 月21日） 一般公開（平成 3 年 9 月22日）
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成 4 年 5 月21日授賞式）
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞（平成 4 年 6 月18日授賞式）
平成 4 年12月	第 9 回帯広市都市景観賞受賞（建物）（平成 4 年12月 4 日授賞式）
平成 6 年 4 月	第 2 代館長 阿部蛟発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞（平成 7 年12月 7 日授賞式）
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成（平成 8 年 6 月11日）
平成 9 年 1 月	開館 5 周年記念式（平成 9 年 1 月17日）
平成 9 年 4 月	第 3 代館長 長谷川吉廣発令
平成11年 7 月	第 4 代館長 上原脩平発令
平成13年 1 月	入館者80万人達成（平成13年 1 月 7 日）
平成13年 4 月	第 5 代館長 小野寺浩発令
平成13年10月	開館10周年記念式（平成13年10月31日）
平成16年 9 月	入館者100万人達成（平成16年 9 月26日）
平成19年 1 月	開館15周年記念展開催
平成19年 6 月	第 6 代館長 吉井亮発令

観覧者数一覧

平成21年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F+G (1日あたり)	有 料																無 料	
				個 人				団 体／前 売／リピーター				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者 数計 F=B+C+ D+E (／A)	無料招待免除 G (／A)	
				一 般 (／B)	高大生 (／B)	小中生 (／B)	計 B	一 般 (／C)	高大生 (／C)	小中生 (／C)	計 C	一 般 (／D)	高大生 (／D)	小中生 (／D)	計 D	一 般 (／E)	高大生 (／E)	計 E			
コレクション・ギャラリー		4月10日～ 3月31日 (263日)	17,397人 (66人)	2,110人 (96%)	95人 (4%)		2,205人	276人 (85%)	48人 (15%)		324人					2,585人 (95%)	150人 (5%)	2,735人	5,264人 (30%)	12,133人 (70%)	
特 別 展	ポスター&ポスター	4月10日～ 5月6日 (24日)	1,866人 (78人)	281人 (95%)	16人 (5%)		297人	79人 (98%)	2人 (2%)		81人	307人 (97%)	11人 (3%)		318人	332人 (94%)	20人 (6%)	352人	1,048人 (56%)	818人 (44%)	
	高橋博信浮世絵コレクション	5月15日～ 7月5日 (41日)	4,744人 (116人)	1,049人 (98%)	7人 (1%)	6人 (1%)	1,062人	645人 (76%)	52人 (6%)	151人 (18%)	848人	623人 (97%)	18人 (3%)		641人	325人 (98%)	5人 (2%)	330人	2,881人 (61%)	1,863人 (39%)	
	北大路魯山人展	7月14日～ 9月9日 (50日)	12,642人 (253人)	3,552人 (97%)	56人 (1%)	68人 (2%)	3,676人	1,553人 (81%)	6人 (1%)	344人 (18%)	1,903人	2,349人 (96%)	66人 (3%)	13人 (1%)	2,428人	1,137人 (96%)	45人 (4%)	1,182人	9,189人 (73%)	3,453人 (27%)	
	はな展	11月20日～ 1月13日 (41日)	2,645人 (65人)	211人 (97%)	5人 (2%)	1人 (1%)	217人	199人 (64%)	2人 (1%)	108人 (35%)	309人	634人 (97%)	13人 (2%)	3人 (1%)	650人	299人 (98%)	7人 (2%)	306人	1,482人 (56%)	1,163人 (44%)	
	ポップ・アート 1960's→2000's	1月22日～ 3月31日 (59日)	7,669人 (130人)	1,182人 (91%)	78人 (6%)	43人 (3%)	1,303人	1,063人 (74%)	15人 (1%)	352人 (25%)	1,430人	936人 (87%)	113人 (10%)	33人 (3%)	1,082人	532人 (87%)	76人 (13%)	608人	4,423人 (58%)	3,246人 (42%)	
	計	5回 (215日)	29,566人 (138人)	6,275人 (96%)	162人 (2%)	118人 (2%)	6,555人	3,539人 (77%)	77人 (2%)	955人 (21%)	4,571人	4,849人 (95%)	221人 (4%)	49人 (1%)	5,119人	2,625人 (94%)	153人 (6%)	2,778人	19,023人 (64%)	10,543人 (36%)	
計 (コレクション+特別展)			46,963人	8,385人 (96%)	257人 (3%)	118人 (1%)	8,760人	3,815人 (78%)	125人 (3%)	955人 (19%)	4,895人	4,849人 (95%)	221人 (4%)	49人 (1%)	5,119人	5,210人 (95%)	303人 (5%)	5,513人	24,287人 (52%)	22,676人 (48%)	
貸 館	アイヌの美	9月18日～ 11月11日 (48日)	4,499人 (94人)	1,485人 (93%)	93人 (6%)	5人 (1%)	1,583人	795人 (83%)	4人 (1%)	152人 (16%)	951人	5人 (100%)		5人					2,539人 (56%)	1,960人 (44%)	
合 計			51,462人	9,870人 (96%)	350人 (3%)	123人 (1%)	10,343人	4,610人 (79%)	129人 (2%)	1,107人 (19%)	5,846人	4,854人 (95%)	221人 (4%)	49人 (1%)	5,124人	5,210人 (95%)	303人 (5%)	5,513人	26,826人 (52%)	24,636人 (48%)	

平成22年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F + G (1日あたり)	有 料																		無料
				個 人				団 体／前 売／リピーター				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者 数計 F=B+C+ D+E (／A)	無料招待免除 G (／A)		
				一 般 (／B)	高大生 (／B)	小中生 (／B)	計 B	一 般 (／C)	高大生 (／C)	小中生 (／C)	計 C	一 般 (／D)	高大生 (／D)	小中生 (／D)	計 D	一 般 (／E)	高大生 (／E)	計 E				
コレクション・ギャラリー		4月16日～ 3月31日 (268日)	15,310人 (57人)	1,247人 (94%)	75人 (6%)		1,322人	368人 (86%)	61人 (14%)		429人					3,023人 (96%)	135人 (4%)	3,158人	4,909人 (32%)	10,401人 (68%)		
特 別 展	旅のイメージ	4月16日～ 6月9日 (47日)	2,782人 (59人)	314人 (97%)	8人 (2%)	3人 (1%)	325人	111人 (27%)	3人 (1%)	300人 (72%)	414人	346人 (96%)	11人 (3%)	1人 (1%)	358人	613人 (98%)	14人 (2%)	627人	1,724人 (62%)	1,058人 (38%)		
	日本近代洋画への道	6月18日～ 8月18日 (53日)	4,408人 (83人)	576人 (91%)	24人 (4%)	34人 (5%)	634人	588人 (65%)	1人 (1%)	300人 (34%)	889人	542人 (91%)	38人 (6%)	17人 (3%)	597人	644人 (95%)	31人 (5%)	675人	2,795人 (63%)	1,613人 (37%)		
	ミロ展	8月28日～ 10月24日 (50日)	8,004人 (160人)	918人 (96%)	28人 (3%)	5人 (1%)	951人	1,462人 (78%)	63人 (3%)	347人 (19%)	1,872人	814人 (95%)	35人 (4%)	1人 (1%)	850人	864人 (95%)	43人 (5%)	907人	4,580人 (57%)	3,424人 (43%)		
	ベルギー絵本作家展	11月1日～ 1月19日 (64日)	6,818人 (107人)	446人 (85%)	34人 (6%)	48人 (9%)	528人	1,424人 (80%)	41人 (2%)	319人 (18%)	1,784人	706人 (90%)	42人 (5%)	42人 (5%)	790人	464人 (95%)	27人 (5%)	491人	3,593人 (53%)	3,225人 (47%)		
	風景に、没る。自然と、遊ぶ。	1月28日～ 3月31日 (54日)	2,468人 (46人)	230人 (97%)	6人 (3%)		236人	69人 (100%)			69人	239人 (96%)	10人 (4%)		249人	438人 (96%)	20人 (4%)	458人	1,012人 (41%)	1,456人 (59%)		
	計	5回 (268日)	24,480人 (91人)	2,484人 (93%)	100人 (4%)	90人 (3%)	2,674人	3,654人 (73%)	108人 (2%)	1,266人 (25%)	5,028人	2,647人 (93%)	136人 (5%)	61人 (2%)	2,844人	3,023人 (96%)	135人 (4%)	3,158人	13,704人 (56%)	10,776人 (44%)		
合 計			39,790人	3,731人 (93%)	175人 (5%)	90人 (2%)	3,996人	4,022人 (74%)	169人 (3%)	1,266人 (23%)	5,457人	2,647人 (93%)	136人 (5%)	61人 (2%)	2,844人	6,046人 (96%)	270人 (4%)	6,316人	18,613人 (47%)	21,177人 (53%)		

平成21 - 22年度
北海道立帯広美術館年報

発行日 平成24年 2 月29日

発行者 北海道立帯広美術館

〒080-0846

帯広市緑ヶ丘 2 番地

Tel. (0155) 22-6963

印刷所 ソーゴ印刷株式会社

